

2008 中野区区民意識調査
《報告書》

2009年（平成21年）3月
中野区

はじめに

百年に一度とも言われる経済危機は、日本をはじめ世界各国で大きな影響をもたらしています。今回の局面が収束した後の私たちの社会や暮らしのあり様は、これまでとは大きく異なることが予想されます。区政も景気の後退に伴う財政難は避けられませんが、そればかりではなく「危機後」の社会の状況に対応した新たな行政施策が求められると思います。

こうした変化の激しい時代にあっては、現状を見据えながら未来を展望し、区民ニーズを的確にとらえていくことが、より重要となってきます。

中野区では、区民の生活に関する実態や意識を様々な観点から調査することにより、多様化する区民ニーズの把握・分析を行い、区の施策をすすめていくための基礎資料とすることを目的として、「中野区区民意識調査」を実施しています。

今年度は、「定住意向」「生活環境の満足度」「施策への要望」などの経年の調査項目のほか、年々関心が高まっていると言われる地震への対応として、区民の防災の備えや避難所に望むことなど、「生活の安全（防災）」を調査項目としました。

また、昨年調査を行った買物動向に引き続き、利用するサービスやその頻度といった側面からの区民ニーズを把握するため、「地元商店の利用」「コンビニエンスストアの利用」「いろいろなサービスの利用」についてもお聞きしました。

今回の調査結果は、現在見直しを行なっている「新しい中野をつくる10か年計画」の基礎資料の一部として活用を図るほか、区政運営の様々な場面で資料として活用してまいります。多くの皆さまにも参考としていただければ幸いです。

最後になりましたが、今回の調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民並びに関係者の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

2009年（平成21年）3月

中野区長 田中大輔

～ 目 次 ～

I	調査概要	3
II	回答者の属性	9
III	質問と回答	13
IV	結果と分析	29
1	定住意向	29
	(1) 居住年数	29
	(2) 定住意向	32
	(2-1) 転出理由	36
	(3) 居住形態	40
	(4) 床面積	42
2	生活環境の満足度	45
	(1) 生活環境の満足度	45
	(2) 近所付き合いの程度	50
3	地元（住まいの近辺又は最寄り駅周辺）商店の利用	53
	(1) 地元の個人商店の利用頻度	53
	(1-1) 地元の個人商店を利用しない理由	57
	(2) 地元の個人商店に望むこと	59
	(3) 共同宅配システムの利用	61
4	コンビニエンスストアの利用	65
	(1) コンビニエンスストアの利用頻度	65
	(1-1) コンビニエンスストアの利用時間	69
	(1-2) コンビニエンスストアでよく買うもの	71
	(1-3) コンビニエンスストアで利用するサービス	73
5	いろいろなサービスの利用	75
	(1) 地元の店でふだん利用するもの	75
	(2) 待ち合わせや時間調整に過ごす場所	77
6	生活の安全（防災）	79
	(1) 大地震が起こる不安	79
	(2) 災害のための備え	81
	(3) 地震後安全が確保された後の行動	83
	(4) 住んでいる地域の安全性	86
	(4-1) 危険だと思う点	88
	(5) 防災訓練への参加	90
	(6) 自分の避難所	93
	(7) 避難所に望むこと	96
	(8) 身近に避難が困難な人の有無	98
	(9) 家族以外の避難が困難な人に対する協力	100

7	インターネットの利用状況.....	102
	(1) インターネットの利用状況.....	102
	(1-1) インターネットの利用目的.....	104
8	施策への要望.....	106
	(1) 区の施策への評価.....	106
	(2) 区の施策への要望.....	109
9	区の窓口対応等.....	119
	(1) 区の窓口等の利用.....	119
	(1-1) 職員の印象.....	121
	(1-2) 良い印象.....	122
	(1-3) 悪い印象.....	123
V	集計表.....	127

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

広く区民を対象として、定住意向といった経年調査事項のほか、テーマ別調査を継続的に行うことにより、区民意識の変遷をとらえ、施策立案のための統計的・基礎資料とする。

2 調査の内容

- (1) 定住意向
- (2) 生活環境の満足度
- (3) 地元（住まいの近辺又は最寄り駅周辺）商店の利用
- (4) コンビニエンスストアの利用
- (5) いろいろなサービスの利用
- (6) 生活の安全（防災）
- (7) インターネットの利用状況
- (8) 施策への要望
- (9) 区の窓口対応等
- (10) フェイスシート

3 調査の設計

- (1) 対象地域 中野区全域
- (2) 調査対象 中野区民で20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 1,300人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送配布・訪問回収
- (6) 調査期間 平成20年8月29日（金）～平成20年9月20日（土）
- (7) 調査機関 （株）タイム・エージェント

4 回収結果

- (1) 標本数 1,300
- (2) 回収数 892 (68.6%)
- (3) 有効回収数 887 (68.2%)
- (4) 回収不能数 408 (31.4%)

回収不能数 理由の内訳

	転居	不在	住所不明	調査拒否	入院・死亡	その他	合計
件数	21件	189件	12件	137件	15件	34件	408件
(%)	(5.1)	(46.3)	(2.9)	(33.6)	(3.7)	(8.3)	(100.0)

※（ ）内の百分比は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(5) 地域センター担当区域別調査区域図



地 域	20歳以上の人口	標本数	有効回収数	有効回収率
南 中 野	23,543	130	107	82.3%
弥 生 ・ 東 部	40,029	220	129	58.6%
鍋 横 ・ 桃 園	29,081	160	112	70.0%
昭 和 ・ 東 中 野	18,928	100	58	58.0%
上 高 田 ・ 新 井	24,230	130	89	68.5%
江 古 田 ・ 沼 袋	30,900	170	118	69.4%
野 方 ・ 大 和	32,466	180	116	64.4%
鷺 宮 ・ 上 鷺 宮	38,328	210	158	75.2%
計	237,505	1,300	887	68.2%

※20歳以上の人口は平成20年8月1日現在

(6) 地域センター担当区域一覧

地 域	担 当 町 丁
南中野	南台1～5丁目、弥生町1～2丁目の一部、弥生町3～6丁目
弥生・東部	弥生町1～2丁目の一部、本町1～3丁目、本町4丁目の一部、中央1～2丁目 中央3丁目の一部、東中野1～2丁目、中野1丁目の一部
鍋横・桃園	本町4丁目の一部、本町5～6丁目、中央3丁目の一部、中央4～5丁目 中野1丁目の一部、中野2～3丁目、中野4～5丁目の一部
昭和・東中野	東中野3～5丁目、中野5丁目の一部、中野6丁目上高田1～2丁目の一部 新井1丁目の一部
上高田・新井	上高田1～2丁目の一部、上高田3～5丁目、中野4～5丁目の一部 新井1～3丁目の一部、新井4～5丁目
江古田・沼袋	松が丘1～2丁目、江原町1～3丁目、江古田1～4丁目、沼袋1～4丁目
野方・大和	中野4丁目の一部、新井2～3丁目の一部、丸山1丁目、丸山2丁目の一部 野方1～4丁目、野方5～6丁目の一部、大和町1～3丁目、大和町4丁目の一部 若宮1～2丁目の一部
鷺宮・上鷺宮	丸山2丁目の一部、野方5～6丁目の一部、大和町4丁目の一部、若宮1～2丁目 の一部、若宮3丁目、白鷺1～3丁目、鷺宮1～6丁目、上鷺宮1～5丁目

5 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、百分比の合計が100%に満たない、または上回る場合がある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (4) 集計は、すべて単純集計、必要に応じて属性別クロス集計を行った。また、分析の必要に応じて設問間クロス集計を行った。
- (5) 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。また、設問間クロス集計についても、視点の明確化を図るため、必要選択肢にのみしぼって使用している場合があるため同様となっている。
- (6) グラフに表記されている「n=*」(*は数字)は、対象の母数を表している。
- (7) この調査の標本誤差は、おおよそ下表のとおりである。標本誤差は、次式によって得られ、
①比率算出の基数(n) および ②回答の比率(P)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

(2段抽出)

N = 母集団数

n = 比率算出の基数(回答者数)

P = 回答の比率

回答の比率 (P) 基数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
887	±2.8%	±3.7%	±4.3%	±4.6%	±4.7%
800	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%
600	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.7%	±5.8%
400	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
200	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

(注) 1 表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出した。

2 この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が887人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも4.3%である。」とみることができる。

II 回答者の属性

II 回答者の属性

図1 性・年代別

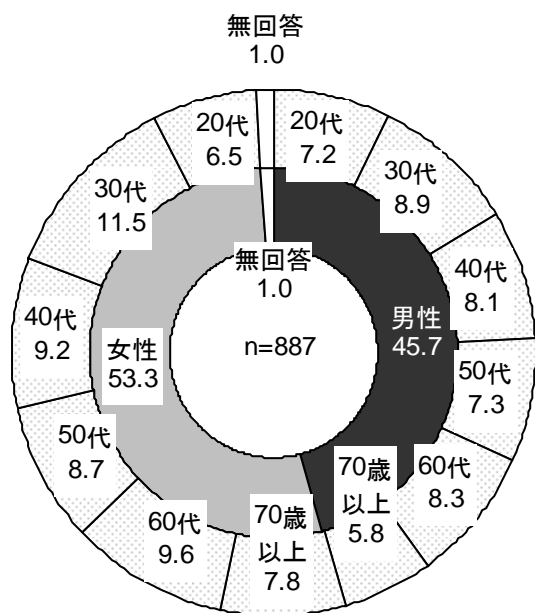


図2 年代別

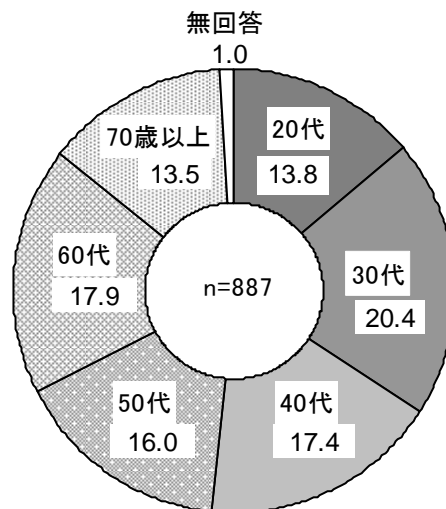


図3 母集団との比較 ー性・年代別ー

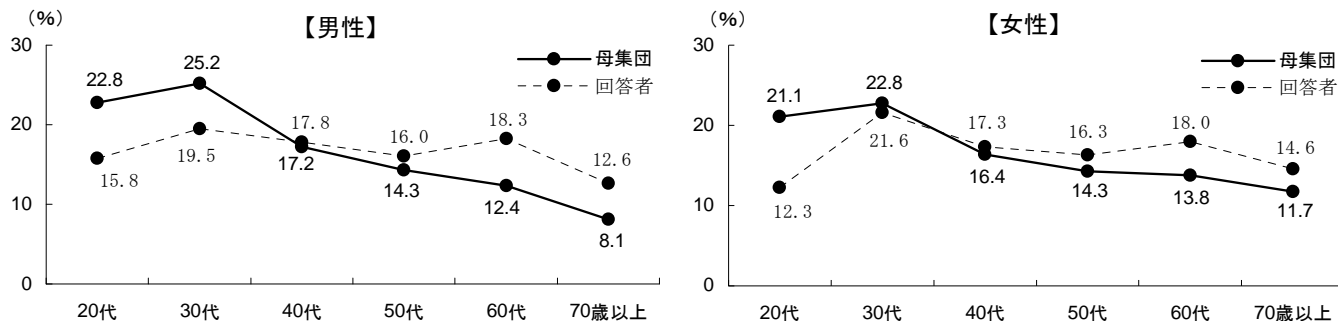


図4 職業

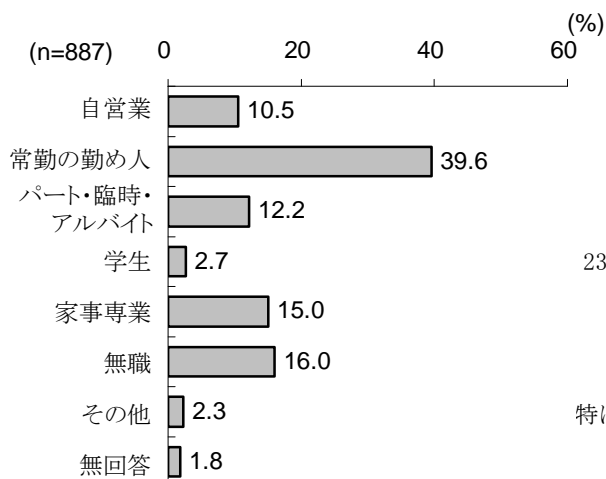


図5 通勤・通学先

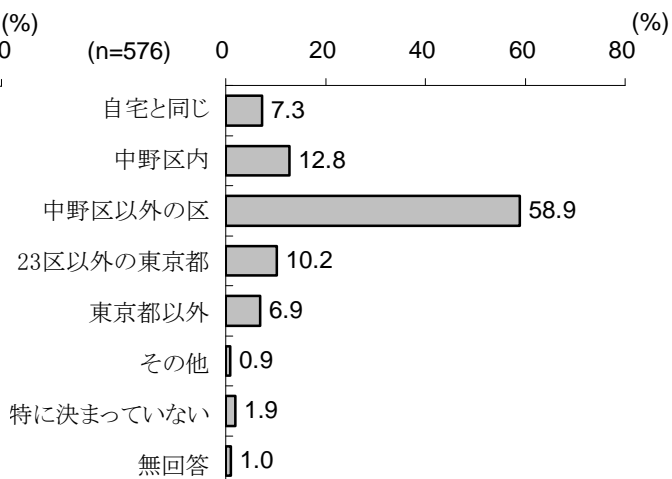


図6 世帯人員

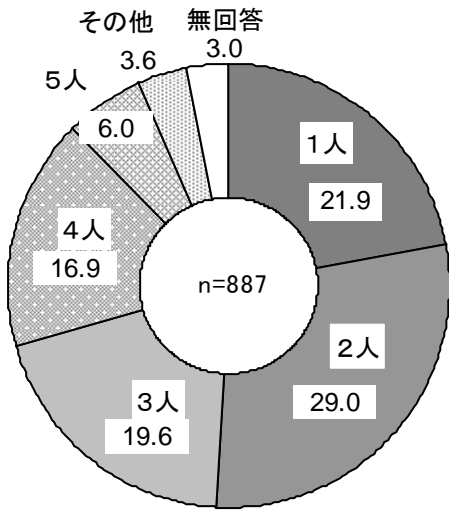


図7 家族形態

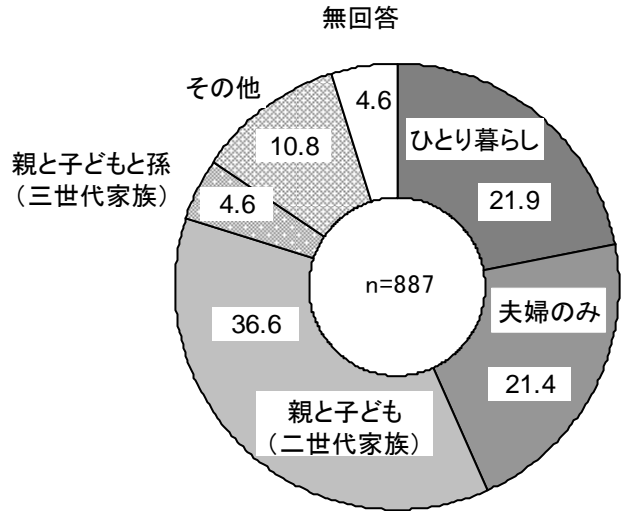


図8 ライフステージ

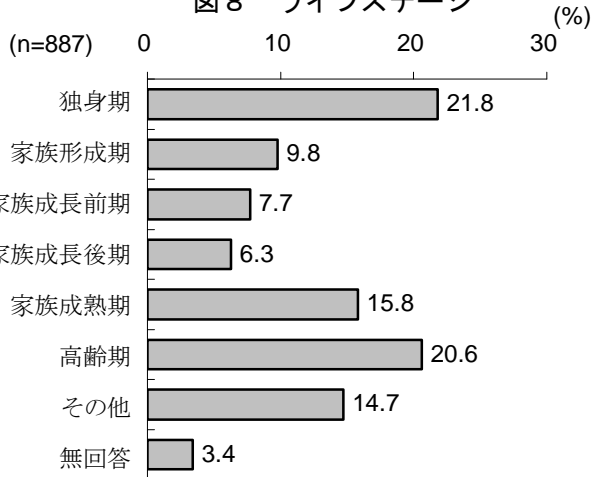
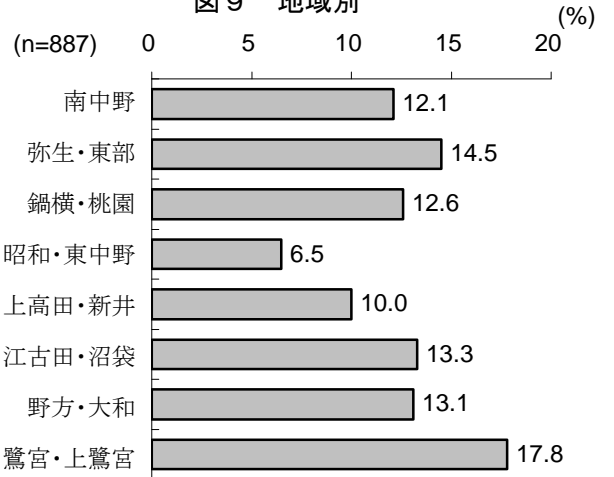


図9 地域別



独身期	→ 20・30代の独身
家族形成期	→ 20・30代で子どものいない夫婦、一番上の子どもが小学校入学前
家族成長前期	→ 一番上の子どもが小・中学生
家族成長後期	→ 一番上の子どもが高校・大学生
家族成熟期	→ 本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業
高齢期	→ 65歳以上
その他	→ 40～64歳で独身か夫婦のみ

図11 居住形態

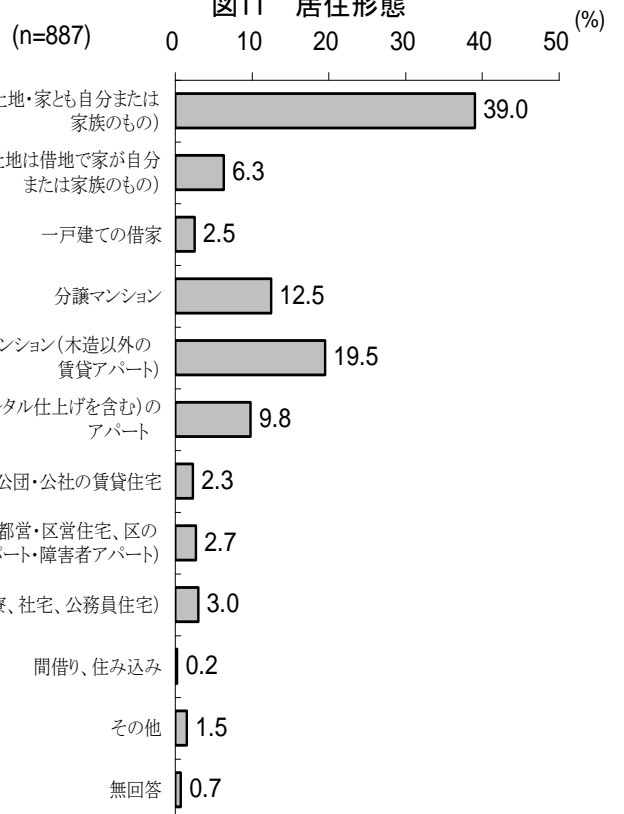
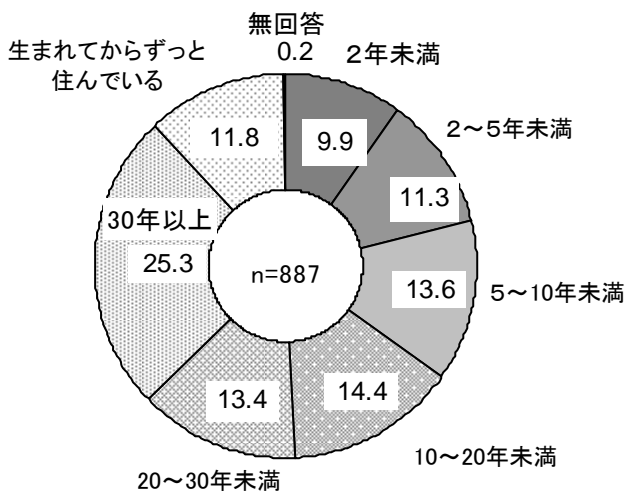


図10 居住年数



Ⅲ 質問と回答

Ⅲ 質問と回答

地区番号:

2008中野区区民意識調査

皆様におかれましては、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび中野区では、区民の皆様のお考えや、日常の生活実態などをお伺いし、今後の区政推進の基礎資料とすることを目的に、「中野区区民意識調査」を行うことといたしました。

今回の調査は、区内にお住まいの20歳以上の区民の皆様1,300人を対象に、「生活環境の満足度」「定住意向」「施策への要望」などについて実施します。

また、今回、あなた様にこの調査票をお送りしたのは、中野区民の中から統計的手法によって無作為に選ばせていただいた結果です。調査は無記名でお願いし、お答えいただいた内容は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査の実施につきましては、世論調査の専門機関である「株式会社タイム・エージェント」に委託しております。調査内容や回収方法について、ご不明の点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

平成20年8月

中野区政策室調査研究分野統計調査担当

☆ご記入にあたってのお願い

- ◇ 調査票は、あて名のご本人がご記入ください。
- ◇ 濃いえんぴつ、ボールペンまたは万年筆でご記入ください。
- ◇ お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。なお、複数回答もごさいますので、○は（ ）の中に指定した個数まで付けてください。
- ◇ お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容をできるだけ具体的に（ ）の中にご記入ください。

ご記入後、本調査票は、お手元で保管してください。

9月10日～9月20日までの間に、調査員が調査票をいただきにまいりますので、その際にお渡しくださいますようお願いいたします。なお、郵送による回答をご希望の方は、返信用封筒（中野区役所担当宛）をお届けしますので、株式会社タイム・エージェントまでご連絡ください。

<問い合わせ先>

調査内容については： 中野区政策室調査研究分野統計調査担当
〒164-8501 中野区中野四丁目8番1号
電話 03-3228-8892（直通）

回収については： 委託先：株式会社タイム・エージェント
〒150-0044 渋谷区円山町6番8号松木家ビル3F
電話 0120-079-282
(受付時間 土日・祝日を除く 10:00 ～ 18:00)

※「地区番号」について

調査票右上の番号は、お住まいの地域に該当する01～15の番号です。統計的数値として処理し、個人を特定するものではありませんので、ご理解ください。

1 定住意向

問1 あなたは、中野区にお住まいになって何年になりますか。(1つに○) n=887

1	2年未満	9.9	5	20年～30年未満	13.4
2	2年～5年未満	11.3	6	30年以上	25.3
3	5年～10年未満	13.6	7	生まれてからずっと住んでいる	11.8
4	10年～20年未満	14.4		無回答	0.2

問2 これからも引き続いて中野区にお住まいになりますか。(1つに○) n=887

1	ずっと住み続けるつもり	32.5	3	いずれ転出するつもり	11.3
2	今のところは住み続けるつもり	42.6	4	近いうち転出するつもり	1.9
			5	わからない	11.4
				無回答	0.3

【問2で「3 いずれ転出するつもり」「4 近いうち転出するつもり」と答えた方に伺います。】

問2-1 中野区から転出する場合の理由は何ですか。(いくつでも○)

n=117

1	自分の結婚、学業、仕事などの都合のため	35.9	7	現在の住宅の広さに不満があるため	13.7
2	家族の結婚、仕事などの都合のため	5.1	8	現在の住宅が古くなったから	6.0
3	子どもの誕生や成長、教育のため	6.8	9	持家を取得するため	12.0
4	親や子ども、友人などとの同居・別居のため	10.3	10	現在の住宅の家賃やローンが高いから	7.7
5	賃貸借契約等の期限切れ、家主からの立退き要求などのため	3.4	11	現在の住宅は通勤・通学に不便だから	1.7
6	現在の住宅の周りの環境に不満があるため	8.5	12	その他(具体的に)	21.4

問3 現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。(1つに○)

n=887

1	一戸建ての家(土地・家とも自分または家族のもの)	39.0
2	一戸建ての家(土地は借地で家が自分または家族のもの)	6.3
3	一戸建ての借家	2.5
4	分譲マンション	12.5
5	民間の賃貸マンション(木造以外の賃貸アパート)	19.5
6	民間の木造(モルタル仕上げを含む)のアパート	9.8
7	公団・公社の賃貸住宅	2.3
8	公営住宅など(都営・区営住宅、区の高齢者アパート・障害者アパート)	2.7
9	給与住宅など(寮、社宅、公務員住宅)	3.0
10	間借り、住み込み	0.2
11	その他(具体的に)	1.5
	無回答	0.7

問4 現在お住まいの床面積の合計は、この中のどれにあたりますか。(床面積には、居住室のほか、玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押入れなども含みます。)(1つに○) [参考 6畳=9.9㎡]

n=887

1	2.5㎡未満	11.2	5	5.0~7.5㎡未満	23.6
2	2.5~3.0㎡未満	7.8	6	7.5~9.5㎡未満	13.2
3	3.0~4.0㎡未満	10.0	7	9.5㎡以上	20.5
4	4.0~5.0㎡未満	8.7		無回答	5.1

2 生活環境の満足度

問5 あなたは、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか。項目ごとにお答えください。(それぞれ1つずつ○)

n=887

	良い	どちらかといえば良い	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
(ア) 交通の便	63.5	29.2	5.4	1.4	0.6
(イ) 買い物の便	47.7	36.0	12.1	3.0	1.2
(ウ) みどりの豊かさ	16.2	38.0	32.2	10.9	2.6
(エ) 公園や広場	15.8	39.7	30.3	12.1	2.1
(オ) 近所付き合い	13.9	47.4	27.8	8.9	2.0
(カ) 交通の安全性	18.4	50.5	22.9	6.7	1.6
(キ) 災害時の安全性	7.8	41.0	34.4	13.3	3.5
(ク) 風紀や治安	14.7	57.8	21.0	5.0	1.6
(ケ) 景観や街並み	10.0	49.6	30.8	7.8	1.8
(コ) 騒音や大気汚染	9.6	44.8	32.2	11.5	1.9
(サ) ごみ出しやリサイクル	18.5	55.7	19.1	4.6	2.1
(シ) 全体としての住みやすさ	23.1	64.8	9.9	1.1	1.0

問6 あなたは、隣近所の方々とどのようにお付き合いをされていますか。(1つに○) n=887

1 家族ぐるみで親しくしているところがある	12.3	4 会えばあいさつをする程度	41.6
2 困った時に協力しているところがある	12.5	5 ほとんど付き合いはない	13.0
3 ときどき世間話をする程度	19.7	6 その他 (具体的に)	0.6
		無回答	0.3

3 地元（住まいの近辺又は最寄り駅周辺）商店の利用

問7 あなたやあなたのご家庭で、食料品や日用品を購入するとき、地元の個人商店をどの程度利用していますか。(1つに○) n=887

1 ほぼ毎日利用する	14.1	4 月に数回利用する	26.2
2 週に3～4回利用する	15.2	5 年に数回利用する	13.1
3 週に1～2回利用する	20.1	6 まったく利用しない	9.8
		無回答	1.6

【問7で「5 年に数回利用する」「6 まったく利用しない」と答えた方に伺います】

問7-1 その理由は何ですか。(いくつでも○) n=203

1 値段が高い	26.6	5 割引・特典サービスがない	12.3
2 品揃えが少ない	46.3	6 店や店員の雰囲気がよくない	7.9
3 営業時間が短い	29.1	7 その他 (具体的に)	41.9
4 駐車場・駐輪場が整備されていない	6.4	無回答	1.5

問8 あなたが地元の個人商店に望むことは何ですか(3つまで○) n=887

1 商品の利用方法などの知識や丁寧な説明	16.7	6 営業時間の延長	17.0
2 購入後のきめ細やかなアフターサービス	13.8	7 駐車場・駐輪場の整備	8.3
3 豊富な品揃え	43.4	8 割引・特典サービス	26.6
4 品質の信頼性	38.8	9 その他 (具体的に)	3.7
5 宅配サービスの実施	7.1	10 特になし	20.1
		無回答	2.6

問9 地元の商店街において、「共同宅配システム」があったら、利用しますか。(1つに○) n=887

1 是非利用したい	3.8	3 利用するつもりはない	33.8
2 利用条件によっては利用したい	33.7	4 わからない	26.9
		無回答	1.7

共同宅配システム：商店街に加盟している各店舗の購入したい商品を、一括して電話やインターネットで申し込むと、まとめて各家庭に配達されるシステム

4 コンビニエンスストアの利用

コンビニエンスストア:年中無休で長時間（1日に14時間以上）の営業を行い、主に食料品、日用雑貨など多数の品種を扱うセルフサービスの小規模な小売店

問10 あなたはコンビニエンスストアをどの程度利用していますか。（1つに○） n=887

1	ほぼ毎日利用する	17.4	4	月に数回利用する	24.0
2	週に3～4回利用する	20.1	5	年に数回利用する	8.3
3	週に1～2回利用する	26.0	6	まったく利用しない	2.5
				無回答	1.7

【問10で「1」～「5」と答えた方に伺います】

問10-1 コンビニエンスストアを一番多く利用するのはどの時間帯ですか。（1つに○） n=850

1	午前0時～午前6時	2.4	5	午後1時～午後5時	20.6
2	午前6時～午前9時	8.1	6	午後5時～午後7時	8.1
3	午前9時～正午	12.0	7	午後7時～午後9時	19.4
4	正午～午後1時	7.4	8	午後9時～午前0時	18.9
				無回答	3.1

問10-2 コンビニエンスストアでよく買うものは何ですか。（いくつでも○） n=850

1	新聞・雑誌	21.8	7	生鮮食品	3.6
2	飲料（酒除く）	51.3	8	日用品（石鹸、洗剤、歯磨きなど）	7.8
3	酒	16.6	9	文房具	8.4
4	お弁当・おにぎり・惣菜	54.9	10	たばこ・喫煙具	15.5
5	菓子・パン	51.2	11	化粧品	1.3
6	ファーストフード（おでん、肉まんなど）	13.1	12	その他（具体的に）	5.1
				無回答	1.3

問10-3 コンビニエンスストアで利用するサービスは何ですか。（いくつでも○） n=850

1	銀行ATM	38.9	8	お中元、ギフトなどの贈り物	1.3
2	コピー、ファックス	37.5	9	店頭受取りサービス（インターネットで注文した商品などの受取・代金の支払い）	10.7
3	写真のプリント・焼増し（DPE）	2.7	10	その他	
4	公共料金等各種支払い	52.0		（具体的に）	1.4
5	宅配便申込み	33.9	11	サービスは利用していない	13.4
6	料理品の宅配	0.1		無回答	1.5
7	取寄せ便	0.7			

5 いろいろなサービスの利用

問11 次のような地元（住まいの近辺又は最寄り駅周辺）の店などの中で、あなたがふだん利用するのはどれですか。（いくつでも○） n=887

1 食堂	26.9	11 介護サービス事業者	1.2
2 ファミリーレストラン	26.6	12 マッサージ・リフレクソロジーなど	6.8
3 喫茶店	15.4	13 レンタルビデオ店	25.7
4 セルフサービスのコーヒーショップ	18.7	14 カラオケボックス	4.2
5 ファーストフード店	31.9	15 ゲームセンター	2.4
6 居酒屋	20.7	16 パチンコ店	5.9
7 美容室・理髪店	47.9	17 写真現像店（DPE）	16.8
8 クリーニング店	53.0	18 スポーツクラブ	8.9
9 公衆浴場	7.8	19 その他（具体的に）	5.1
10 ネイルサロン	0.2	20 利用しない	4.4
		無回答	2.3

問12 待ち合わせの時間調整や、外出中に時間が空いたときなど、どのような場所ですごしますか。（いくつでも○） n=887

1 ファミリーレストラン	6.4	6 書店	54.8
2 喫茶店	23.8	7 デパート・百貨店	32.4
3 セルフサービスのコーヒーショップ	33.6	8 その他（具体的に）	3.2
4 ファーストフード店	17.6	9 そのような機会はない	11.6
5 公園・広場	9.0	無回答	2.0

6 生活の安全（防災）

問13 近年、震度6強規模の地震が多く発生しており、大きな被害が生じています。あなたは、東京で大地震が起こるかもしれないという不安を感じることがありますか。（1つに○） n=887

1 非常に不安を感じる	40.9	3 あまり不安を感じない	7.7
2 少し不安を感じる	49.3	4 全く不安を感じない	1.2
		無回答	0.9

問14 あなたのお宅では、災害が起きたときのために、どのような備えをしていますか（いくつでも○） n=887

1 消火器	33.7	8 預金通帳などの貴重品の災害時に備えた保管	22.0
2 懐中電灯・ローソク・マッチ	64.0	9 三角バケツや風呂水のため置き	13.8
3 携帯ラジオと乾電池	44.6	10 家具の固定	18.8
4 食料	27.2	11 家族で連絡方法などを話し合っている	18.0
5 飲料水	41.6	12 その他（具体的に）	1.8
6 衣類	10.7	13 備えていない	17.1
7 救急医療品	20.3	無回答	1.4

問15 あなたは、大地震が起きた場合、ご自身の安全が確保された後、まず初めにどのような行動をとると考えますか。(1つに○) n=887

1	ラジオなどで正確な地震の情報を得る	22.7	5	非常持ち出し品など、避難の準備をする	7.3
2	家族と電話などで連絡をとる	43.5	6	安全と思われる場所に避難する	13.1
3	子どもを迎えに行く	5.5	7	近くの店に食料品などを買いに行く	0.8
4	帰宅する	4.6	8	その他(具体的に)	0.9
				無回答	1.6

問16 あなたの住んでいる地域は、地震による災害に対し、安全だと感じていますか。それとも危険と感じていますか。(1つに○) n=887

1	安全	4.4	3	どちらかといえば危険	37.2
2	どちらかといえば安全	43.3	4	危険	12.9
				無回答	2.3



【問16で「3 どちらかといえば危険」「4 危険」と答えた方に伺います。】

問16-1 あなたは、どのような点が特に危険だと思いますか。(3つまで○) n=444

1	家屋・建物の倒壊	59.9	7	窓ガラスや看板など落下物	17.1
2	木造家屋の密集	41.7	8	がけ崩れや地割れ	3.4
3	道路が狭く複雑	47.5	9	道路際の通行の障害物が多い	7.0
4	延焼を防ぐ緑や広場が少ない	33.8	10	石油・化学薬品などの施設の存在	0.9
5	消火に利用できる川やプールがない	13.1	11	その他(具体的に)	3.8
6	人や車の交通量が多い	16.7		無回答	1.1

問17 あなたは、地域で行われる防災訓練などに、参加したことがありますか(1つに○) n=887

1	いつも参加している	2.0	3	参加したことはないが、機会があれば参加したい	62.1
2	参加したことがある	16.7	4	参加できない(理由)	11.3
			5	参加したくない(理由)	6.3
				無回答	1.6

問18 中野区では、災害時の救援・救護活動の拠点として区内小・中学校など50か所を「避難所」に指定しています。あなたは、ご自分の「避難所」をご存じですか。(1つに○) n=887

1	知っている	66.4	3	知らない	25.1
2	聞いているが、場所は知らない	6.9		無回答	1.6

問19 あなたが避難所に望むことは何ですか（3つまで○） n=887

1	救援物資の迅速な供給	74.9	5	医療・介護活動の充実	56.7
2	プライバシーの保護	16.1	6	介護が必要な避難者のケア	9.7
3	正確な安否情報の提供	41.8	7	その他（具体的に）	0.8
4	トイレ・ごみ等の衛生管理	68.0	8	わからない	2.1
				無回答	1.6

問20 大地震などの災害が起こったとき、あなたの家やご近所に、ひとりで避難することが困難な方、例えば、高齢者や障害者、乳幼児、病人、妊産婦などの人はいますか。（1つに○） n=887

1	いる	36.3	2	いない	34.0	3	わからない	28.5	無回答	1.1
---	----	------	---	-----	------	---	-------	------	-----	-----

問21 大地震が起きた場合、あなたは、あなたの家族以外の、自力で避難することが困難で、援護を必要とする人に対して、どのような協力ができそうだと思いますか。あなたご自身や家族の安全はおおむね確保されていると仮定してお答えください。（いくつでも○） n=887

1	「大丈夫ですか」などの声かけ	74.1	7	一時的な保護・預かり	14.1
2	避難の手助け	68.1	8	オムツや薬、ミルクなどの必需品の確保	3.5
3	家族や親族・知人への連絡	44.1	9	外国人への通訳、情報提供	4.8
4	災害状況などの伝達	33.8	10	その他（具体的に）	1.1
5	介護や応急手当	21.6	11	協力できそうにない	5.0
6	精神的ケア（相談相手や話し相手）	25.4		無回答	1.5

7 インターネットの利用状況

問22 現在、あなたは、仕事以外でインターネットを利用していますか。（いくつでも○） n=887

1	パソコンで利用している	58.4	4	ゲーム機で利用している	2.1
2	携帯電話やPHSで利用している	34.5	5	PDA（携帯情報端末）で利用している	0.8
3	区立施設に設置した区民公開用インターネット端末で利用している	0.5	6	その他（具体的に）	0.3
			7	利用していない	29.7
				無回答	4.5

【問22で「1」～「6」に○をした方に伺います】

問22-1 インターネットを利用する目的は何ですか。（いくつでも○） n=584

1	ホームページからの情報収集	89.0	8	有料で提供されている情報の利用	8.2
2	電子メールのやりとり	72.1	9	飛行機や列車、ホテルなどの予約	36.8
3	チャットや掲示板サービス・SNS	16.6	10	金融機関や証券会社などの取引	19.2
4	インターネットを使った電話サービス（IP電話、テレビ電話など）	11.0	11	ホームページやブログの作成及び公開	10.1
5	書籍や衣類、チケットなど商品の購入・予約	45.7	12	オンラインゲーム	6.5
6	オークションでの商品の売買	15.8	13	国や地方自治体への電子申請	5.7
7	音楽や映画、写真・動画などの電子データの購入や鑑賞	23.8	14	地図情報の利用	47.9
			15	その他（具体的に）	2.1
				無回答	1.5

8 施策への要望

問23 つぎにあげる施策の中で、中野区が力を入れていると評価できるものを3つ以内で選び、番号を口内に記入してください。

また、今後特に力をいれてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を口内に1つずつ記入してください。

	力を入れて いると評価 できるもの	今後特に力をいれてほしいもの			
		第1位	第2位	第3位	総合
	n=887	n=887	n=887	n=887	n=887
1 平和	4.8	0.3	0.5	0.3	1.1
2 人権	1.7	0.5	0.1	0.2	0.8
3 国際化	1.4	0.6	0.7	0.8	2.0
4 情報化（IT）の推進	2.1	1.1	1.2	1.0	3.4
5 防災	12.0	14.2	6.3	5.7	26.3
6 防犯	16.9	11.0	10.4	4.6	26.0
7 地域・自治活動	11.3	0.5	0.8	1.4	2.6
8 産業振興	3.3	2.9	2.9	2.7	8.6
9 消費者支援	1.5	0.8	1.5	1.2	3.5
10 環境改善	2.1	4.7	4.7	5.4	14.9
11 ごみ対策	32.4	2.9	6.1	3.7	12.7
12 子育て支援	6.2	6.0	3.9	2.5	12.4
13 子ども育成	5.2	2.3	5.0	1.6	8.8
14 男女平等	1.0	0.1	0.1	0.1	0.3
15 健康	8.8	2.6	3.3	4.8	10.7
16 公衆衛生	1.9	1.0	2.9	3.4	7.3
17 高齢者福祉	10.0	10.3	8.6	7.6	26.4
18 障害者福祉	6.2	2.1	3.4	1.7	7.2
19 低所得者支援	2.4	2.3	2.9	4.2	9.4
20 道路・交通	12.4	6.4	4.2	6.3	16.9
21 みどり・公園	9.5	6.2	5.2	6.9	18.3
22 住宅・まちづくり	2.0	1.7	2.9	3.6	8.2
23 駅前などの重点まちづくり	7.7	2.3	2.0	3.0	7.3
24 学校教育	3.5	1.9	3.4	4.4	9.7
25 文化・スポーツ	5.2	1.1	2.3	3.7	7.1
26 その他	0.8	1.0	0.1	0.8	1.9
27 特にない	16.9	1.6	-	-	1.6
無回答	14.3	11.6	14.7	18.3	11.6

9 区の窓口対応等

問24 あなたはこの1年間で、どのような用件で区の窓口を利用または電話しましたか。
(いくつでも○)

【問24で「ア」～「サ」に○をした方に伺います】
問24-1 利用した職員の印象はどうでしたか。
(それぞれ1つずつ○)

n=887

	利用したことがあるものに○
(ア) 戸籍・住民票	53.3
(イ) 保険（健康保険、介護保険）	19.4
(ウ) 税金	19.2
(エ) 子ども	6.8
(オ) 保健・医療（区民健診、健康講座、医療費の助成など）	12.7
(カ) 福祉サービス（障害者）	2.6
(キ) 福祉サービス（高齢者）	5.0
(ク) 生活への資金援助	0.7
(ケ) 施設利用（文化施設）	8.0
(コ) 施設利用（運動施設）	4.8
(サ) その他（具体的に）	3.6
(シ) 利用したことがない	23.4
無回答	2.9



	良かった	どちらかといえば良かった	どちらでもない	どちらかといえば悪かった	悪かった	無回答
n=473	32.3	31.3	30.0	3.2	1.9	1.3
n=172	32.0	29.1	26.2	4.7	3.5	4.7
n=170	22.9	30.6	30.0	6.5	5.9	4.1
n=60	28.3	35.0	20.0	3.3	10.0	3.3
n=113	31.9	28.3	27.4	6.2	4.4	1.8
n=23	26.1	43.5	17.4	4.3	4.3	4.3
n=44	36.4	22.7	15.9	6.8	4.5	13.6
n=6	33.3	33.3	-	-	16.7	16.7
n=71	35.2	26.8	28.2	4.2	4.2	1.4
n=43	11.6	41.9	27.9	7.0	4.7	7.0
n=32	34.4	18.8	12.5	6.3	18.8	9.4

【問24-1で「良かった」「どちらかといえば良かった」とお答えいただいた方に伺います】
問24-2 良かった点について、次の中から選んでください。
(いくつでも○)

		職員の窓口などでのあいさつ	職員の服装	職員からの声かけ	職員の窓口などでの説明	仕事・サービスの迅速さ	仕事・サービスの確さ	意見・要望・苦情などに対する対応	窓口の整理整頓	申請や届出などの手続きの簡略化	職員の電話での対応	無回答
(ア) 戸籍・住民票	n=301	43.5	7.6	21.6	52.8	35.5	29.2	4.3	7.3	9.3	6.6	2.3
(イ) 保険(健康保険、介護保険)	n=105	36.2	9.5	18.1	57.1	25.7	26.7	10.5	3.8	8.6	19.0	5.7
(ウ) 税金	n=91	26.4	8.8	20.9	54.9	26.4	24.2	7.7	1.1	6.6	16.5	6.6
(エ) 子ども	n=38	42.1	7.9	28.9	81.6	26.3	31.6	13.2	5.3	7.9	7.9	2.6
(オ) 保健・医療	n=68	33.8	5.9	19.1	57.4	13.2	25.0	1.5	1.5	1.5	11.8	14.7
(カ) 福祉サービス(障害者)	n=16	31.3	12.5	31.3	56.3	25.0	12.5	18.8	-	6.3	12.5	6.3
(キ) 福祉サービス(高齢者)	n=26	42.3	3.8	19.2	53.8	15.4	23.1	11.5	3.8	3.8	15.4	7.7
(ク) 生活への資金援助	n=4	25.0	-	-	100.0	-	-	25.0	25.0	25.0	50.0	-
(ケ) 施設利用(文化施設)	n=44	36.4	4.5	13.6	45.5	25.0	45.5	4.5	9.1	6.8	9.1	13.6
(コ) 施設利用(運動施設)	n=23	65.2	-	13.0	21.7	17.4	4.3	-	8.7	-	4.3	13.0
(サ) その他	n=17	29.4	11.8	5.9	64.7	29.4	23.5	5.9	5.9	5.9	23.5	17.6

【問24-1で「悪かった」「どちらかといえば悪かった」とお答えいただいた方に伺います】
問24-3 悪かった点について、次の中から選んでください。
(いくつでも○)

		職員の窓口などでのあいさつ	職員の服装	職員からの声かけ	職員の窓口などでの説明	仕事・サービスの迅速さ	仕事・サービスの確さ	意見・要望・苦情などに対する対応	窓口の整理整頓	申請や届出などの手続きの簡略化	職員の電話での対応	無回答
(ア) 戸籍・住民票	n=24	41.7	20.8	37.5	70.8	41.7	25.0	16.7	20.8	16.7	20.8	4.2
(イ) 保険(健康保険、介護保険)	n=14	42.9	7.1	50.0	71.4	78.6	50.0	42.9	21.4	21.4	35.7	-
(ウ) 税金	n=21	38.1	4.8	38.1	52.4	33.3	42.9	33.3	-	23.8	33.3	9.5
(エ) 子ども	n=8	25.0	-	50.0	87.5	37.5	37.5	50.0	-	25.0	37.5	-
(オ) 保健・医療	n=12	33.3	8.3	50.0	58.3	50.0	41.7	41.7	16.7	33.3	33.3	8.3
(カ) 福祉サービス(障害者)	n=2	-	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-
(キ) 福祉サービス(高齢者)	n=5	-	20.0	20.0	40.0	40.0	-	-	-	20.0	20.0	20.0
(ク) 生活への資金援助	n=1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-
(ケ) 施設利用(文化施設)	n=6	16.7	-	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	-	50.0	16.7
(コ) 施設利用(運動施設)	n=5	20.0	-	-	40.0	40.0	40.0	-	-	-	60.0	20.0
(サ) その他	n=8	12.5	-	25.0	25.0	25.0	62.5	75.0	-	-	25.0	12.5

10 フェイスシート

統計的に処理するために、あなた自身とご家族についてお聞きします。

F 1 あなたの性別はどちらですか。 n=887

1 男	45.7	2 女	53.3	無回答	1.0
-----	------	-----	------	-----	-----

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。 n=887

1 20～24歳	5.1	4 35～39歳	10.6	7 50～54歳	6.8	10 65～69歳	7.8
2 25～29歳	8.7	5 40～44歳	9.2	8 55～59歳	9.2	11 70歳以上	13.5
3 30～34歳	9.8	6 45～49歳	8.1	9 60～64歳	10.1	無回答	1.0

F 3 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(主なもの1つに○) n=887

1 自営業	10.5	5 家事専業	15.0
2 常勤の勤め人	39.6	6 無職	16.0
3 パート・臨時・アルバイト	12.2	7 その他 (具体的に)	2.3
4 学生	2.7	無回答	1.8

▶【F 3で「1」～「4」に○をした方に伺います】

F 3-1 勤務先または通学先は、どちらですか。(1つに○) n=576

1 自宅と同じ	7.3	5 東京都以外	6.9
2 中野区内	12.8	6 その他 (具体的に)	0.9
3 中野区以外の区	58.9	7 特に決まっていない	1.9
4 23区以外の東京都	10.2	無回答	1.0

F 4 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。(1つに○) n=887

単身者である	1 20～39歳	21.8
	2 40～64歳	8.8
	3 65歳以上	5.1
配偶者がいて 子どもがいない	4 20～39歳	5.4
	5 40～64歳	5.9
	6 65歳以上	2.7
子どもがいる (同居・別居を 問わない)	7 一番上の子どもが小学校入学前	4.4
	8 一番上の子どもが小学生～中学生	7.7
	9 一番上の子どもが高校生～大学生	6.3
	10 あなたが64歳以下で、一番上の子どもが学校を卒業している	15.8
	11 あなたが65歳以上で、一番上の子どもが学校を卒業している	12.9
	無回答	3.4

F 5 現在、いっしょにお住まいのご家族は、あなたを含め、何人ですか。(1つに○)

n=887

1	1人	21.9	4	4人	16.9
2	2人	29.0	5	5人	6.0
3	3人	19.6	6	その他(人)	3.6
				無回答	3.0

【F 5で「2」～「6」に○をした方に伺います】

▶ F 5-1 いっしょにお住まいのご家族は、あなたを含め、次のどれにあたりますか。(1つに○)

n=666

1	夫婦のみ	28.5	4	その他(具体的に)	14.4
2	親と子ども(二世世代家族)	48.8		無回答	2.1
3	親と子どもと孫(三世世代家族)	6.2			

IV 結果と分析

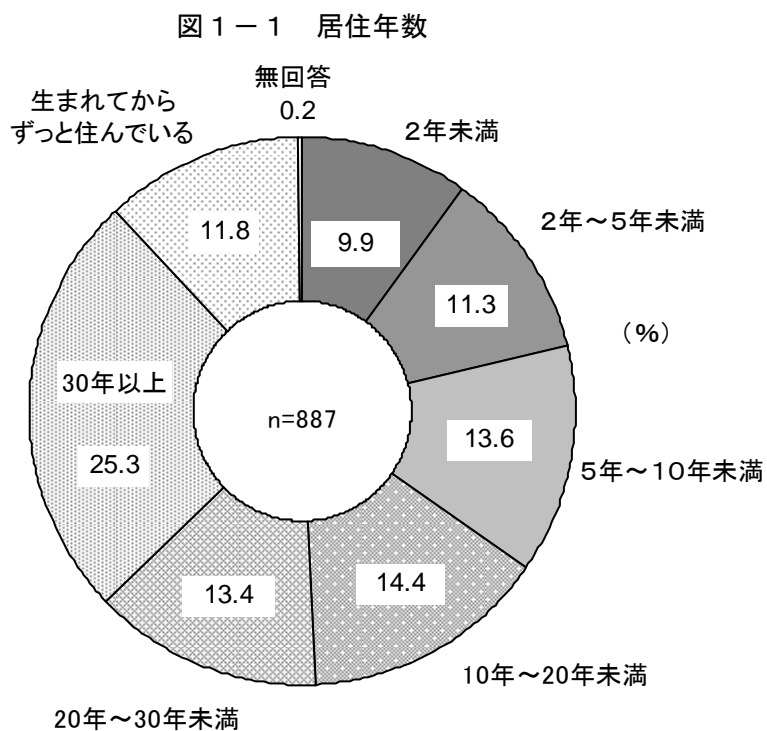
IV 結果と分析

1 定住意向

(1) 居住年数

◇『20年以上住んでいる』人が過半数

問1 あなたは、中野区にお住まいになって何年になりますか。(1つに○)

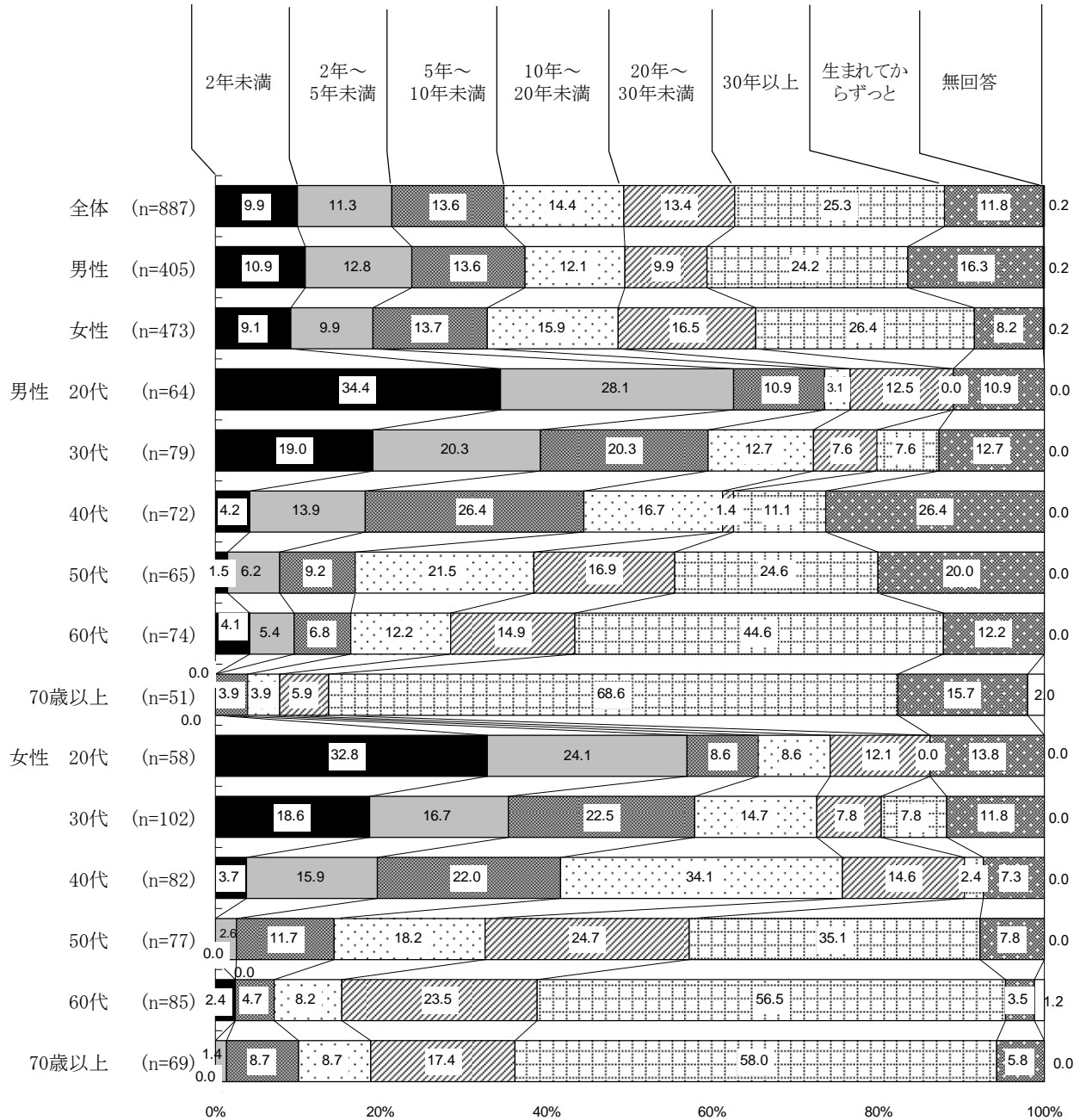


居住年数を聞いたところ、「20年～30年未満」「30年以上」「生まれてからずっと住んでいる」を合計した『20年以上住んでいる』人が半数以上に達している。(図1-1)

性別でみると、累計5年未満は、男性（23.7%）が女性（19.0%）よりやや高くなっている。

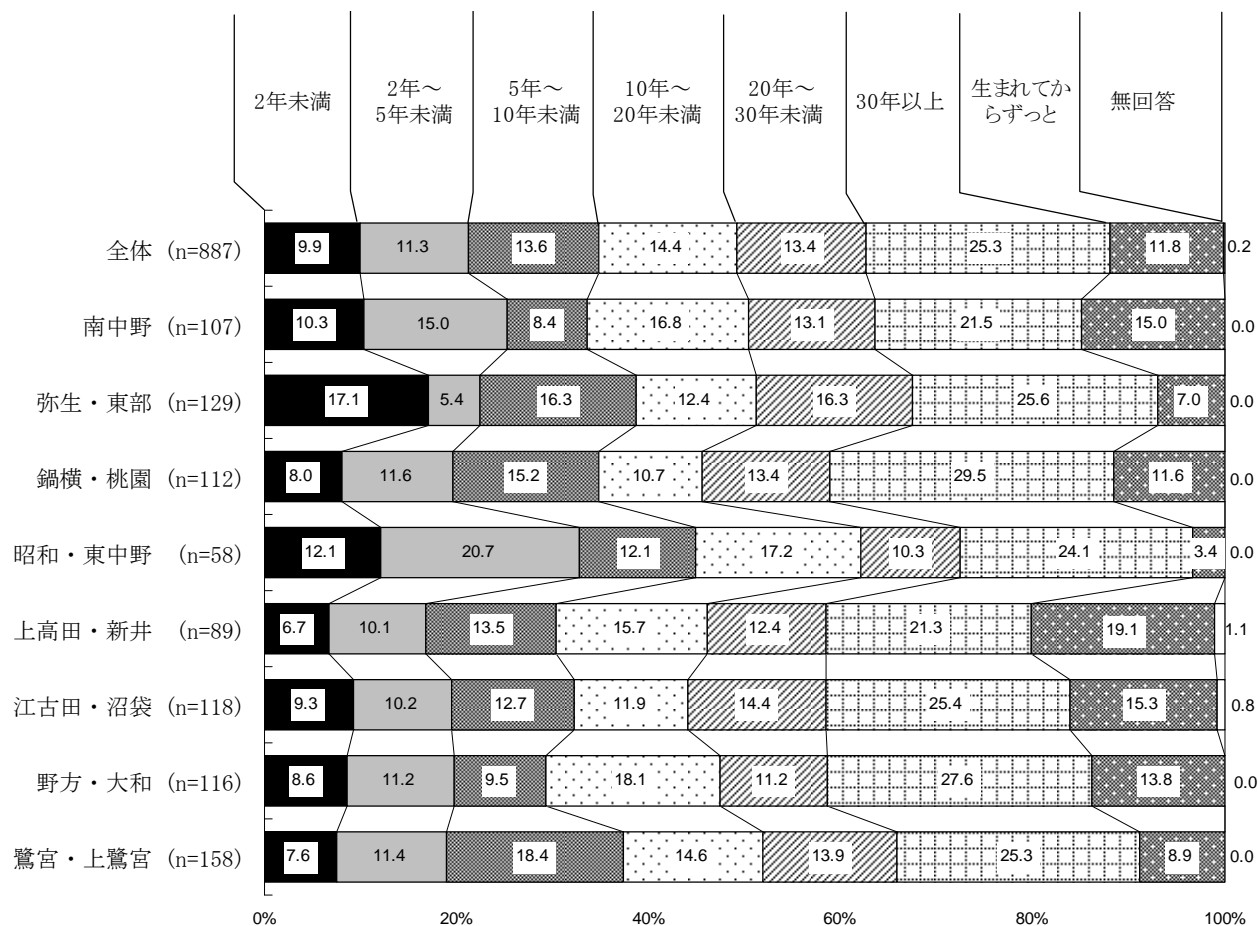
性・年代別でみると、20代では男女とも約6割が累計5年未満であり、30代では男女とも半数以上が累計10年未満である。（図1-2）

図1-2 居住年数 性別、性・年代別



地域別でみると、「2年未満」は弥生・東部（17.1%）が最も高く、5年未満の累計では、昭和・東中野（32.8%）が最も高い。一方、「生まれてからずっと住んでいる」を加えた20年以上の累計では、昭和・東中野が37.8%と低い、それ以外の地域に大きな差はない。（図1-3）

図1-3 居住年数 地域別

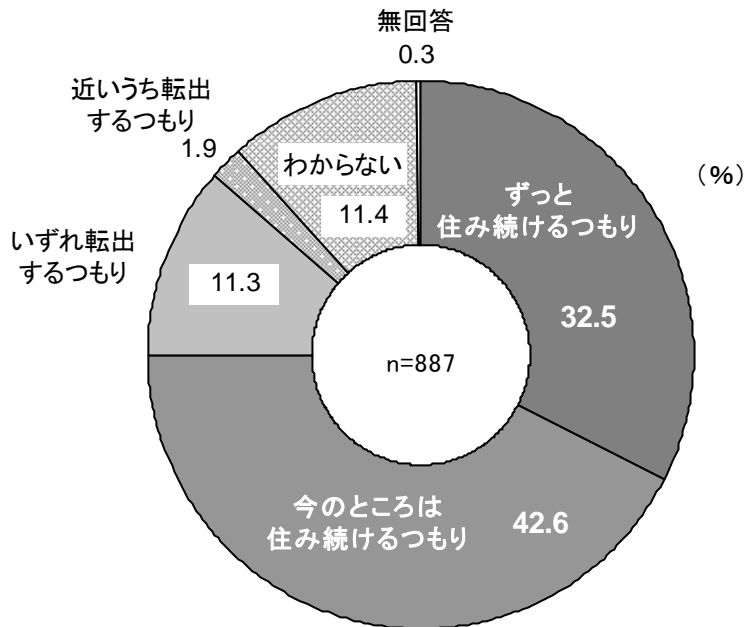


(2) 定住意向

◇『定住派』（「ずっと住み続けるつもり」「今のところは住み続けるつもり」の合計）が7割半ば

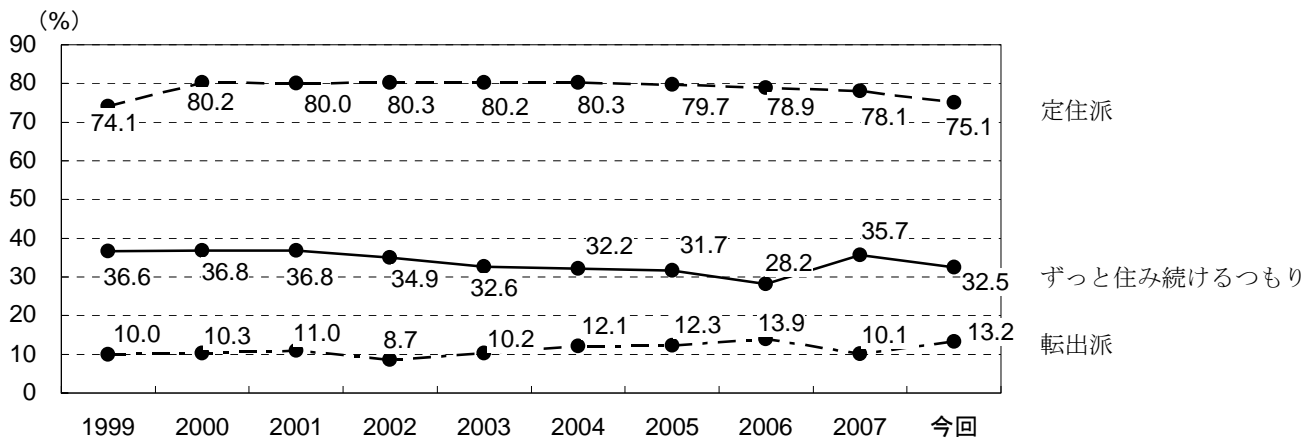
問2 これからも引き続いて中野区にお住まいになりますか。（1つに○）

図2-1 定住意向



定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」「今のところは住み続けるつもり」の合計を『定住派』、「いずれ転出するつもり」「近いうち転出するつもり」の合計を『転出派』とすると、『定住派』は75.1%、『転出派』は13.2%となっている。（図2-1）

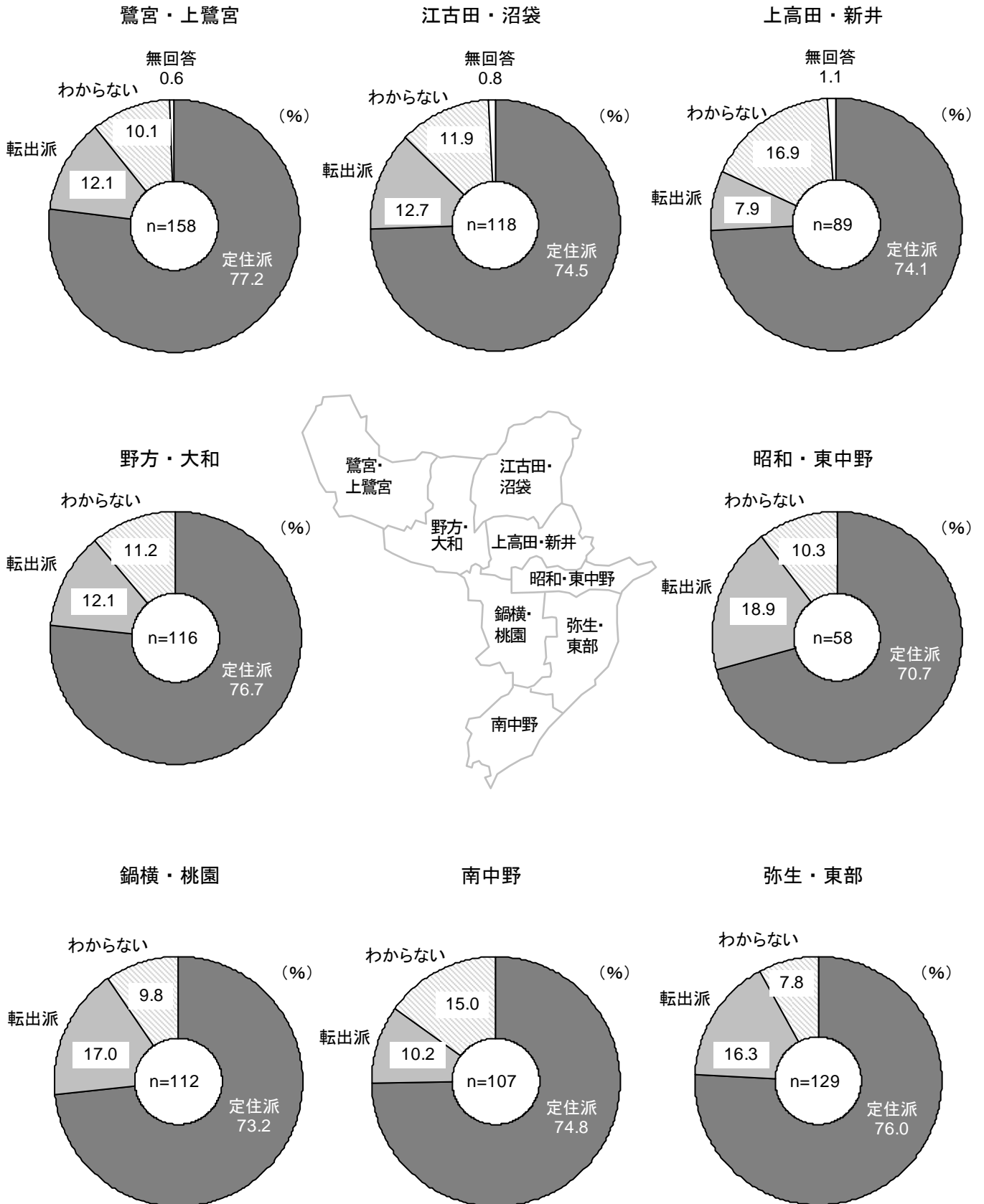
図2-2 定住意向の推移



定住意向の過去10年間の推移をみると、『定住派』は2005年以降減少傾向にあり、「ずっと住み続けるつもり」は前回（35.7%）より減少して32.5%となった。一方、『転出派』は前回（10.1%）より増加して13.2%となった。（図2-2）

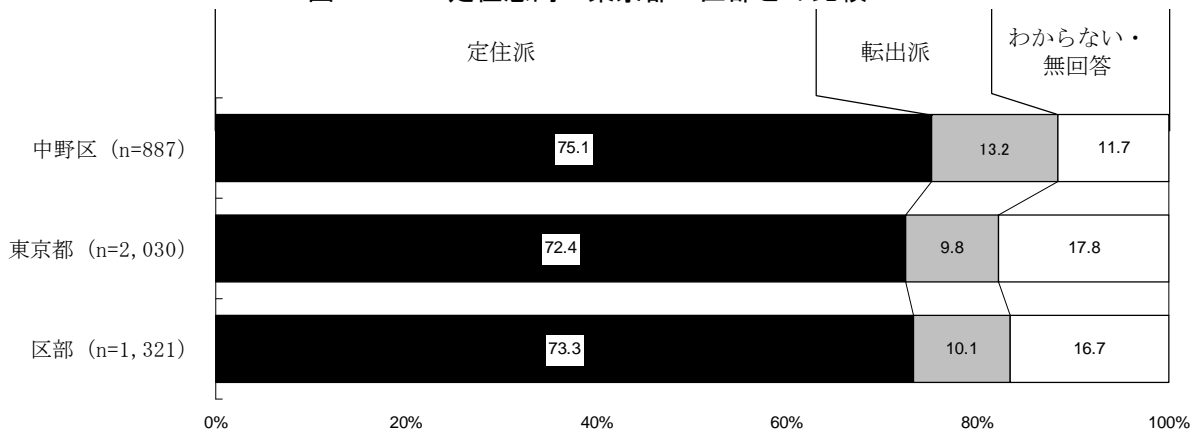
地域別でみると、『定住派』は、鷺宮・上鷺宮（77.2%）が最も高いが、他の地域も7割台で大きな差はみられない。一方、『転出派』は、昭和・東中野（18.9%）、鍋横・桃園（17.0%）、弥生・東部（16.3%）が他の地域に比べて高くなっている。（図2-3）

図2-3 定住意向 地域別



東京都の「都民生活に関する世論調査」では、「地域定住意向」として、「あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。」と質問している。中野区の『定住派』とこの調査の「住みたい」を、『転出派』と「住みたくない」を東京都全体、区部について比較してみると、目立つ差はみられない。(図2-4)

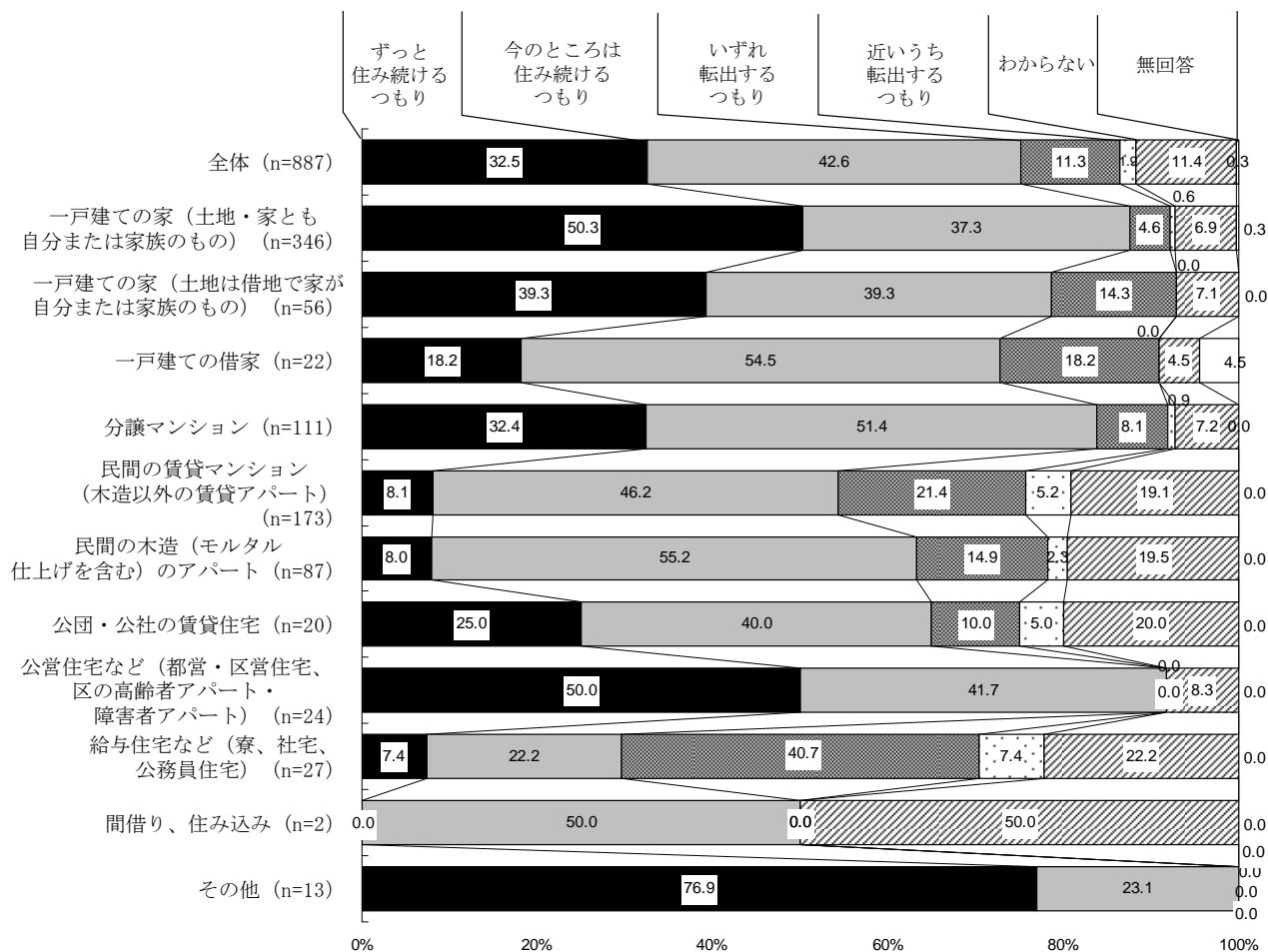
図2-4 定住意向 東京都・区部との比較



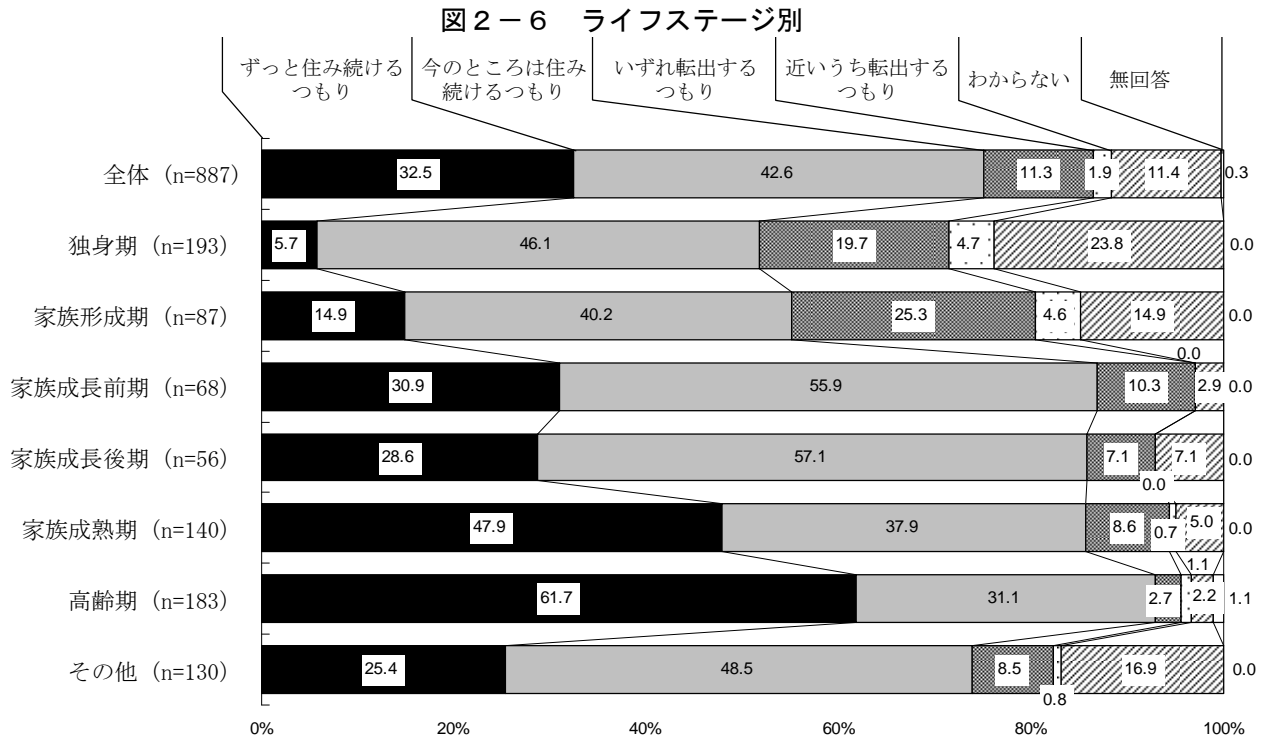
資料：東京都生活文化スポーツ局「都民生活に関する世論調査」(平成20年)

居住形態別でみると、『定住派』は公営住宅など(都営・区営住宅、区の高齢者アパート・障害者アパート)が9割強、一戸建ての家(土地・家とも自分または家族のもの)が8割半ばで高くなっており、給与住宅など(寮、社宅、公務員住宅)や民間の賃貸マンション(木造以外の賃貸アパート)では低くなっている。(図2-5)

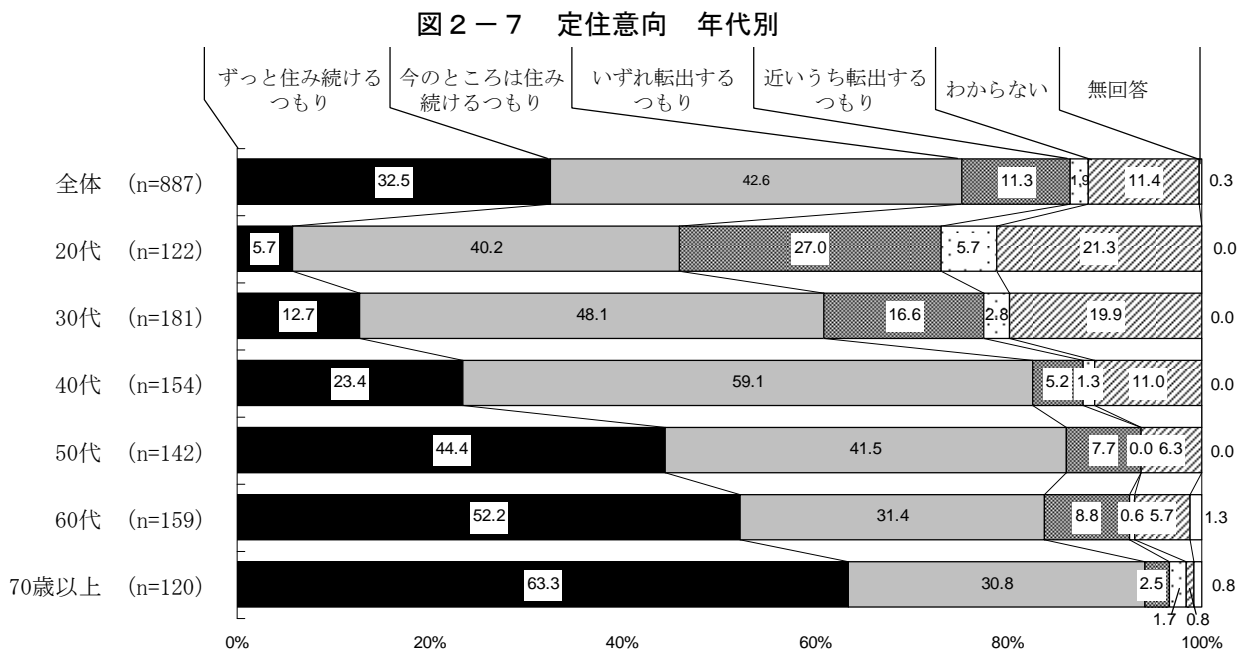
図2-5 定住意向 居住形態別



ライフステージ別でみると、「ずっと住み続けるつもり」は高齢期(61.7%)が最も高く、独身期(5.7%)、家族形成期(14.9%)では極めて低くなっている。一方、「いずれ転出するつもり」は家族形成期(25.3%)、独身期(19.7%)が他のライフステージよりやや高くなっている。(図2-6)



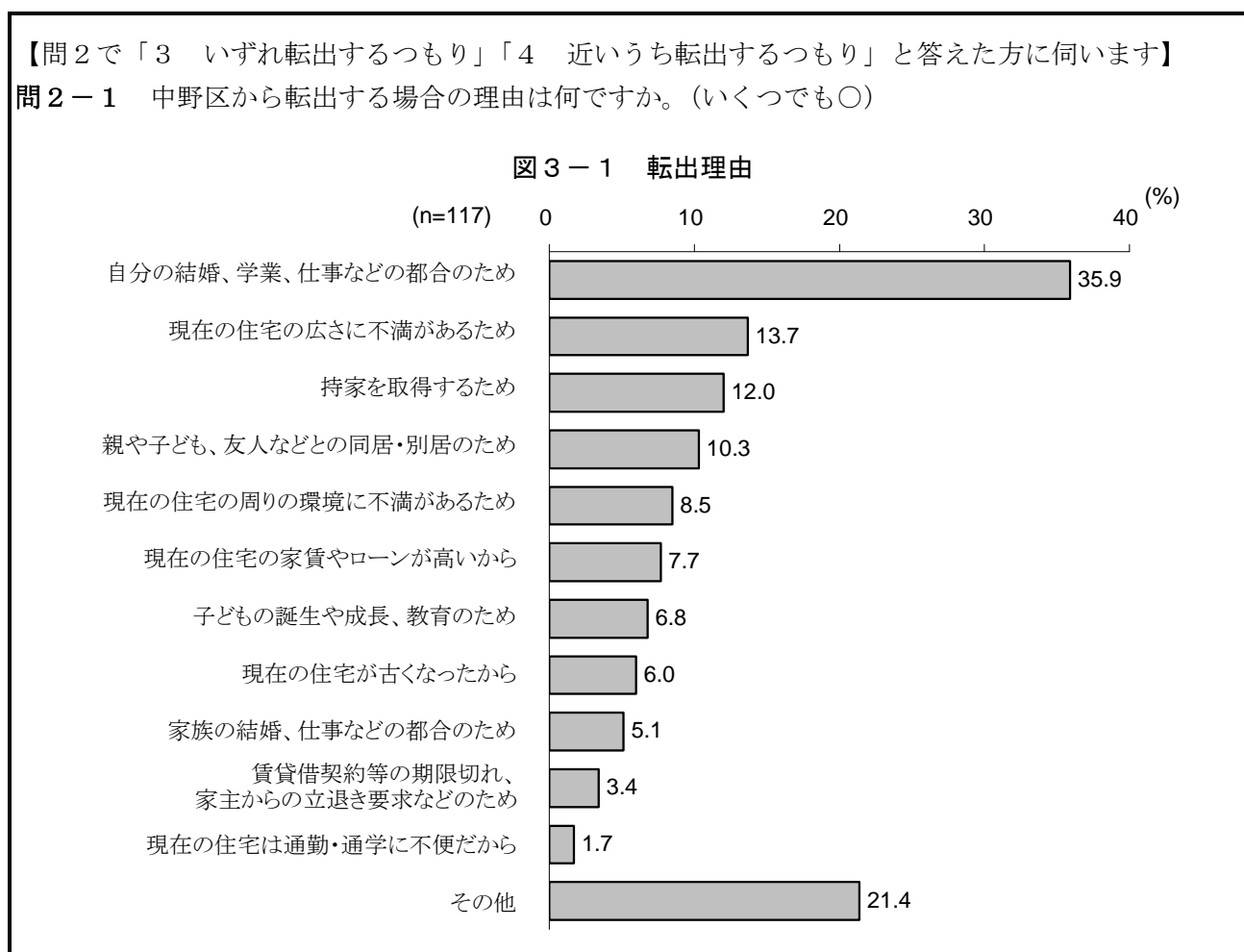
年代別でみると、『定住派』は、概ね年代が上がるにつれて高くなっており、70歳以上では9割に達している。一方、『転出派』は20代で3割強、30代で2割弱と、他の年代よりもかなり高くなっている。



(2-1) 転出理由

◇「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」に転出する人が3割半ばでトップ

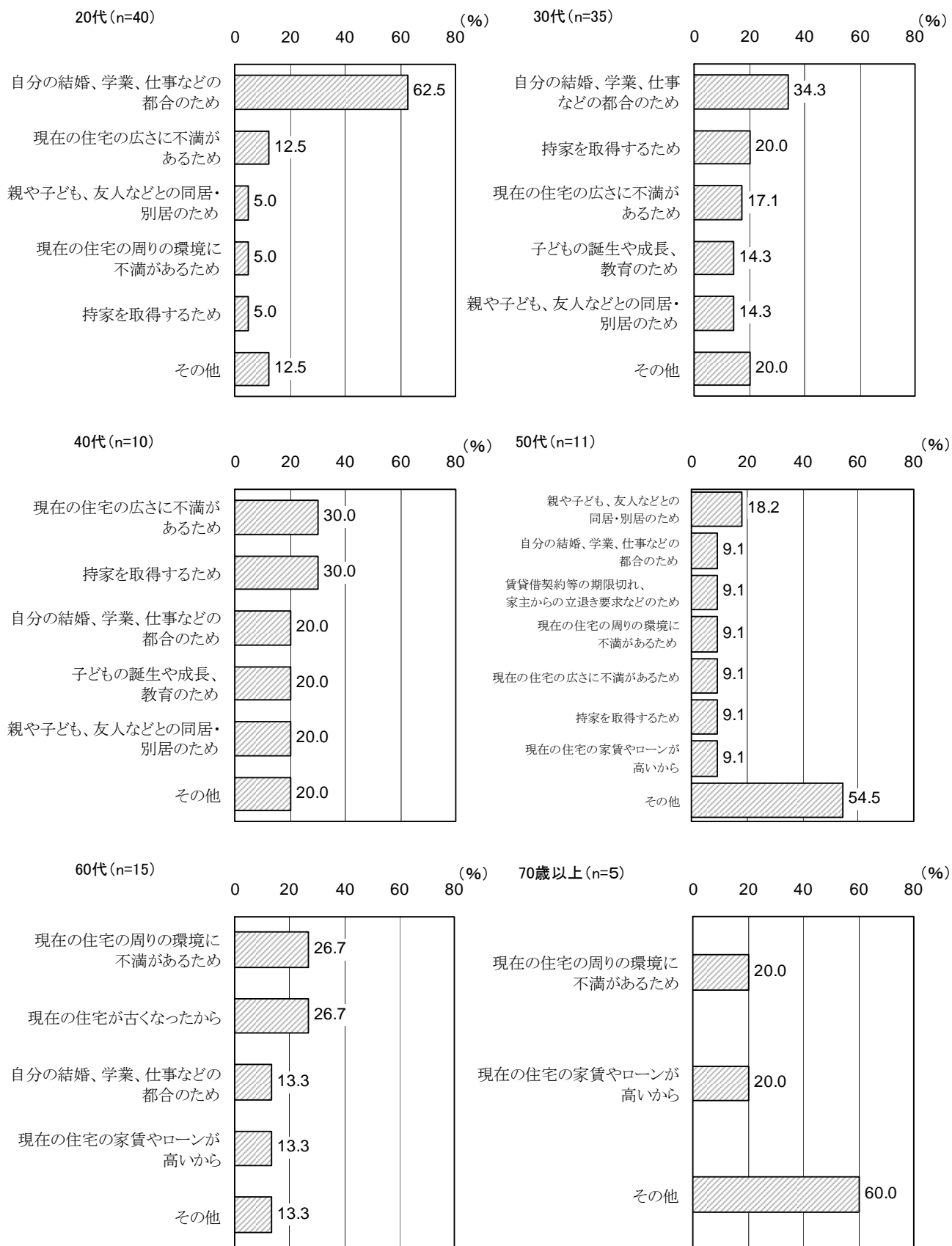
【問2で「3 いずれ転出するつもり」「4 近いうち転出するつもり」と答えた方に伺います】
問2-1 中野区から転出する場合の理由は何ですか。(いくつでも○)



転出を考えている人に転出理由を聞いたところ、「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」(35.9%)が最も高く、次いで「現在の住宅の広さに不満があるため」(13.7%)、「持家を取得するため」(12.0%)となっている。(図3-1)

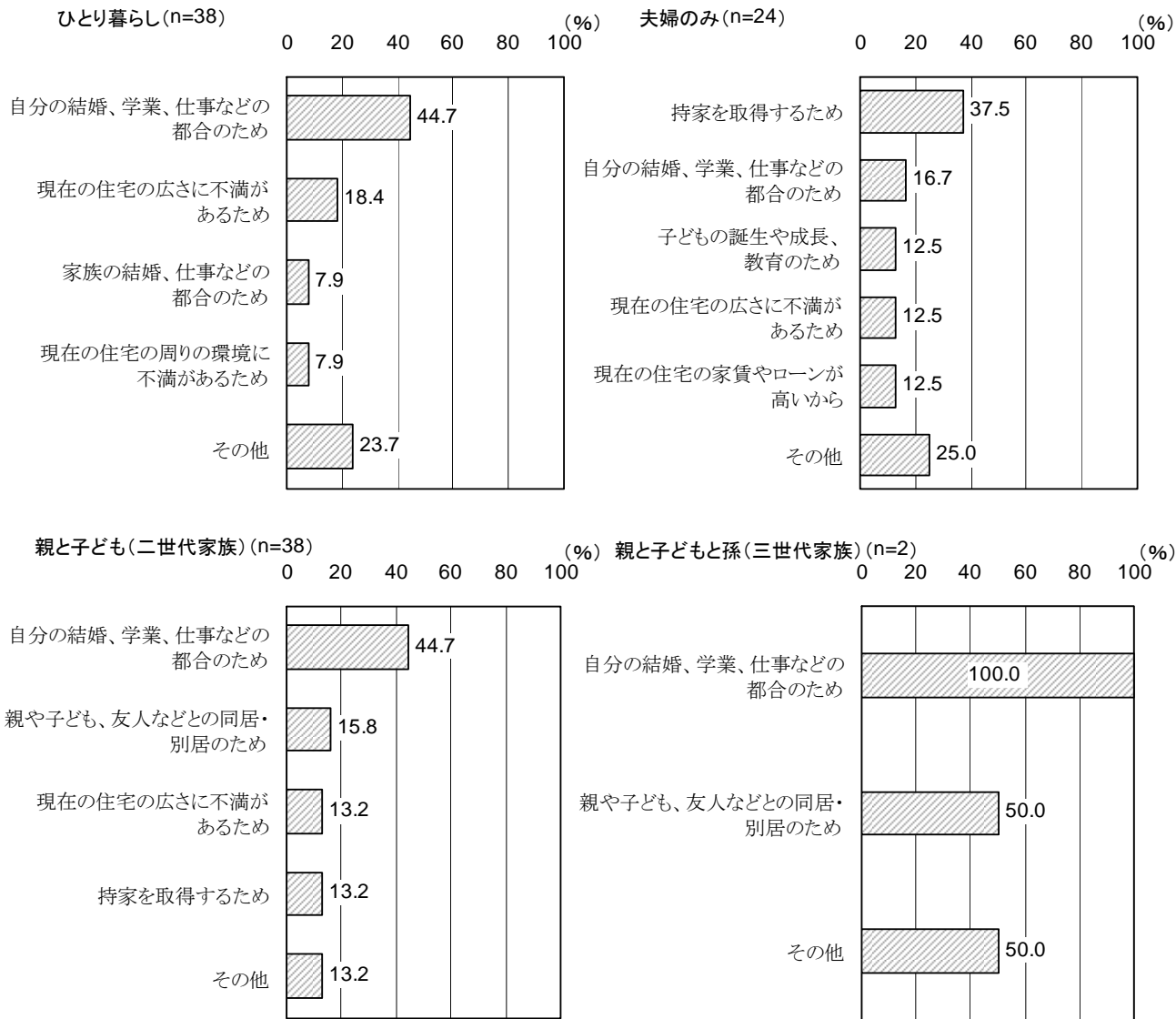
年代別でみると、20代、30代は「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」が最も高い。20代から50代で「現在の住宅の広さに不満があるため」、「持家を取得するため」、「親や子ども、友人などとの同居・別居のため」が共通して上位5項目にあげられている。(図3-2)

図3-2 転出理由 年代別(上位5項目)



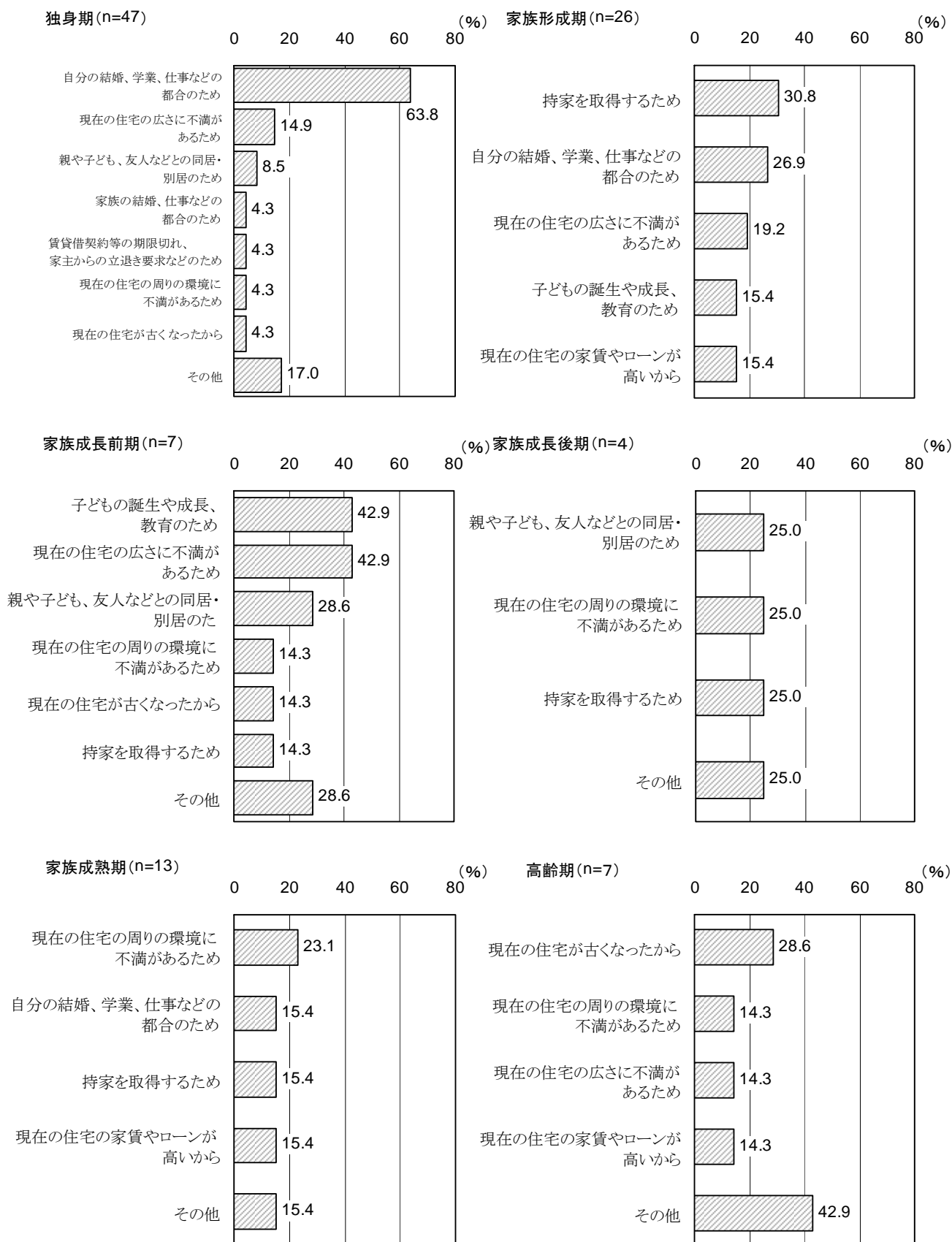
家族形態別でみると、夫婦のみを除くすべての家族形態で「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」が最も高くなっている。夫婦のみの家族形態では「持家を取得するため」が最も高い。「現在の住宅の広さに不満があるため」は親と子どもと孫（三世代家族）を除くすべての家族形態で上位5項目にあげられている。（図3-3）

図3-3 転出理由 家族形態別（上位5項目）



ライフステージ別で見ると、独身期では「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」が高く、家族形成期では「持家を取得するため」が高くなっている。(図3-4)

図3-4 転出理由 ライフステージ別 (上位5項目)

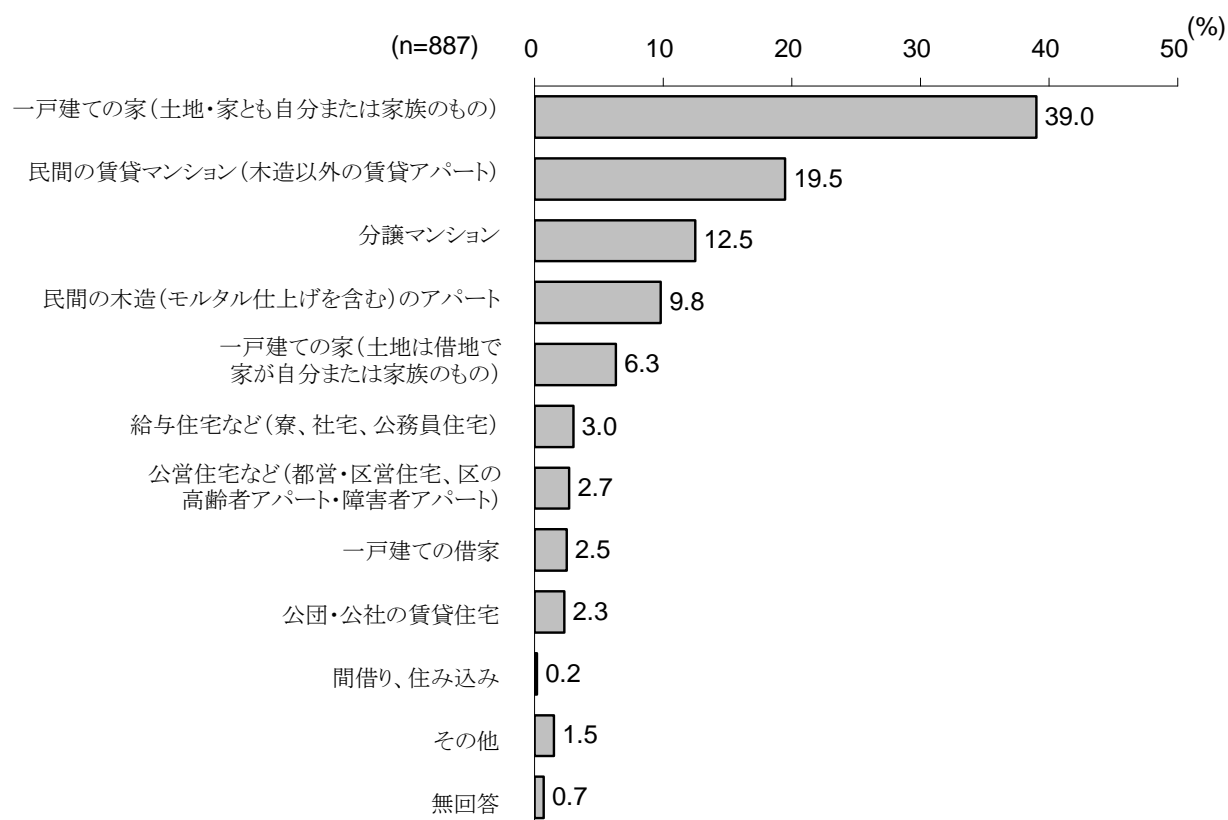


(3) 居住形態

◇「一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）」が約4割

問3 現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。（1つに○）

図4-1 居住形態



現在の住まいを聞いたところ、「一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）」（39.0%）が4割弱で最も高く、次いで「民間の賃貸マンション（木造以外の賃貸アパート）」（19.5%）、「分譲マンション」（12.5%）となっている。（図4-1）

地域別でみると、「一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）」は野方・大和（52.6%）や鷺宮・上鷺宮（46.8%）など区の北側のエリアで高くなっている。また、昭和・東中野では他の地域に比べ、「民間の賃貸マンション」（32.8%）が高くなっている。

家族形態別でみると、「一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）」は親と子どもと孫（78.0%）と親と子ども（49.8%）で高くなっている。一方、「民間の賃貸マンション」はひとり暮らし（32.5%）や夫婦のみ（20.5%）で高くなっている。（表4-1）

表4-1 居住形態 地域別 家族形態別

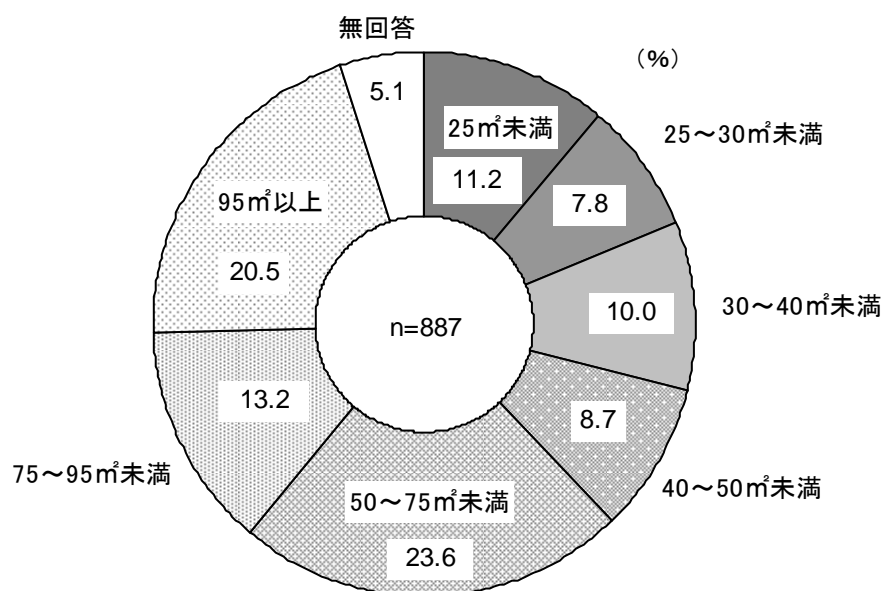
		一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの）	一戸建ての家（土地は借地で家が自分または家族のもの）	一戸建ての借家	分譲マンション	民間の賃貸マンション（木造以外の賃貸アパート）	民間の木造（モルタル仕上げを含む）のアパート	公団・公社の賃貸住宅	公営住宅など（都営・区営住宅、区の高齢者アパート・障害者アパート）	給与住宅など（寮、社宅、公務員住宅）	間借り、住み込み	その他	無回答
全 体(n=887)		39.0	6.3	2.5	12.5	19.5	9.8	2.3	2.7	3.0	0.2	1.5	0.7
地域別	南中野(n=107)	28.0	14.0	0.9	13.1	25.2	9.3	0.9	5.6	0.0	0.9	1.9	0.0
	弥生・東部(n=129)	38.8	3.1	1.6	17.1	24.0	9.3	0.0	0.0	5.4	0.0	0.8	0.0
	鍋横・桃園(n=112)	37.5	3.6	2.7	18.8	20.5	11.6	1.8	0.0	1.8	0.0	0.9	0.9
	昭和・東中野(n=58)	32.8	1.7	5.2	20.7	32.8	5.2	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0
	上高田・新井(n=89)	29.2	7.9	3.4	13.5	20.2	11.2	0.0	1.1	3.4	1.1	5.6	3.4
	江古田・沼袋(n=118)	37.3	7.6	3.4	11.9	16.9	8.5	5.1	5.1	3.4	0.0	0.8	0.0
	野方・大和(n=116)	52.6	10.3	2.6	6.0	11.2	6.0	0.0	0.0	7.8	0.0	2.6	0.9
	鷺宮・上鷺宮(n=158)	46.8	2.5	1.9	5.7	13.9	13.9	7.0	7.0	0.6	0.0	0.0	0.6
家族形態別	ひとり暮らし(n=194)	9.8	2.6	1.0	12.4	32.5	30.9	0.5	2.6	4.1	0.0	2.1	1.5
	夫婦のみ(n=190)	40.0	6.8	2.1	13.7	20.5	6.3	3.2	4.2	1.6	0.0	1.1	0.5
	親と子ども(二世世代家族)(n=325)	49.8	8.0	3.7	13.5	12.0	2.2	2.5	2.2	4.6	0.3	0.9	0.3
	親と子どもと孫(三世世代家族)(n=41)	78.0	9.8	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	4.9	0.0
	その他(n=96)	45.8	5.2	1.0	12.5	25.0	2.1	3.1	2.1	1.0	0.0	1.0	1.0

(4) 床面積

◇床面積『50㎡以上』が約6割

問4 現在お住まいの床面積の合計は、この中のどれにあたりますか。(床面積には、居室のほか、玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押入れなども含みます。)(1つに○) [参考 6畳=9.9㎡]

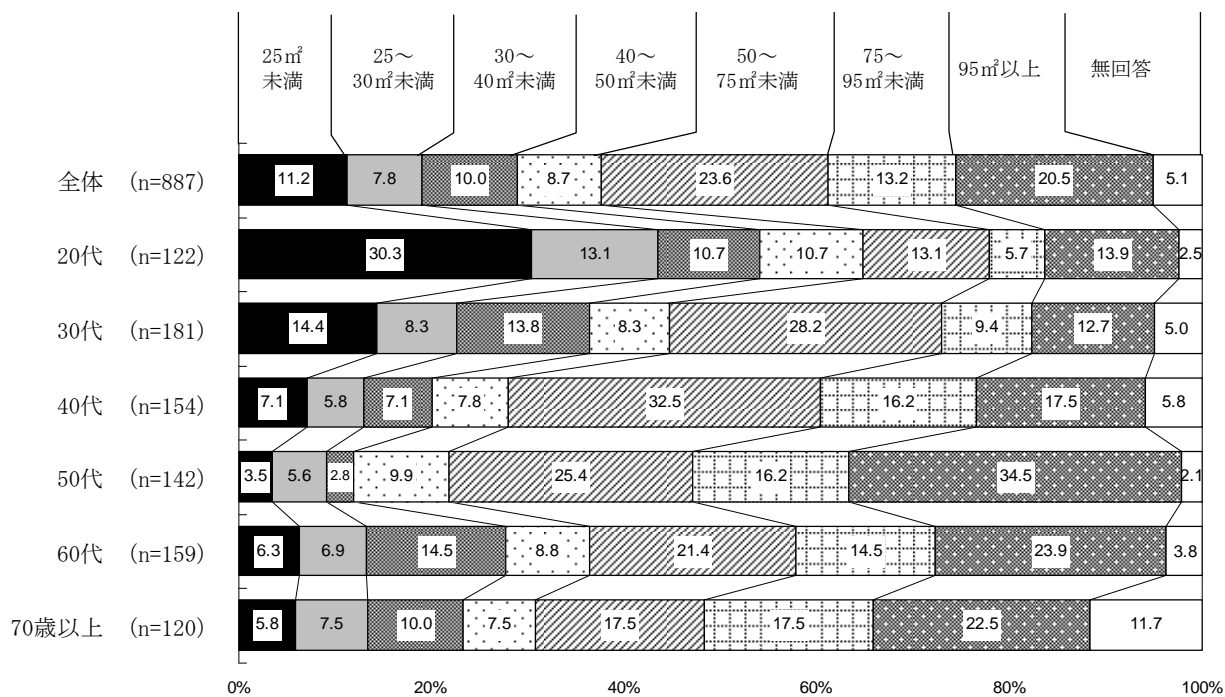
図5-1 床面積



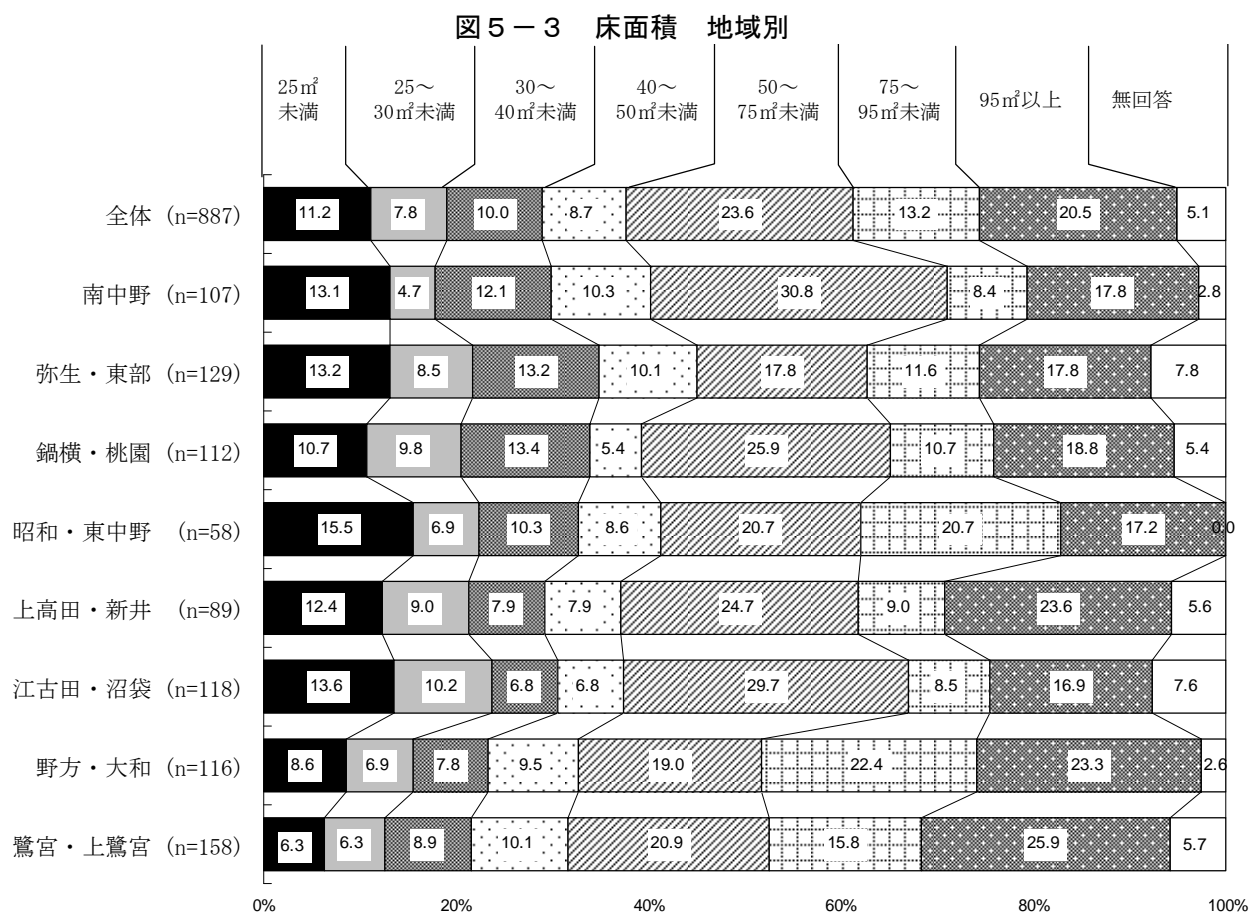
床面積を聞いたところ、「50~75㎡未満」(23.6%)が最も高く、次いで「95㎡以上」(20.5%)、「75~95㎡未満」(13.2%)となっている。また、「50~75㎡未満」「75~95㎡未満」「95㎡以上」を合計した『50㎡以上』は6割弱となっている。(図5-1)

年代別でみると、「25㎡未満」は20代（30.3%）が最も高く、30代（14.4%）が続き、他の年代では1割に満たない。一方、「95㎡以上」は50代（34.5%）に続いて60代（23.9%）、70歳以上（22.5%）が高くなっている。（図5-2）

図5-2 床面積 年代別

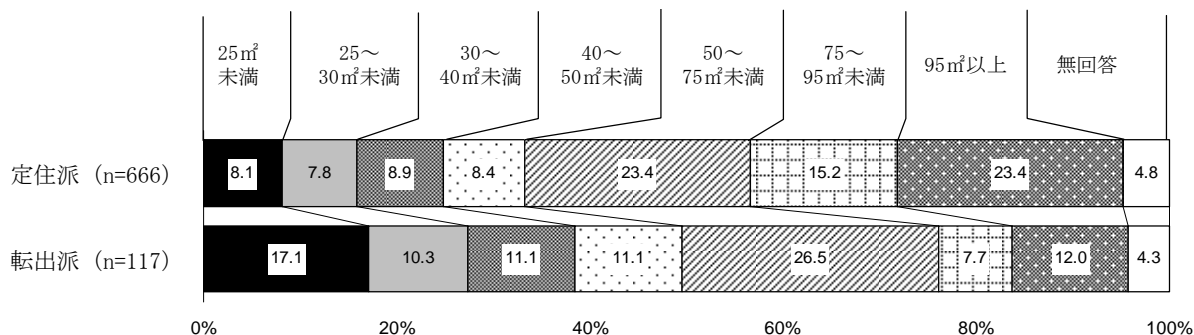


地域別でみると、「25㎡未満」は昭和・東中野（15.5%）が最も高く、鷺宮・上鷺宮（6.3%）が最も低くなっている。一方、「95㎡以上」は鷺宮・上鷺宮（25.9%）が最も高く、江古田・沼袋（16.9%）が最も低くなっている。（図5-3）



問2の定住意向（『定住派』・『転出派』）別でみると、「25㎡未満」は『定住派』のうち8.1%であるのに対し、『転出派』では17.1%に達している。一方、「95㎡以上」は『定住派』のうち23.4%であるが、『転出派』では12.0%に留まっている。（図5-4）

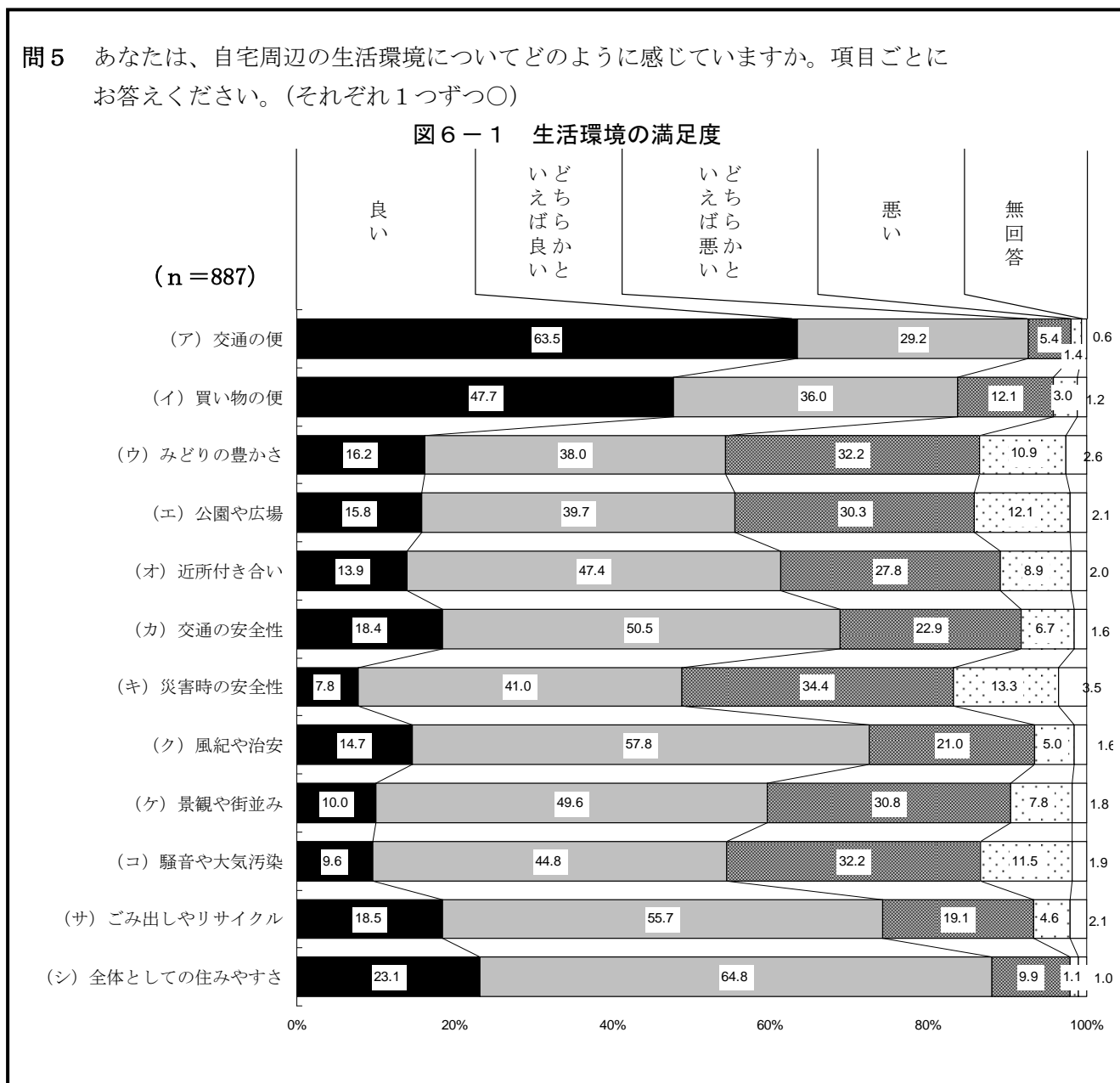
図5-4 床面積 問2『定住派』・『転出派』別



2 生活環境の満足度

(1) 生活環境の満足度

◇良いと感じるのは「交通の便」が6割半ば、次いで「買い物の便」が5割弱



自宅周辺の生活環境に関する各項目について聞いたところ、「良い」「どちらかといえば良い」を合計した『良い評価』は、「交通の便」(92.7%)が最も高く、次いで「全体としての住みやすさ」(87.9%)、「買い物の便」(83.7%)となっている。また、「災害時の安全性」(48.8%)は各項目中『良い評価』が最も低く、災害時の不安の大きさがうかがえる。(図6-1)

【生活環境の評価点】

満足度の比較をより明確にするために、4段階評価に点数を与え、下式により評価点を算出して、各項目の評価を行った。

$$\begin{array}{r} \text{評価点} = \\ \text{「良い」の回答者} \quad \times 4 \text{点} \\ + \text{「どちらかといえば良い」の回答者} \quad \times 3 \text{点} \\ + \text{「どちらかといえば悪い」の回答者} \quad \times 2 \text{点} \\ + \text{「悪い」の回答者} \quad \times 1 \text{点} \\ \hline \text{全回答者数 (887) - 無回答} \end{array}$$

◎この算出方法では、評価点は1.00～4.00の間に分布し、2.50が中間値になる

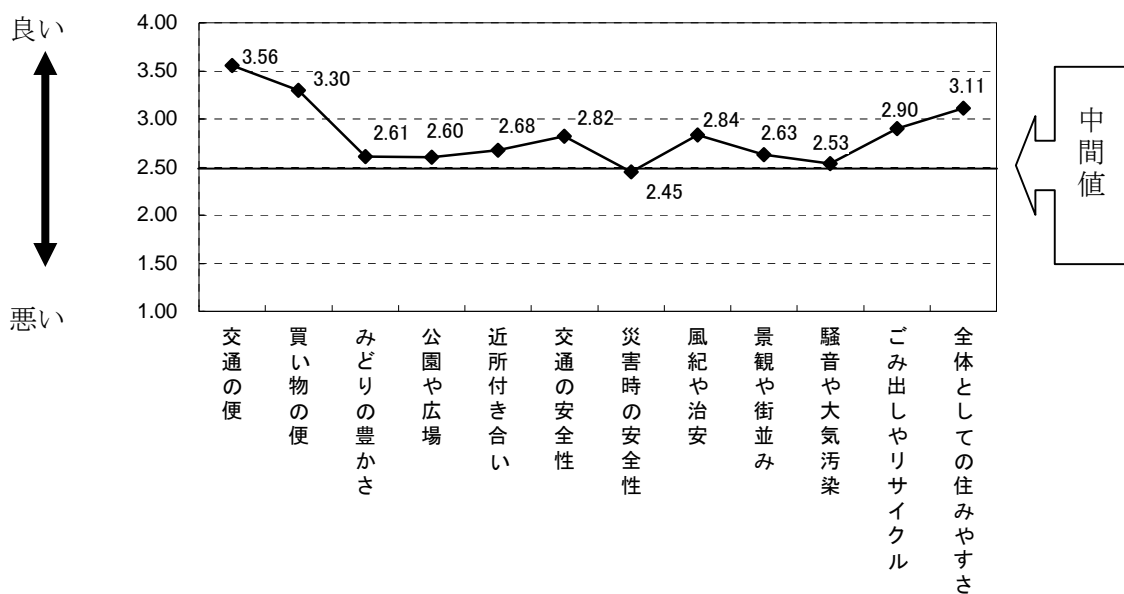
◎4.00に近いほど評価が良く、1.00に近いほど評価が悪い

中間値よりも評価が高い項目は、高い順に「交通の便」(3.56)、「買い物の便」(3.30)、「ごみ出しやリサイクル」(2.90)、「風紀や治安」(2.84)、「交通の安全性」(2.82)、「近所付き合い」(2.68)、「景観や街並み」(2.63)、「みどりの豊かさ」(2.61)、「公園や広場」(2.60)、「騒音や大気汚染」(2.53)となっている。

一方、中間値よりも評価が低い項目は、「災害時の安全性」(2.45)のみとなっている。

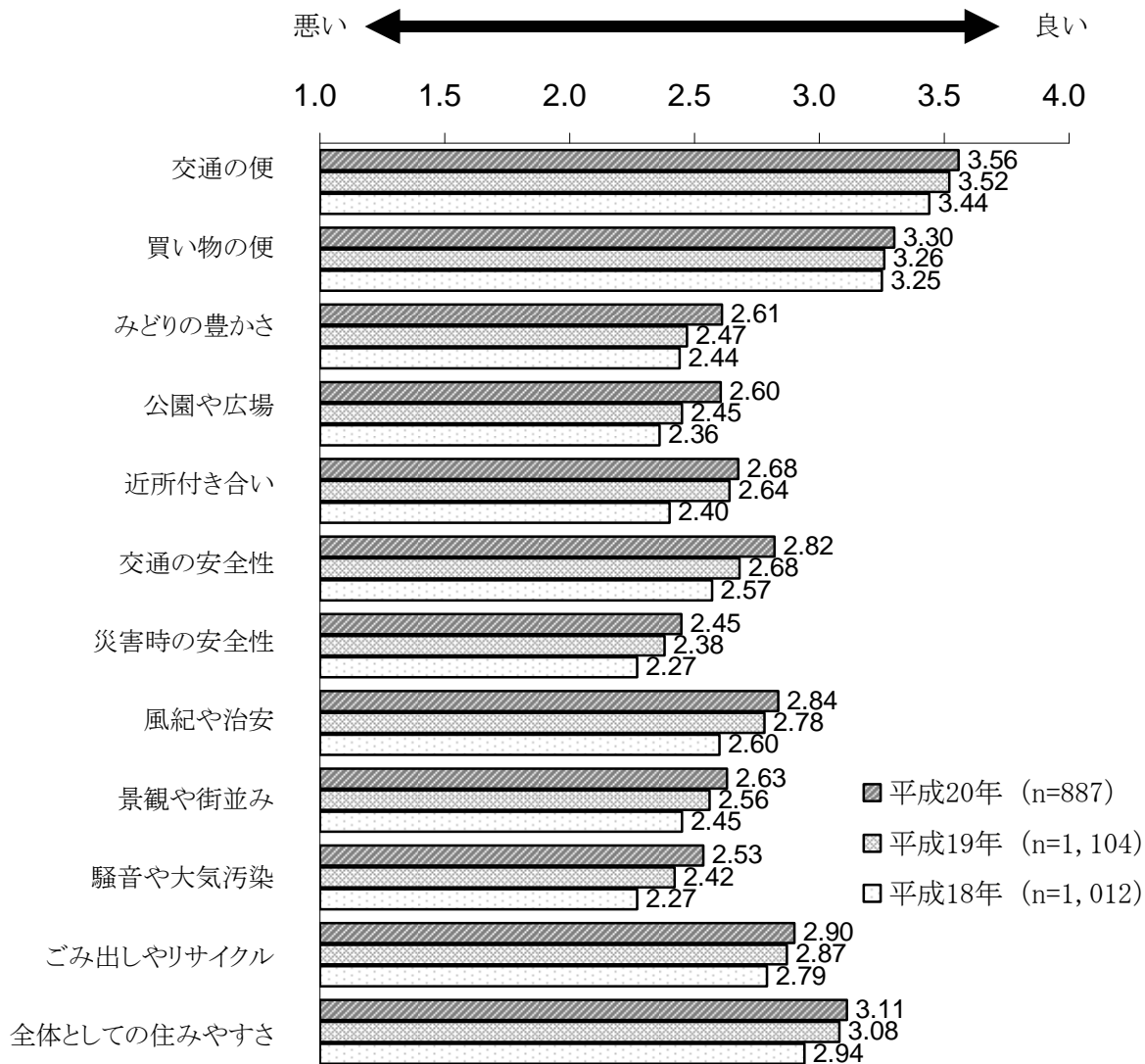
なお、「全体としての住みやすさ」は3.11であり、昨年の3.08より0.03点高くなっている。(図6-2)

図6-2 生活環境の評価点



生活環境の満足度を過去の結果（平成19年、平成18年）と比較すると、すべての項目で過去の結果を上回っており、評価が高くなっている傾向がみられる。特に、「近所付き合い」は平成20年は2.68であり、平成18年の2.40より0.28点高くなっている。（図6-3）

図6-3 2008（平成20年度）までの生活環境の評価点推移



地域別でみると、「交通の便」、「買い物の便」、「近所付き合い」、「交通の安全性」、「風紀や治安」、「ごみ出しやリサイクル」、「全体としての住みやすさ」はすべての地域で中間値よりも評価が高く、特に「交通の便」、「買い物の便」はすべての地域で評価点3.00を上回る高い評価となっている。地域間で評価に差があるのは、差が大きい順に「みどりの豊かさ」、「公園や広場」、「騒音や大気汚染」となっている。「全体としての住みやすさ」は地域間の差が少ない。(図6-4-①～②)

図6-4-① 生活環境の評価点—地域別—

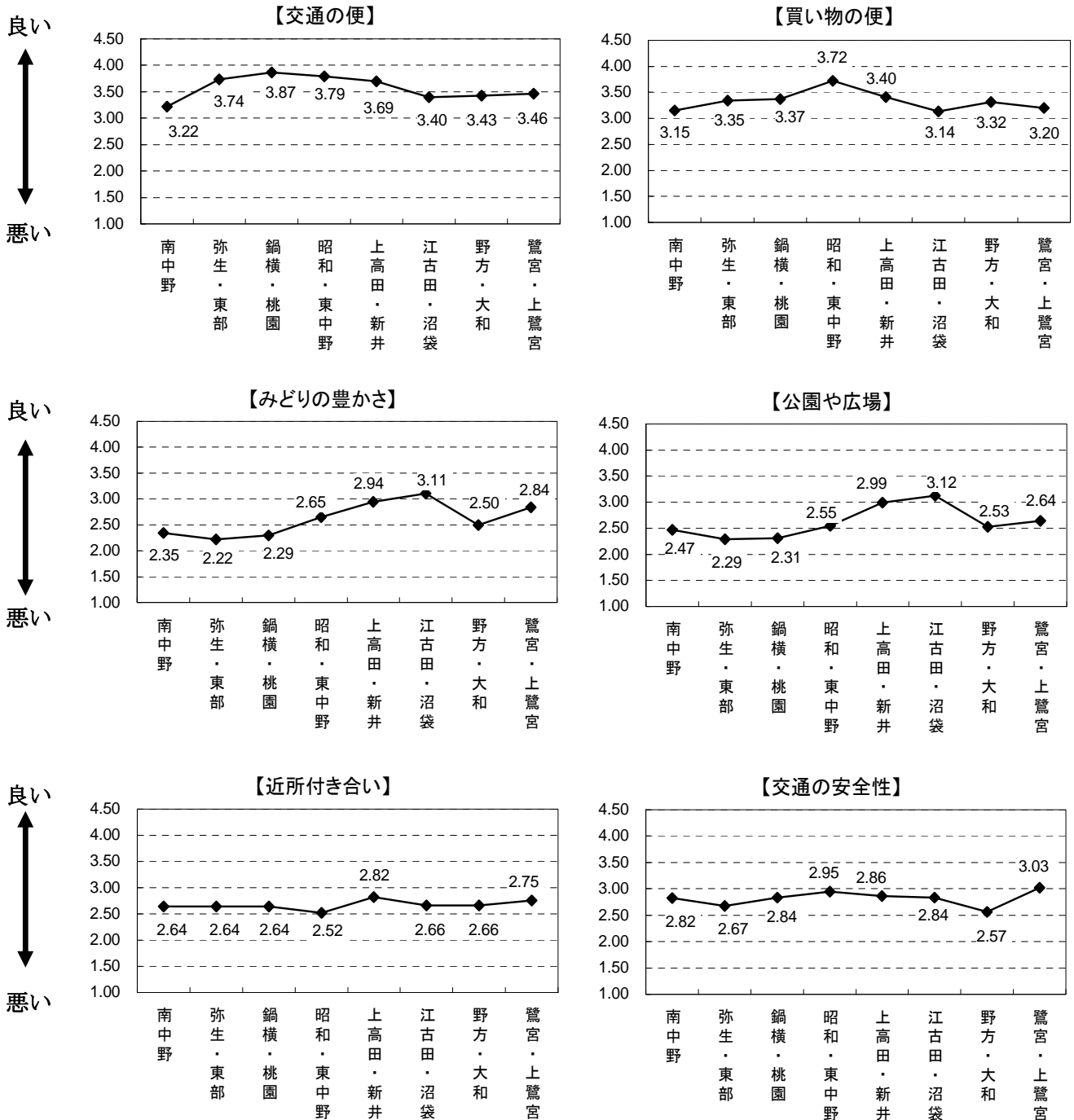
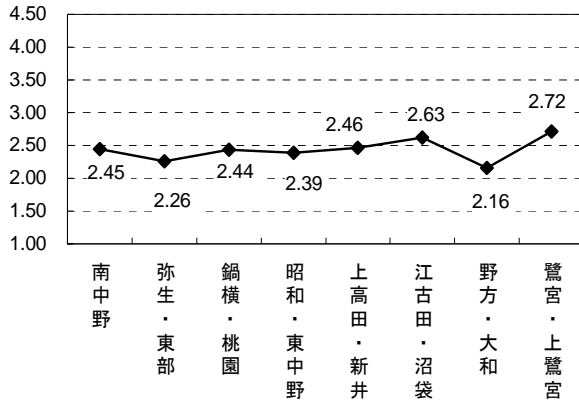


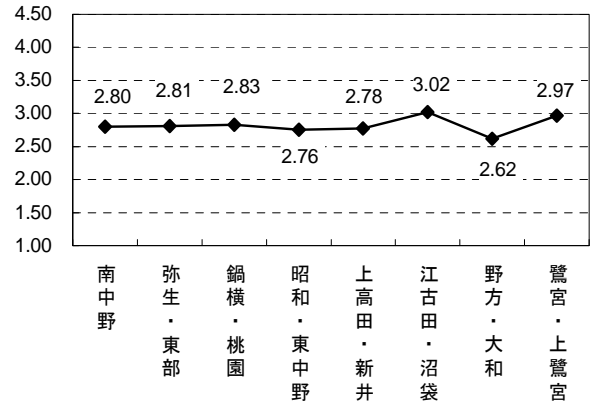
図6-4-② 生活環境の評価点—地域別—

良い
↑
↓
悪い

【災害時の安全性】

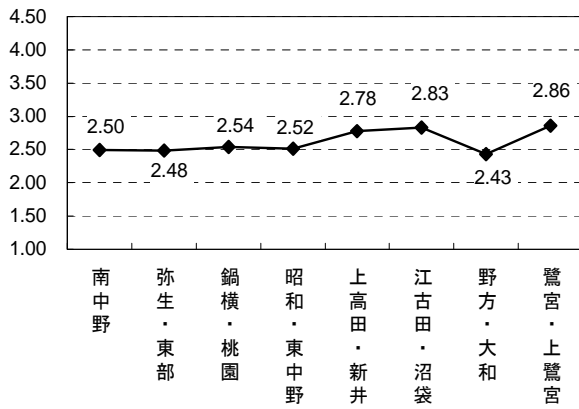


【風紀や治安】

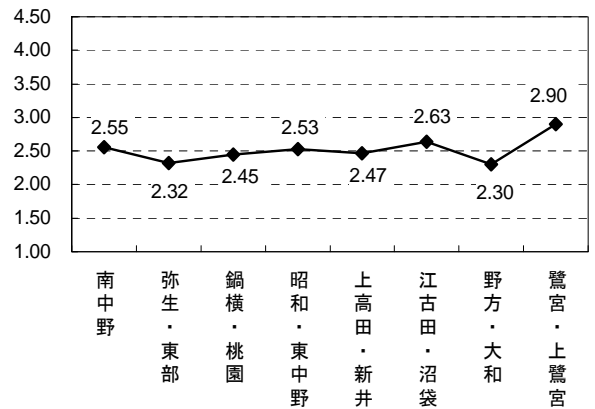


良い
↑
↓
悪い

【景観や街並み】

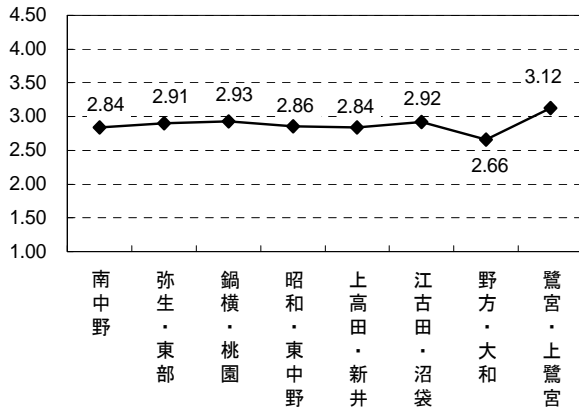


【騒音や大気汚染】

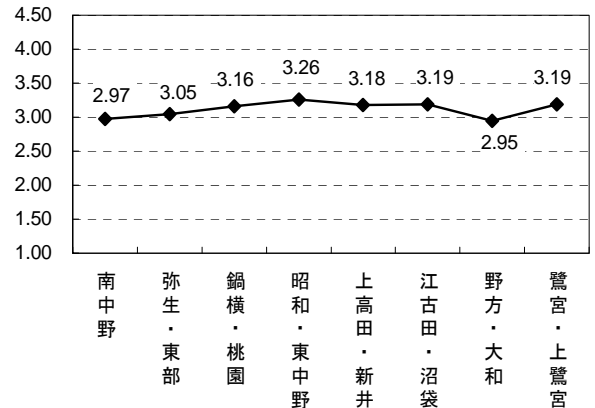


良い
↑
↓
悪い

【ごみ出しやリサイクル】



【全体としての住みやすさ】

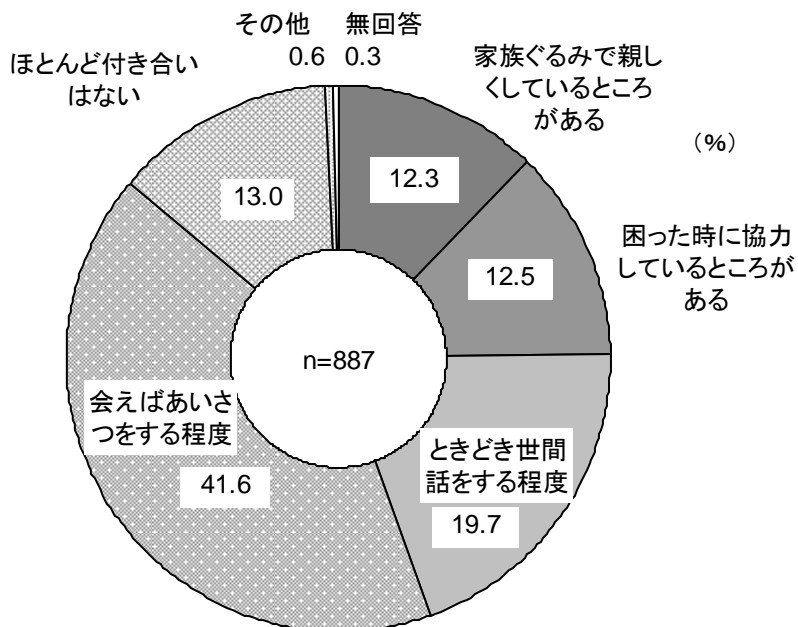


(2) 近所づきあいの程度

◇「会えばあいさつをする程度」が4割強

問6 あなたは、隣近所の方々とどのようにお付き合いをされていますか。(1つに○)

図7-1 近所づきあいの程度

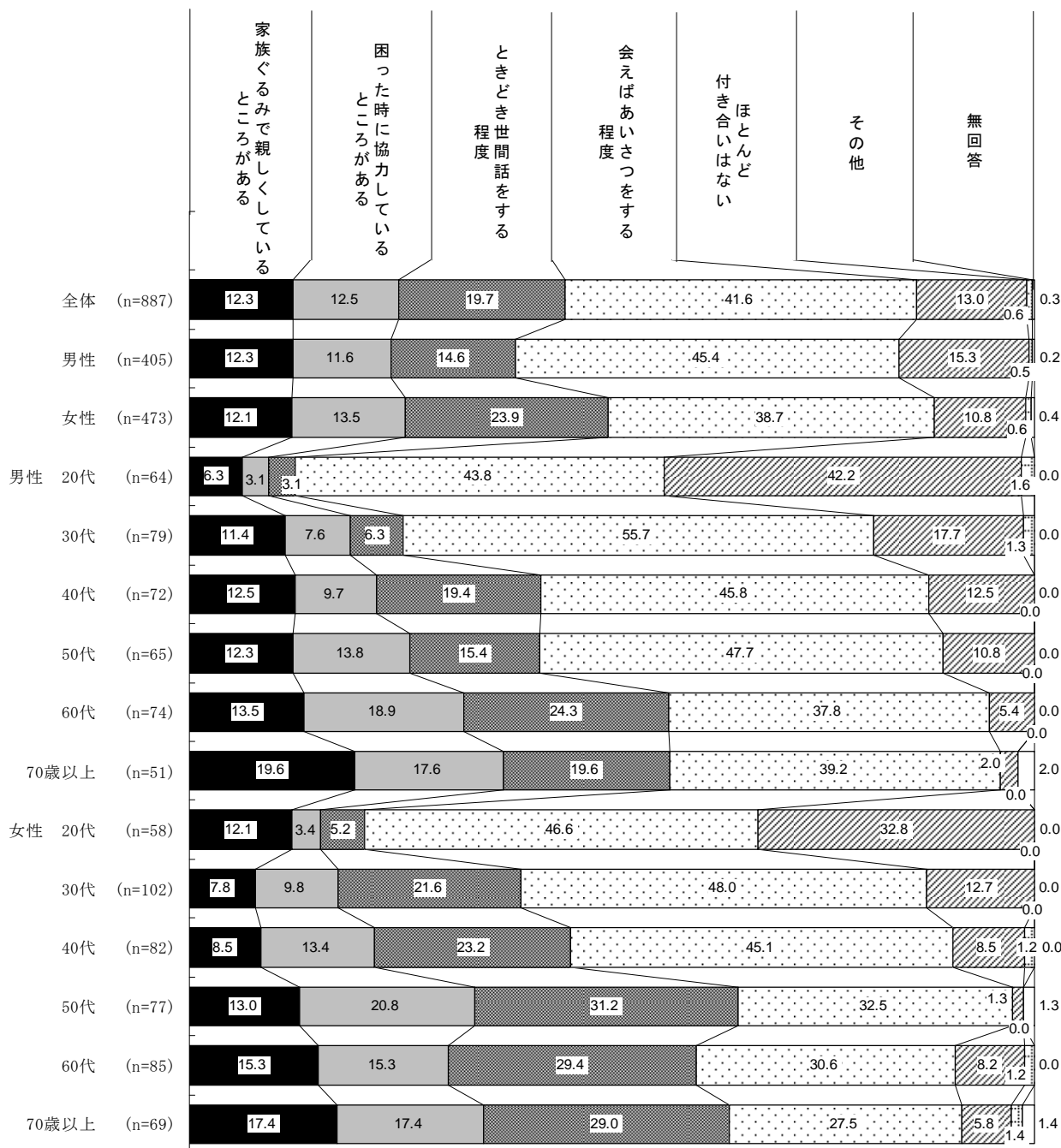


隣近所とどのような付き合いをしているかを聞いたところ、「家族ぐるみで親しくしているところがある」と「困ったときに協力しているところがある」を合計した『深い付き合いのある』人は(24.8%)で、さらに「ときどき世間話をする程度」と「会えばあいさつをする程度」を加えた『近所と何らかの付き合いのある』人は8割を超えている。(図7-1)

性別でみると、「ときどき世間話をする程度」は女性（23.9%）が男性（14.6%）より9ポイント高くなっている。

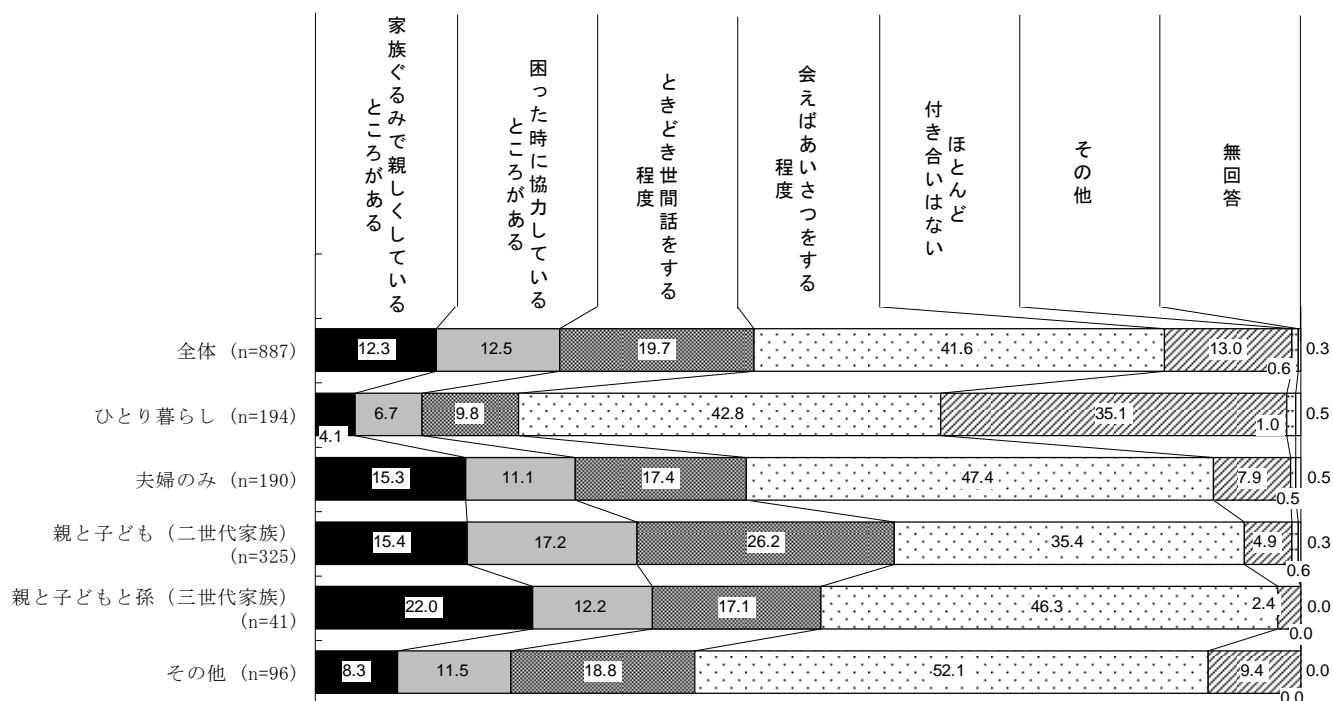
性・年代別でみると、「ほとんど付き合いはない」は女性20代が32.8%、女性30代が12.7%なのに対し、男性20代は42.2%、男性30代は17.7%で、若年層の男性ほど高い傾向がみられる。（図7-2）

図7-2 近所づきあいの程度 性別、性・年代別



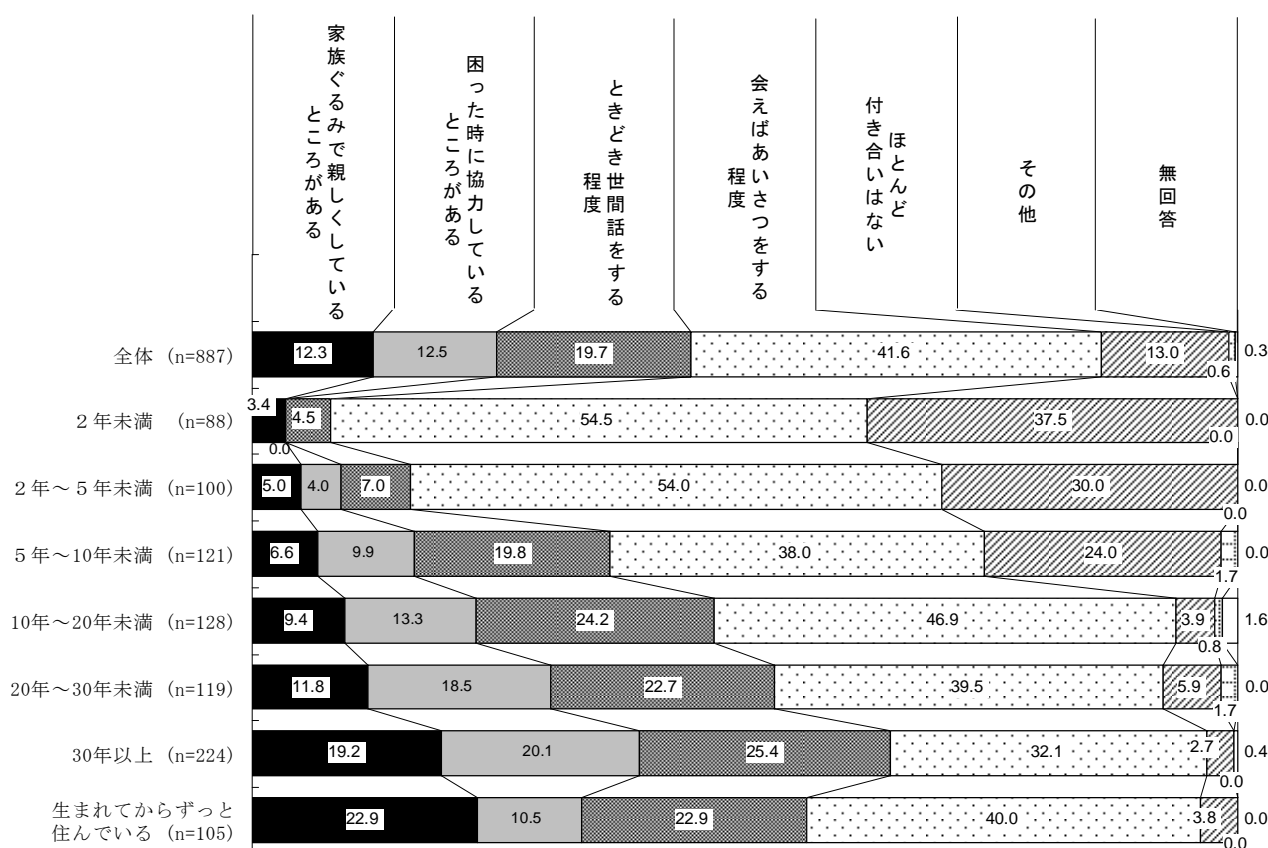
家族形態別でみると、「ほとんど付き合いはない」はひとり暮らし（35.1%）が際立って高いが、ひとり暮らし以外の家族形態ではいずれも1割に満たない割合となっている。（図7-3）

図7-3 近所づきあいの程度 家族形態別



居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど「家族ぐるみで親しくしているところがある」が高く、「ほとんど付き合いはない」が低くなる傾向がみられる。（図7-4）

図7-4 近所づきあいの程度 居住年数別



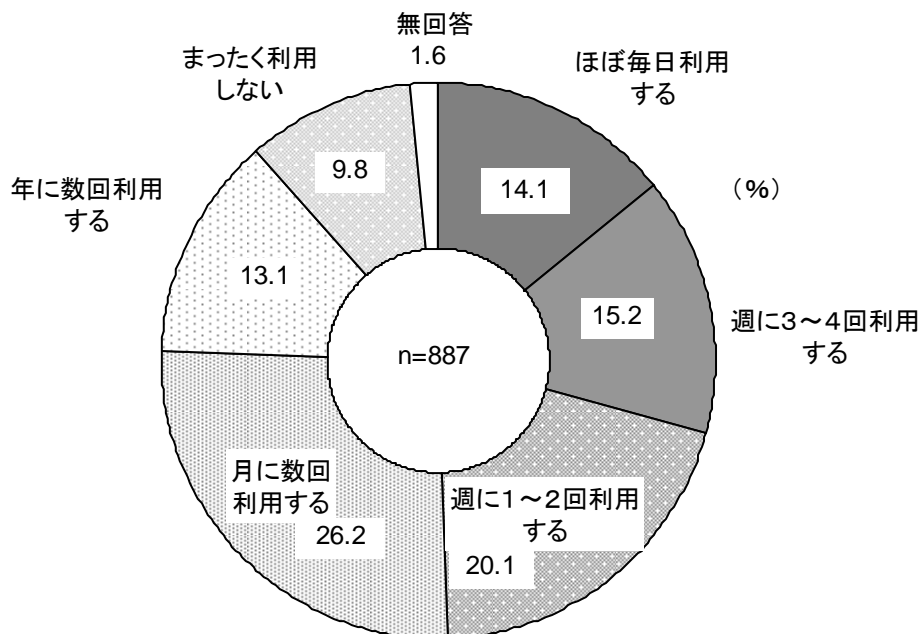
3 地元（住まいの近辺又は最寄り駅周辺）商店の利用

(1) 地元の個人商店の利用頻度

◇地元の個人商店を『週1回以上利用する』人は約5割

問7 あなたやあなたのご家庭で、食料品や日用品を購入するとき、地元の個人商店をどの程度利用していますか。(1つに○)

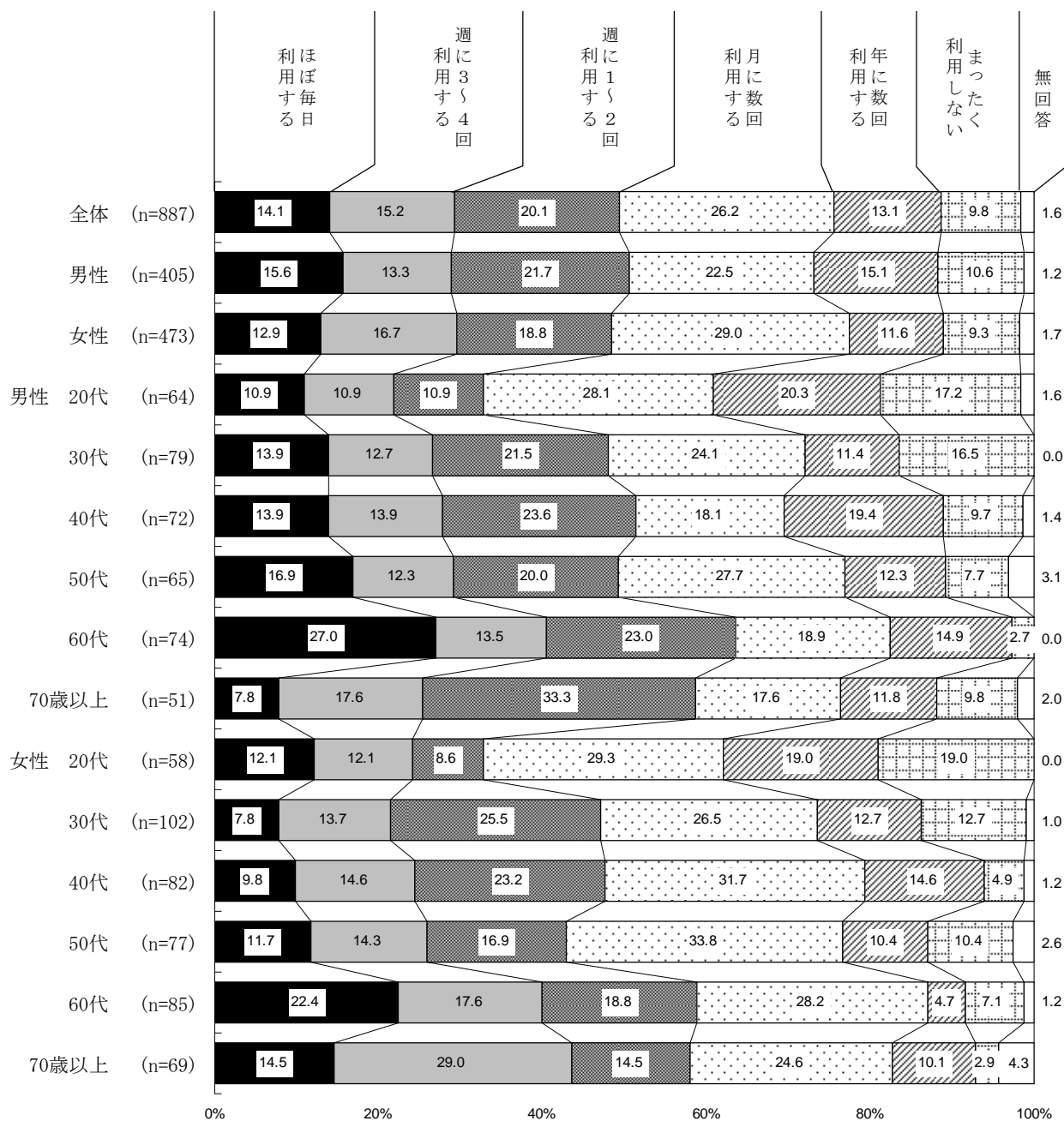
図8-1 地元の個人商店の利用頻度



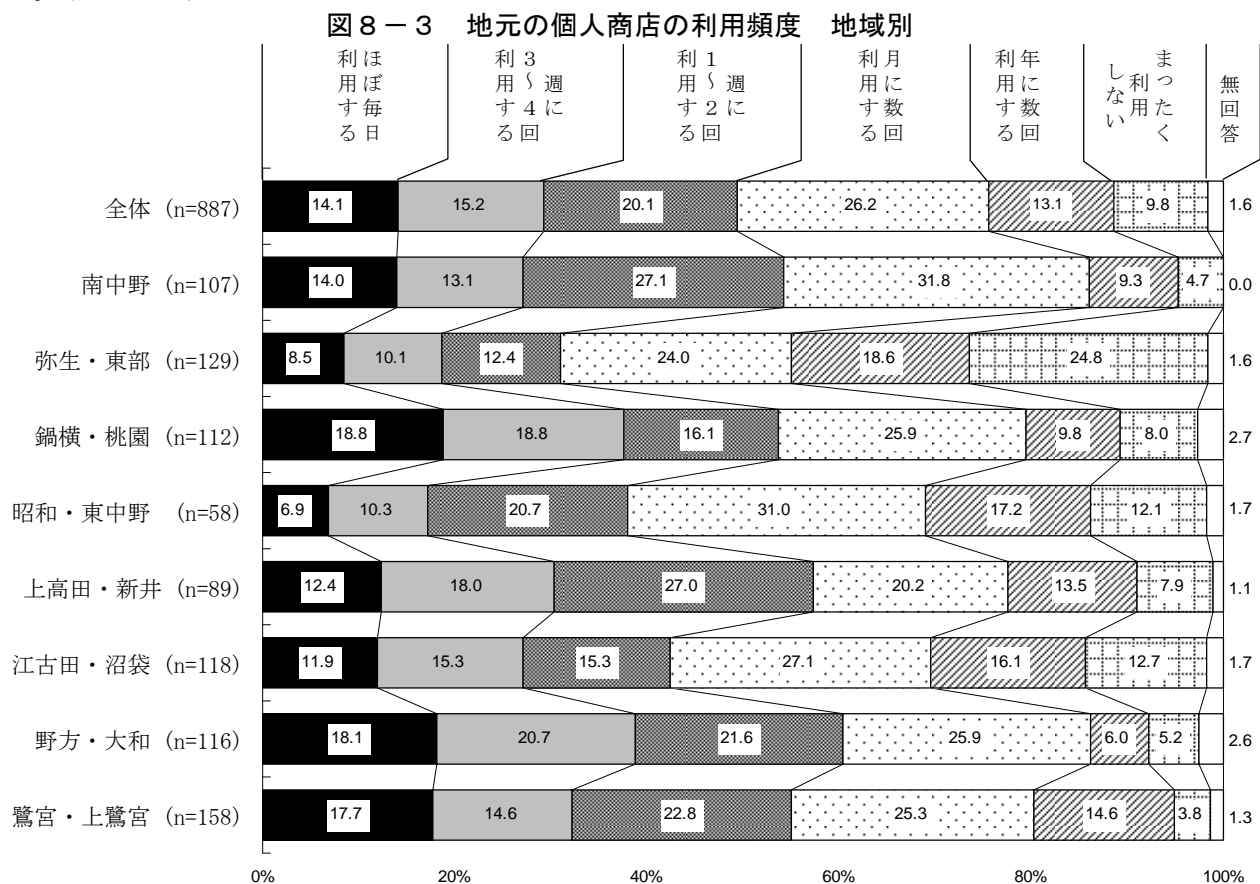
地元の個人商店の利用頻度を聞いたところ、「月に数回利用する」(26.2%)が最も高く、次いで「週に1~2回利用する」(20.1%)、「週に3~4回利用する」(15.2%)となっている。「ほぼ毎日利用する」「週に3~4回利用する」「週に1~2回利用する」を合計した『週1回以上利用する』人は約5割で、日常的な利用が多いことがうかがえる。(図8-1)

性・年代別で見ると、『週1回以上利用する』人は、20代では3割程度であるが60代以上では6割前後の人が地元の商店を利用している。また、「ほぼ毎日利用する」では男女とも60代が最も高く、男性（27.0%）、女性（22.4%）となっており男性の方が女性よりやや高くなっている。また、20代の男女では「まったく利用しない」が2割弱みられ、他の年代よりも高くなっている。（図8-2）

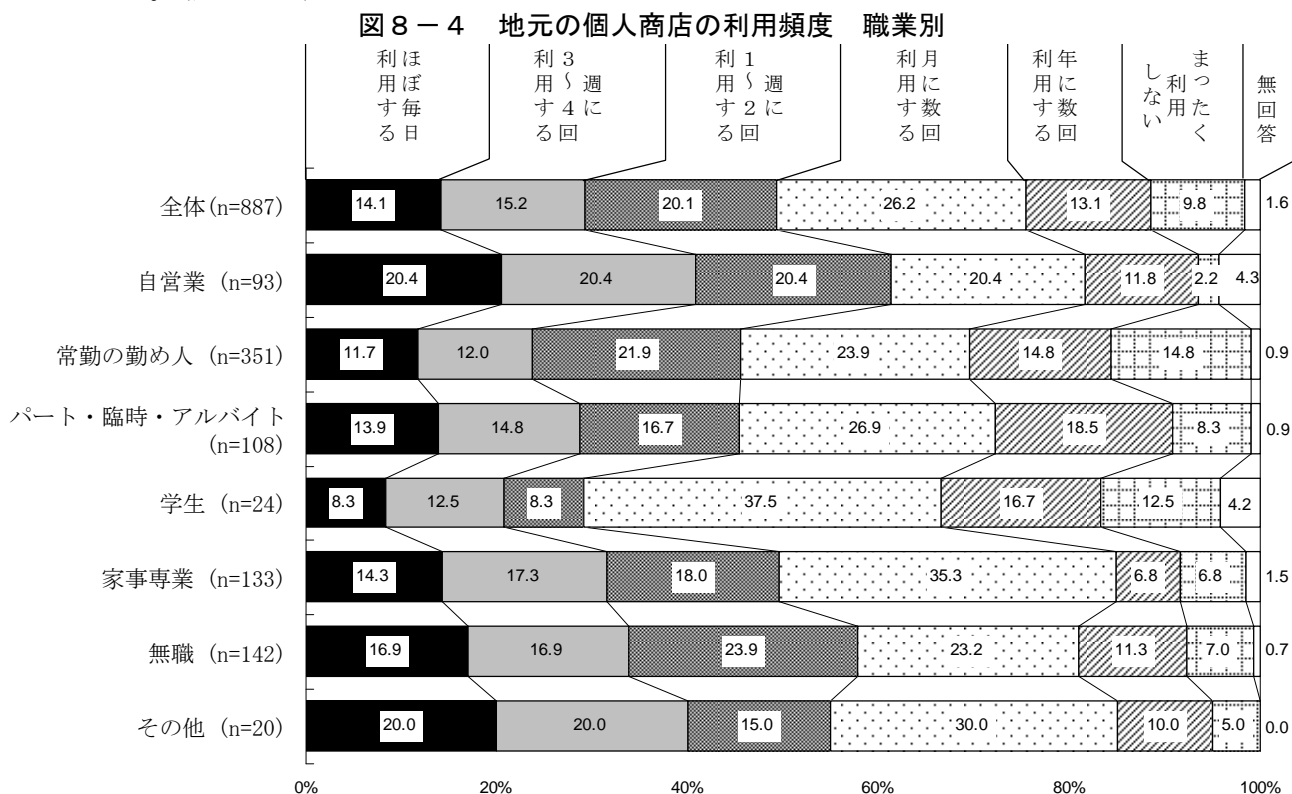
図8-2 地元の個人商店の利用頻度 性別、性・年代別



地域別でみると、『週1回以上利用する』人は、野方・大和（60.4%）、上高田・新井（57.4%）が高い。一方、弥生・東部（31.0%）や昭和・東中野（37.9%）では他の地域に比べ利用頻度は低くなっている。（図8-3）

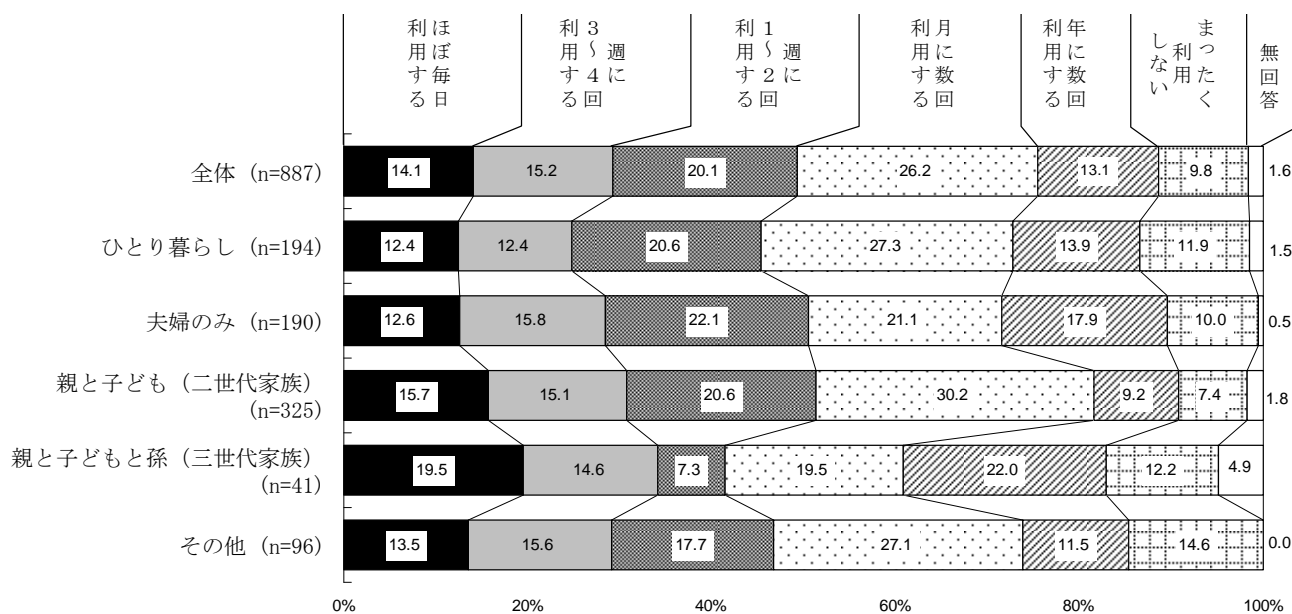


職業別でみると、『週1回以上利用する』人は、自営業（61.2%）、無職（57.7%）が高く、一方、学生（29.1%）は他の職業に比べ極端に低く、最も利用頻度の高い自営業と比較すると32ポイントも低くなっている。（図8-4）



家族形態別でみると、「ほぼ毎日利用する」「週に3～4回利用する」を合計した『週3回以上利用する』人は、同居世代の数が多いほど高くなっている。(図8-5)

図8-5 地元の個人商店の利用頻度 家族形態別



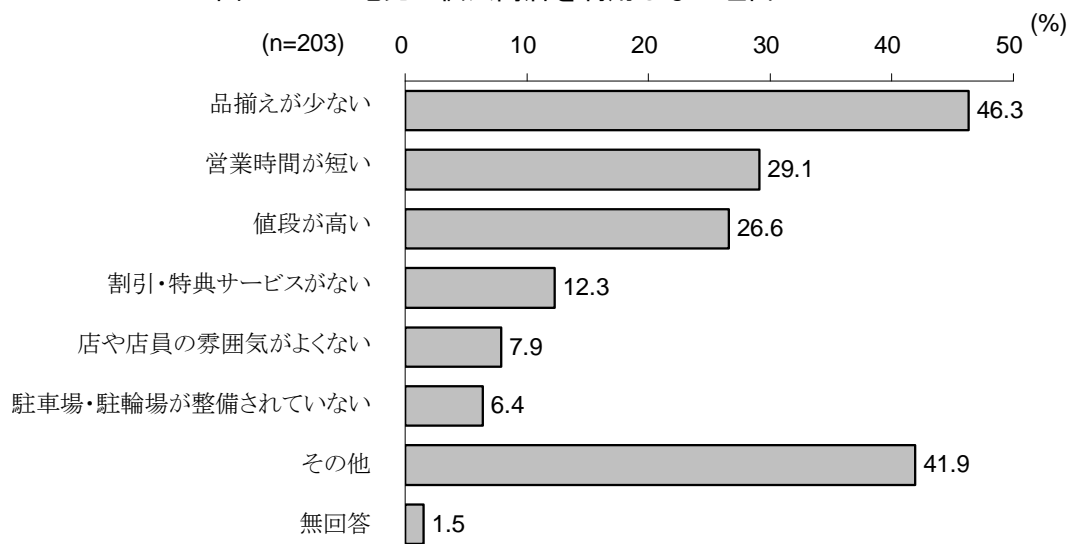
(1-1) 地元の個人商店を利用しない理由

◇「品揃えの少なさ」が4割半ば

【問7で「5年に数回利用する」「6まったく利用しない」と答えた方に伺います】

問7-1 その理由は何ですか。(いくつでも○)

図9-1 地元の個人商店を利用しない理由

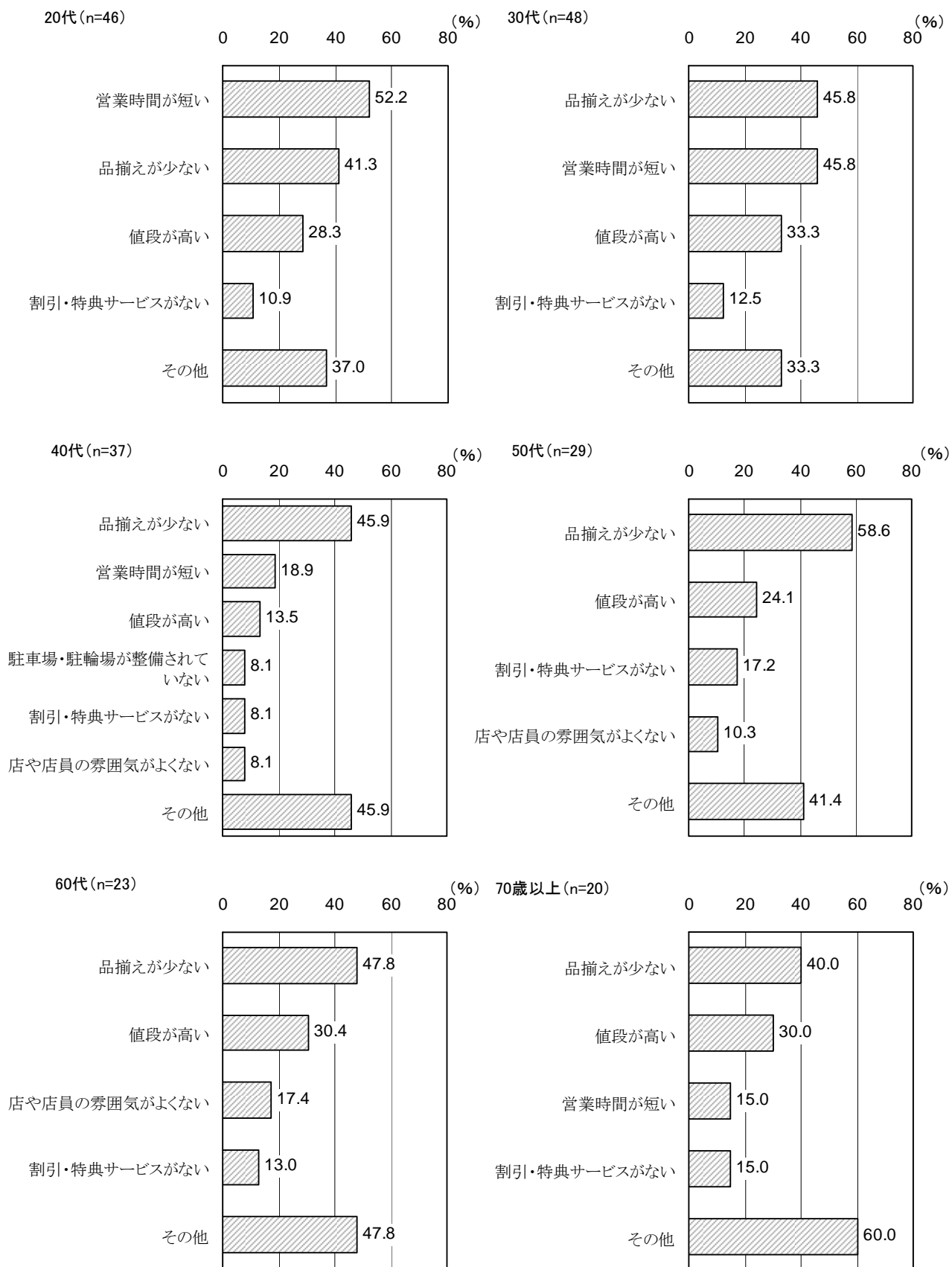


個人商店を「年に数回利用する」、「まったく利用しない」人に利用しない理由を聞いたところ、「品揃えが少ない」(46.3%)が最も高く、次いで「営業時間が短い」(29.1%)、「値段が高い」(26.6%)となっている。

「その他」(41.9%)の内訳をみると、「スーパーマーケットに行く」(31件)、「地元で個人商店が無い」(25件)などがあげられている。(図9-1)

年代別でみると、30代から60代では「品揃えが少ない」が最も高くなっており、また、20代から40代では「営業時間が短い」が上位3位までにあげられている。また、40代では唯一「駐車場・駐輪場が整備されていない」が上位5項目にあげられている。(図9-2)

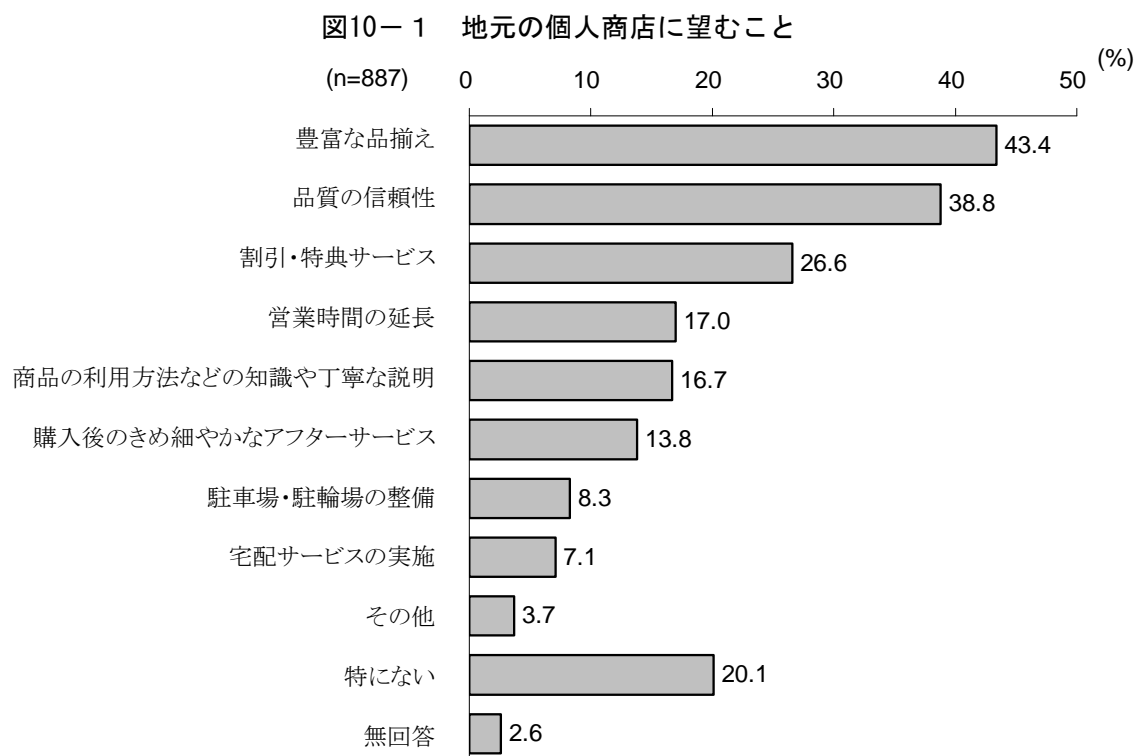
図9-2 地元の個人商店を利用しない理由 年代別（上位5項目）



(2) 地元の個人商店に望むこと

◇ 4割以上が「豊富な品揃え」を期待、次いで「品質の信頼性」「割引・特典サービス」

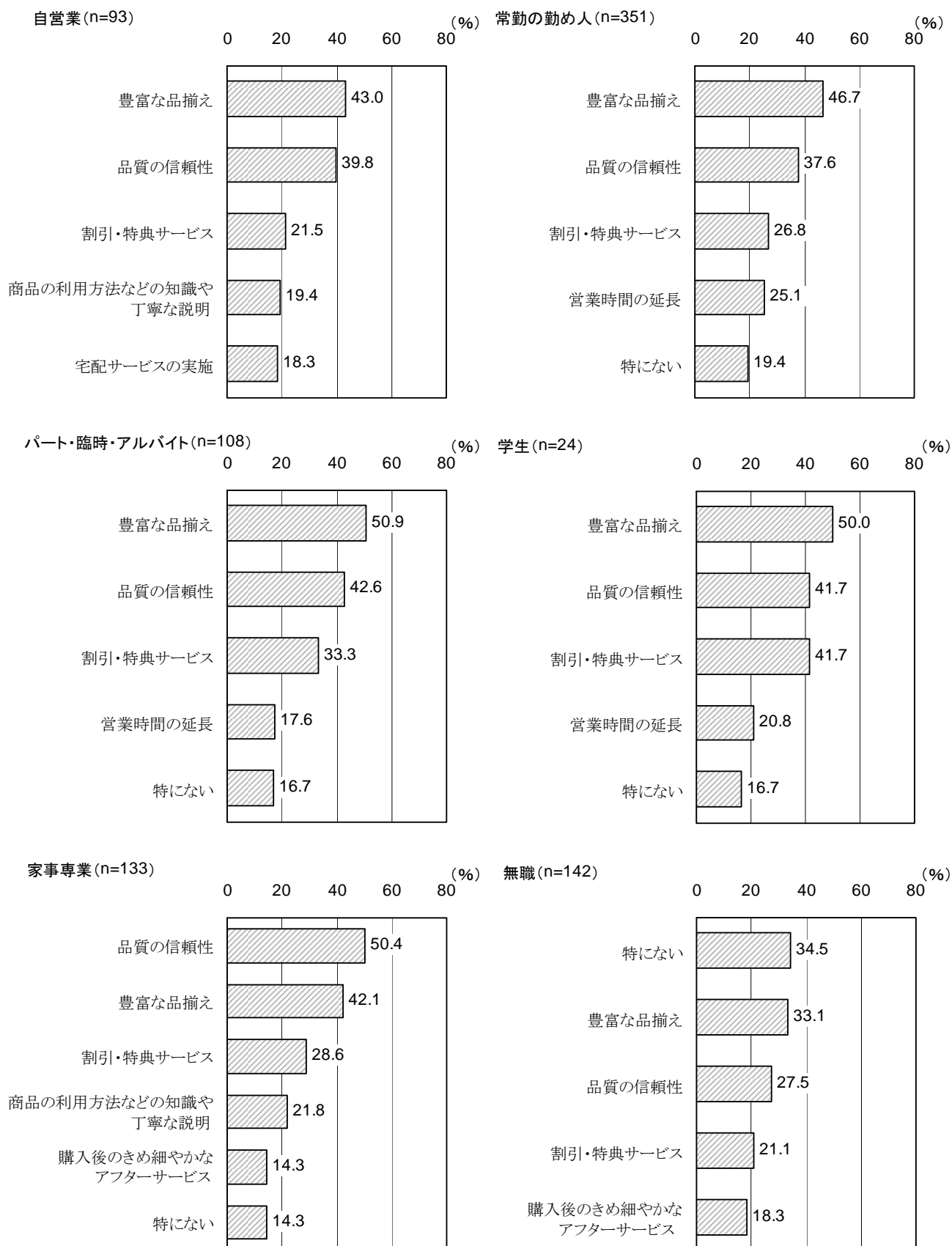
問8 あなたが地元の個人商店に望むことは何ですか。(3つまで○)



個人商店に望むことを聞いたところ、「豊富な品揃え」(43.4%)が最も高く、次いで「品質の信頼性」(38.8%)、「割引・特典サービス」(26.6%)となっている。問7-1でも地元の個人商店を利用しない理由の1位に「品揃えが少ない」ことがあげられており、品揃えに関する要望が強いことがうかがえる。(図10-1)

職業別でみると、家事専業、無職を除くすべての職業で「豊富な品揃え」が最も高く、次いで「品質の信頼性」、「割引・特典サービス」となっている。家事専業では「品質の信頼性」が約5割で最も高くなっている。(図10-2)

図10-2 地元の個人商店に望むこと 職業別（上位5項目）

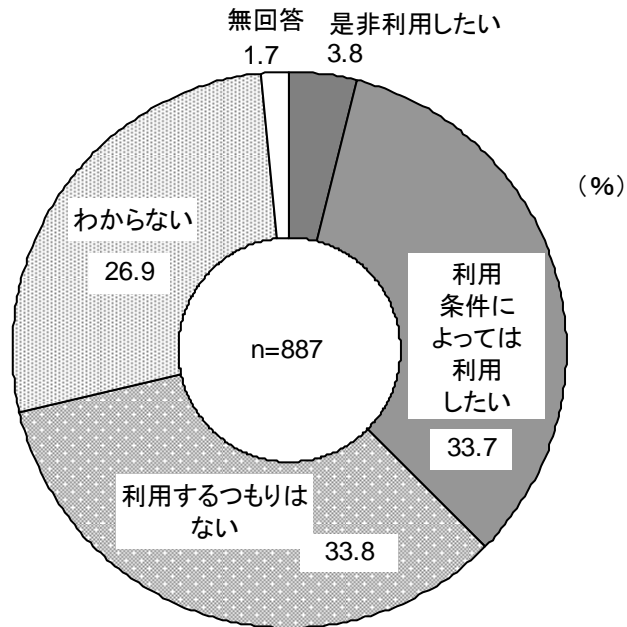


(3) 共同宅配システムの利用

◇『利用する意向がある』人は4割弱

問9 地元の商店街において、「共同宅配システム」があったら、利用しますか。(1つに○)

図11-1 共同宅配システムの利用



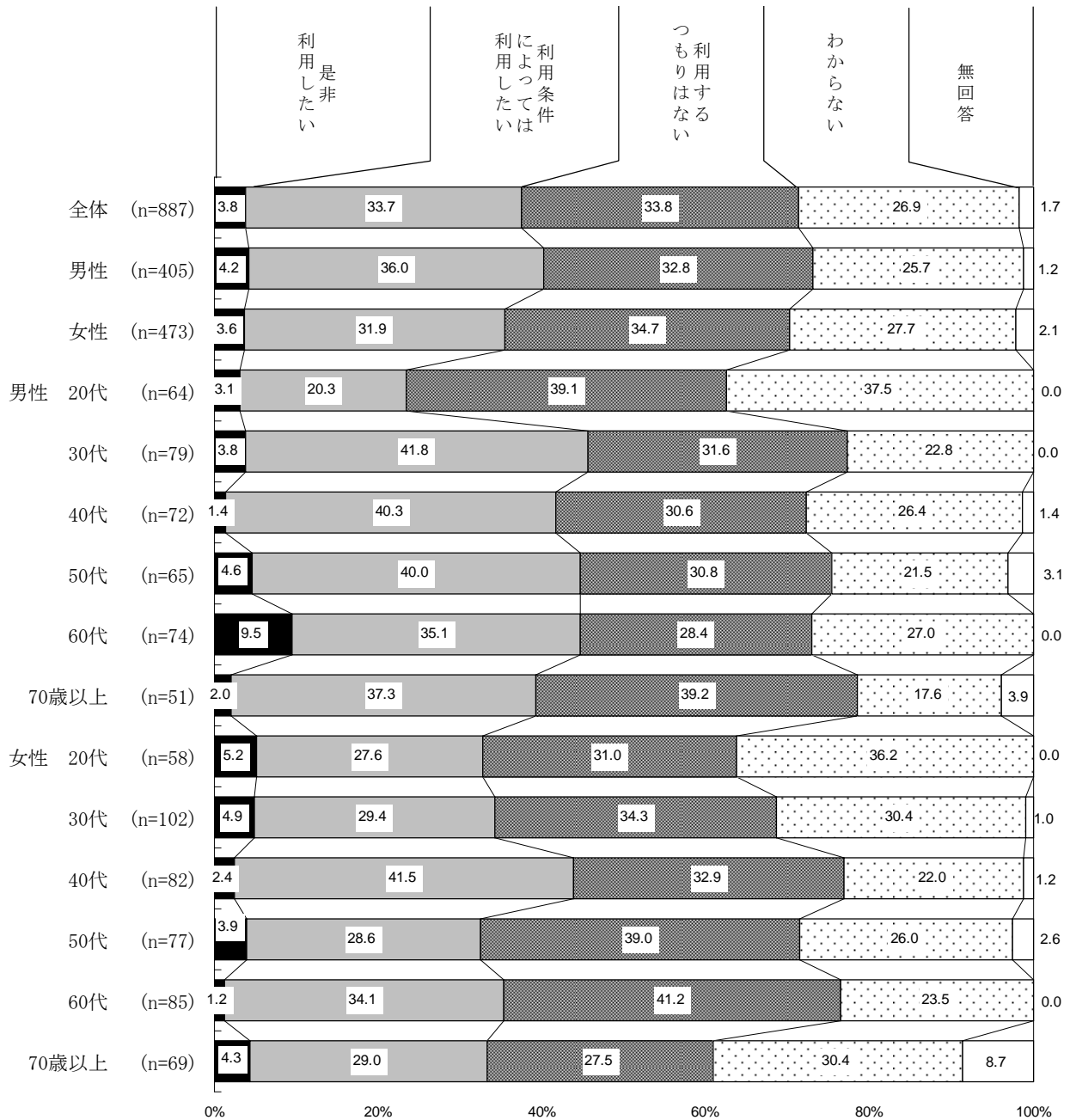
共同宅配システムの利用を聞いたところ、「是非利用したい」「利用条件によっては利用したい」を合計した『利用する意向がある』人は4割弱をしめている。(図11-1)

性別でみると、「是非利用したい」「利用条件によっては利用したい」を合計した『利用する意向がある』人は男性がやや高い。

性・年代別でみると、「是非利用したい」は男性60代（9.5%）、女性20代（5.2%）が最も高くなっているが、『利用する意向がある』人は、男性30代（45.6%）、女性40代（43.9%）が最も高くなっている。

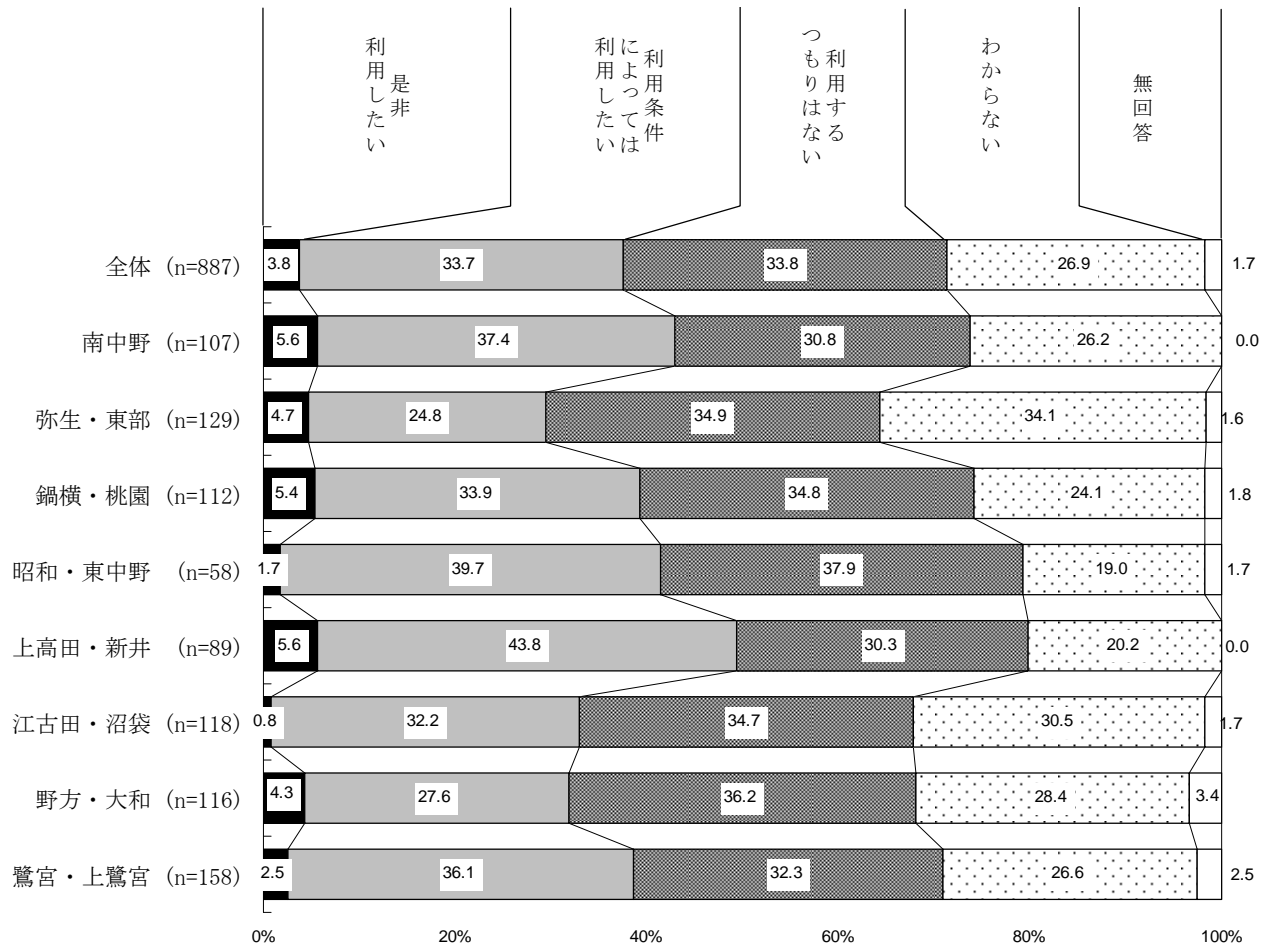
（図11-2）

図11-2 共同宅配システムの利用 性別、性・年代別



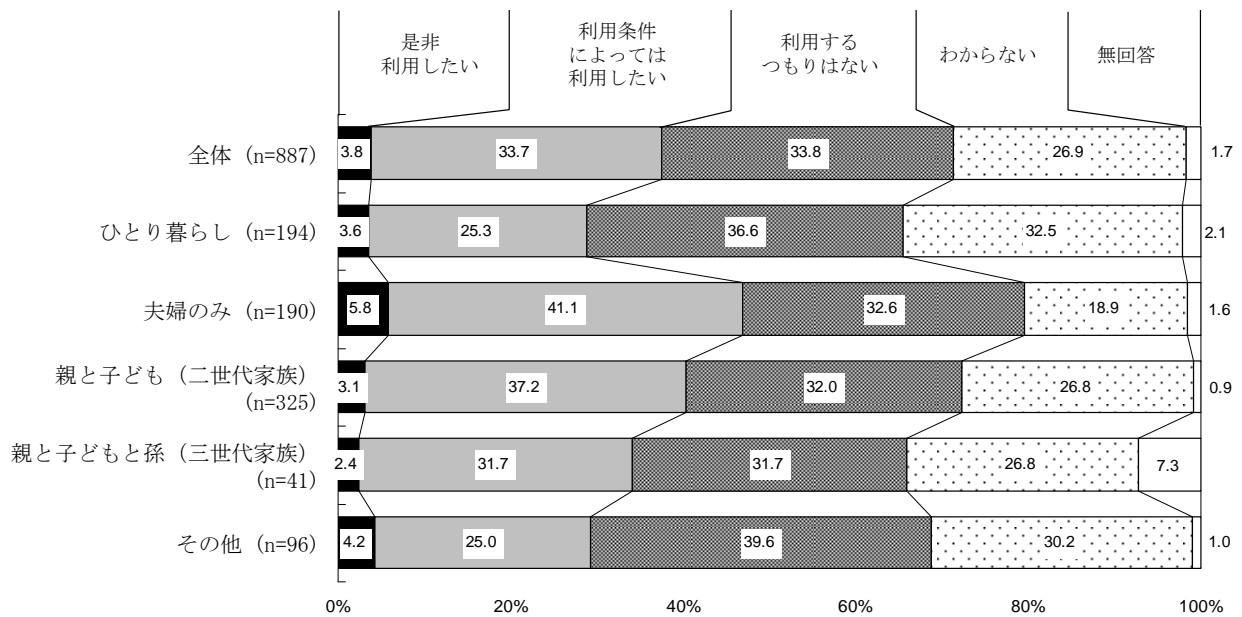
「是非利用したい」「利用条件によっては利用したい」を合計した『利用する意向がある』人を地域別でみると、上高田・新井（49.4%）が最も高く、次いで南中野（43.0%）、昭和・東中野（41.4%）となっている。（図11-3）

図11-3 共同宅配システムの利用 地域別



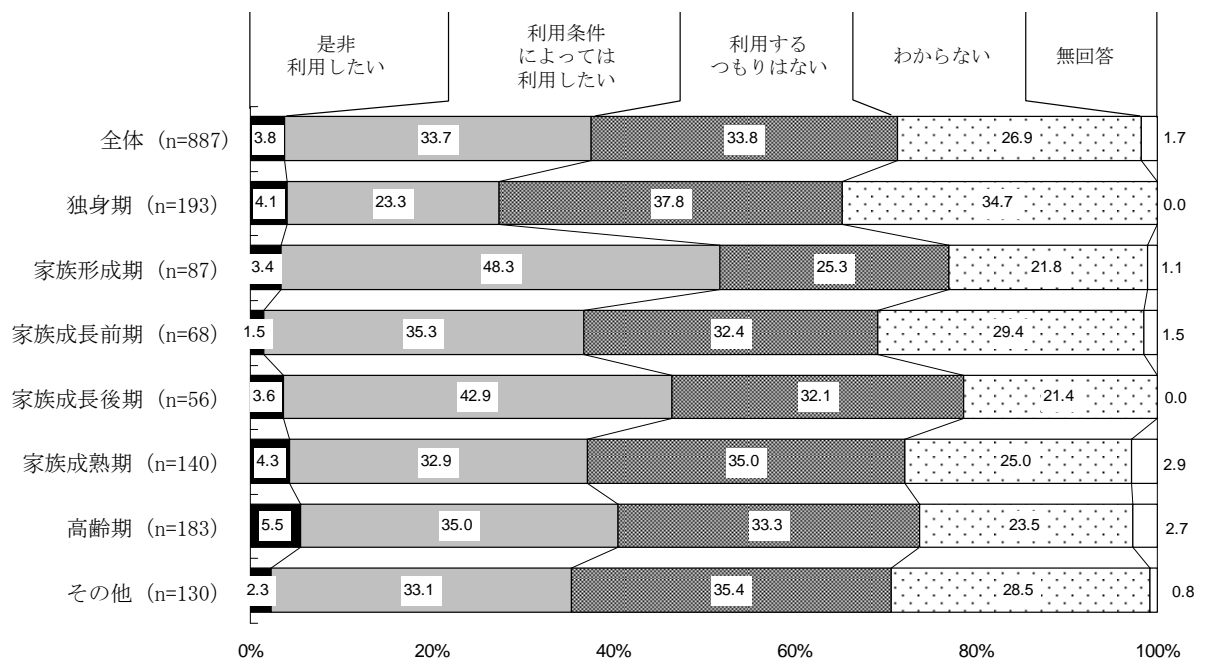
家族形態別でみると、「是非利用したい」は夫婦のみが最も高く、「利用条件によっては利用したい」を含めた『利用する意向がある』でも4割半ばで最も高くなっている。(図11-4)

図11-4 共同宅配システムの利用 家族形態別



ライフステージ別でみると、「是非利用したい」は高齢期が最も高くなっているが、「利用条件によっては利用したい」を含めた『利用する意向がある』では家族形成期が5割強で最も高く、家族成長後期が続いている。(図11-5)

図11-5 共同宅配システムの利用 ライフステージ別



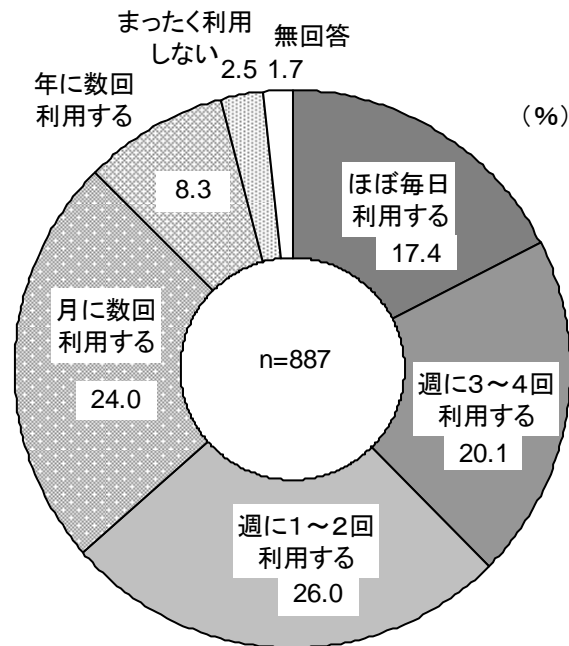
4 コンビニエンスストアの利用

(1) コンビニエンスストアの利用頻度

◇『週1回以上利用する』人は6割強

問10 あなたはコンビニエンスストアをどの程度利用していますか。(1つに○)

図12-1 コンビニエンスストアの利用頻度

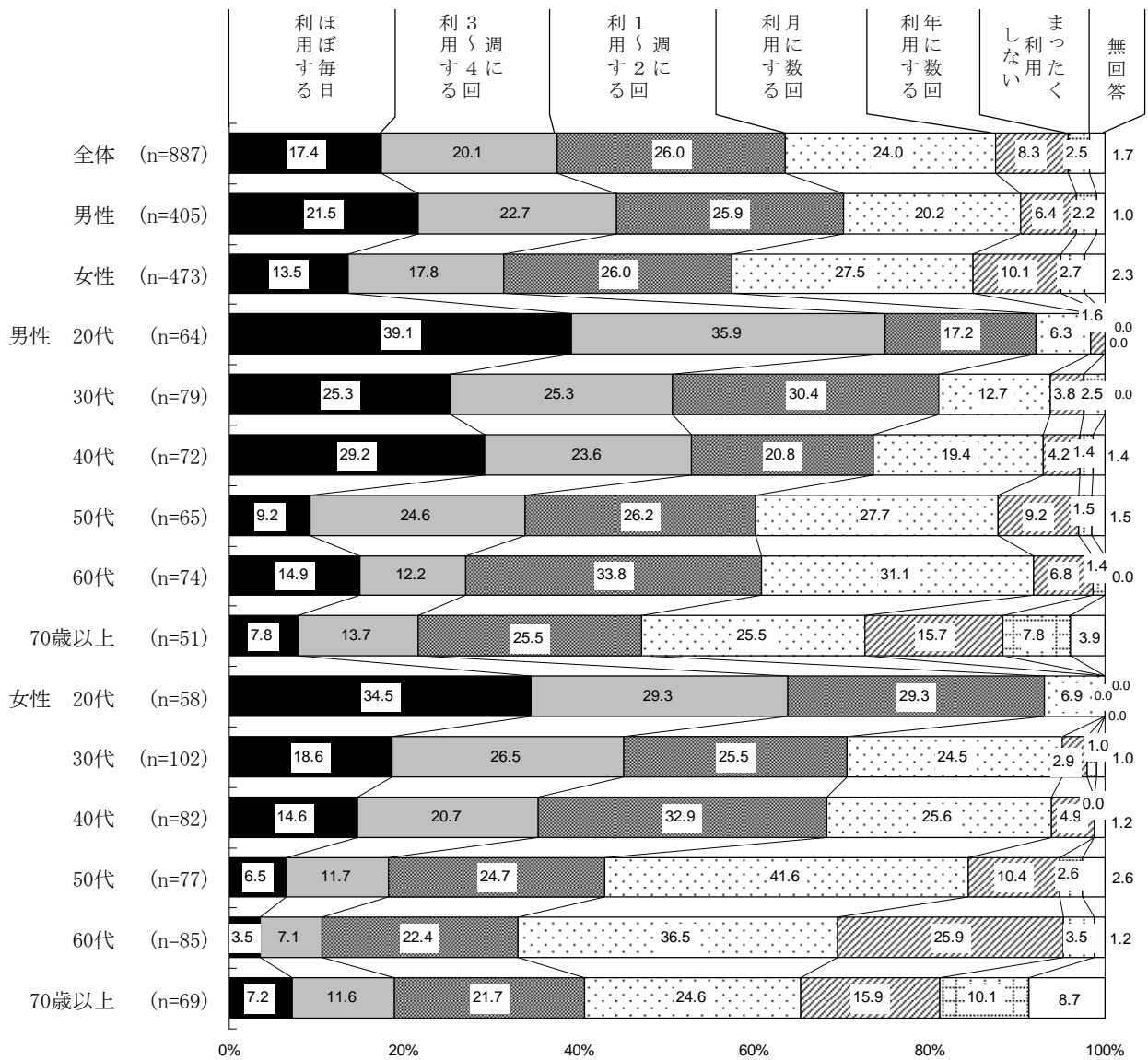


コンビニエンスストアの利用頻度を聞いたところ、「週に1~2回利用する」(26.0%)が最も高く、次いで「月に数回利用する」(24.0%)、「週に3~4回利用する」(20.1%)となっている。「ほぼ毎日利用する」「週に3~4回利用する」「週に1~2回利用する」を合計した『週1回以上利用する』人は6割強みられ、地元の個人商店よりも高い割合となっている。(図12-1)

性別でみると、「ほぼ毎日利用する」は男性（21.5%）が女性（13.5%）よりも8ポイント高くなっている。

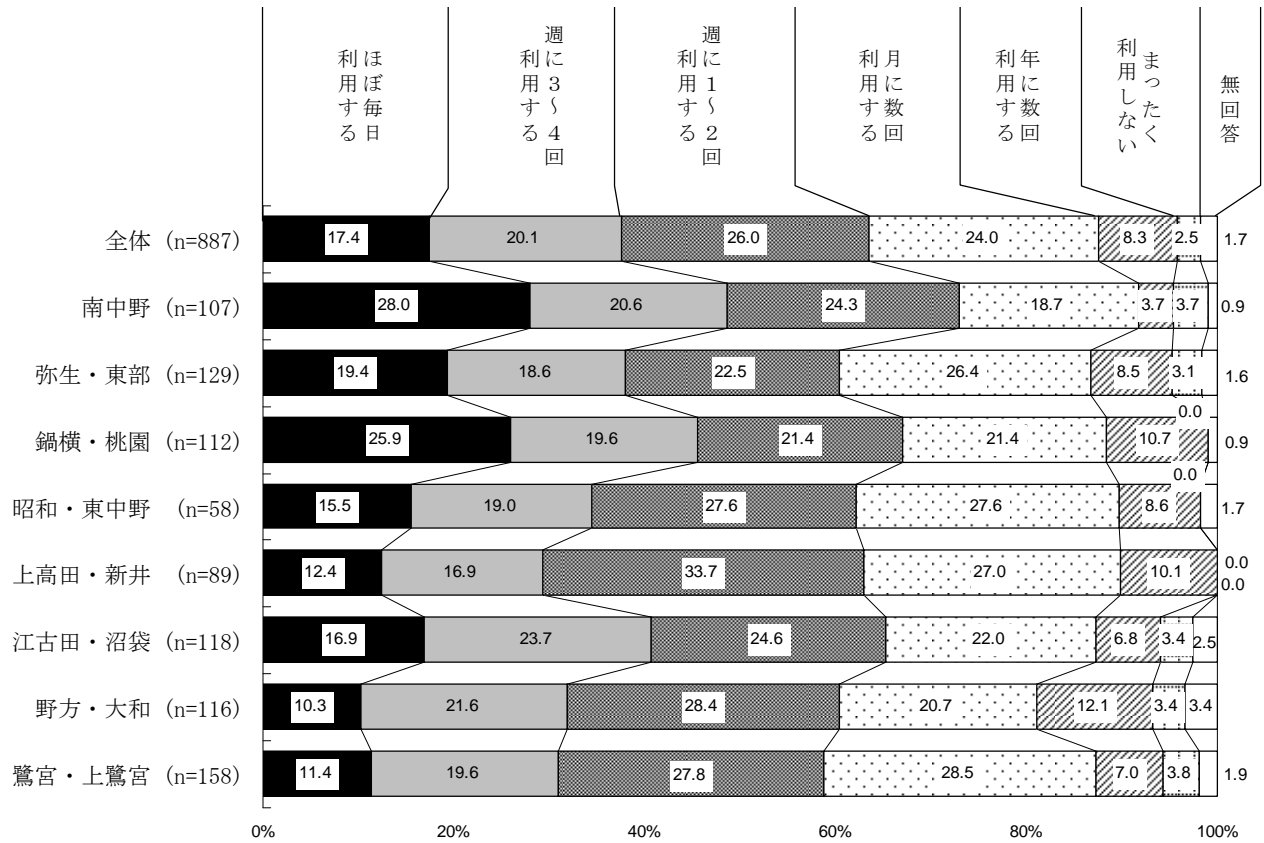
性・年代別でみると、「ほぼ毎日利用する」は男女とも20代で最も高くなっており、『週1回以上利用する』は9割を超えている。一方、「まったく利用しない」は男女とも20代が0.0%であるのに対し、70代では男性7.8%、女性10.1%となっている。（図12-2）

図12-2 コンビニエンスストアの利用頻度 性別、性・年代別



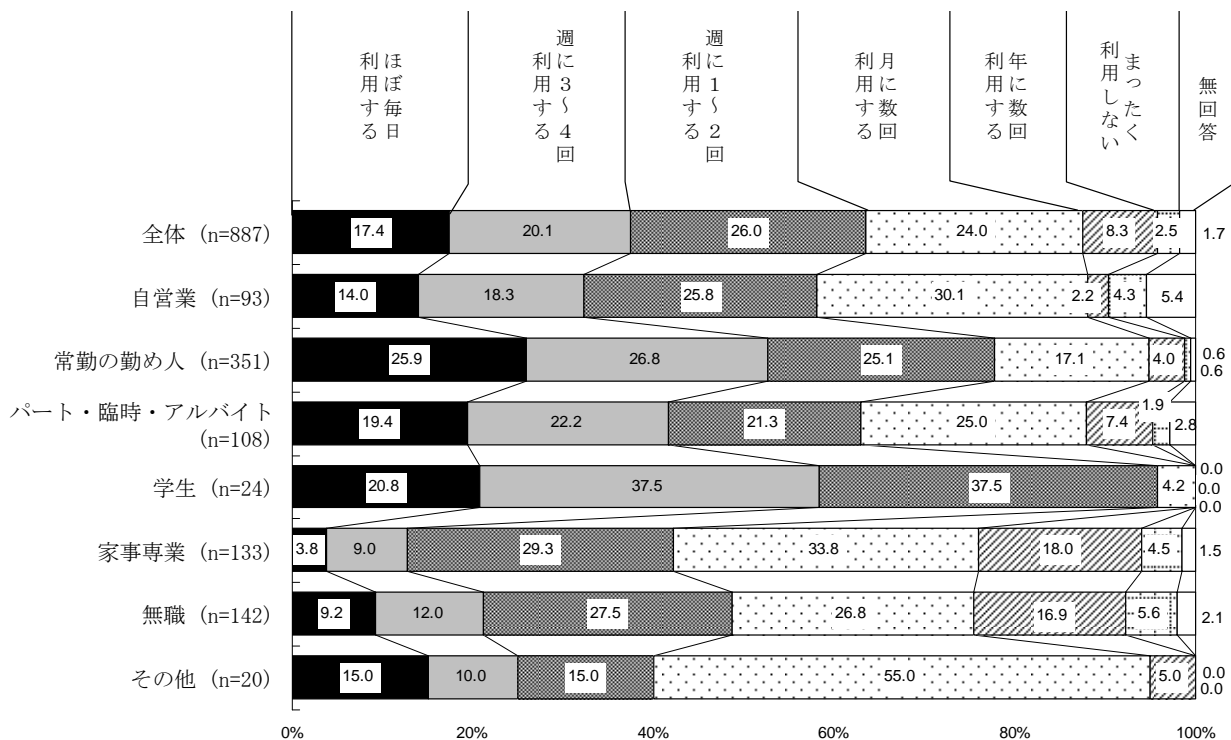
地域別でみると、「ほぼ毎日利用する」は南中野（28.0%）が最も高く、鍋横・桃園（25.9%）、弥生・東部（19.4%）など南部のエリアが比較的高くなっている。すべての地域で『週1回以上の利用』は6～7割みられ、地域に関わらずコンビニエンスストアはよく利用されている。（図12-3）

図12-3 コンビニエンスストアの利用頻度 地域別



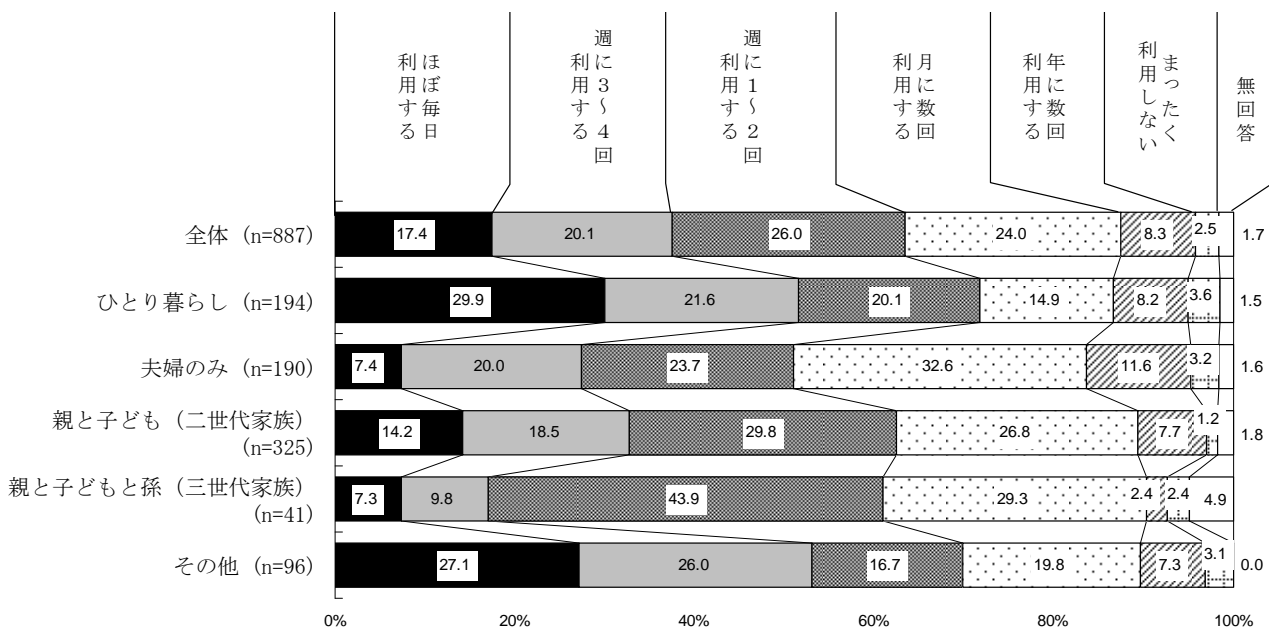
職業別でみると、『週1回以上利用する』は学生(95.8%)が最も高く、次いで常勤の勤め人(77.8%)、パート・臨時・アルバイト(62.9%)となっており、学生と就業者での利用が高い。(図12-4)

図12-4 コンビニエンスストアの利用頻度 職業別



家族形態別でみると、「ほぼ毎日利用する」はひとり暮らし(29.9%)が最も高く、他の家族形態の2倍以上となっている。『週1回以上利用する』では夫婦のみが約5割であるが、他の家族形態では6割以上となっている。(図12-5)

図12-5 コンビニエンスストアの利用 家族形態別



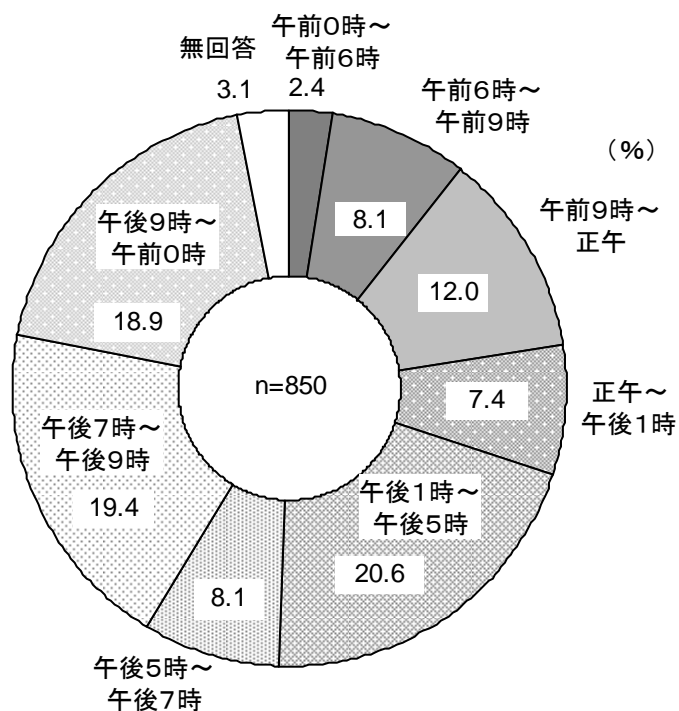
(1-1) コンビニエンスストアの利用時間

◇利用することの多い時間帯は午後から夜間

【問10で「1」～「5」と答えた方に伺います】

問10-1 コンビニエンスストアを一番多く利用するのはどの時間帯ですか。(1つに○)

図13-1 コンビニエンスストアの利用時間

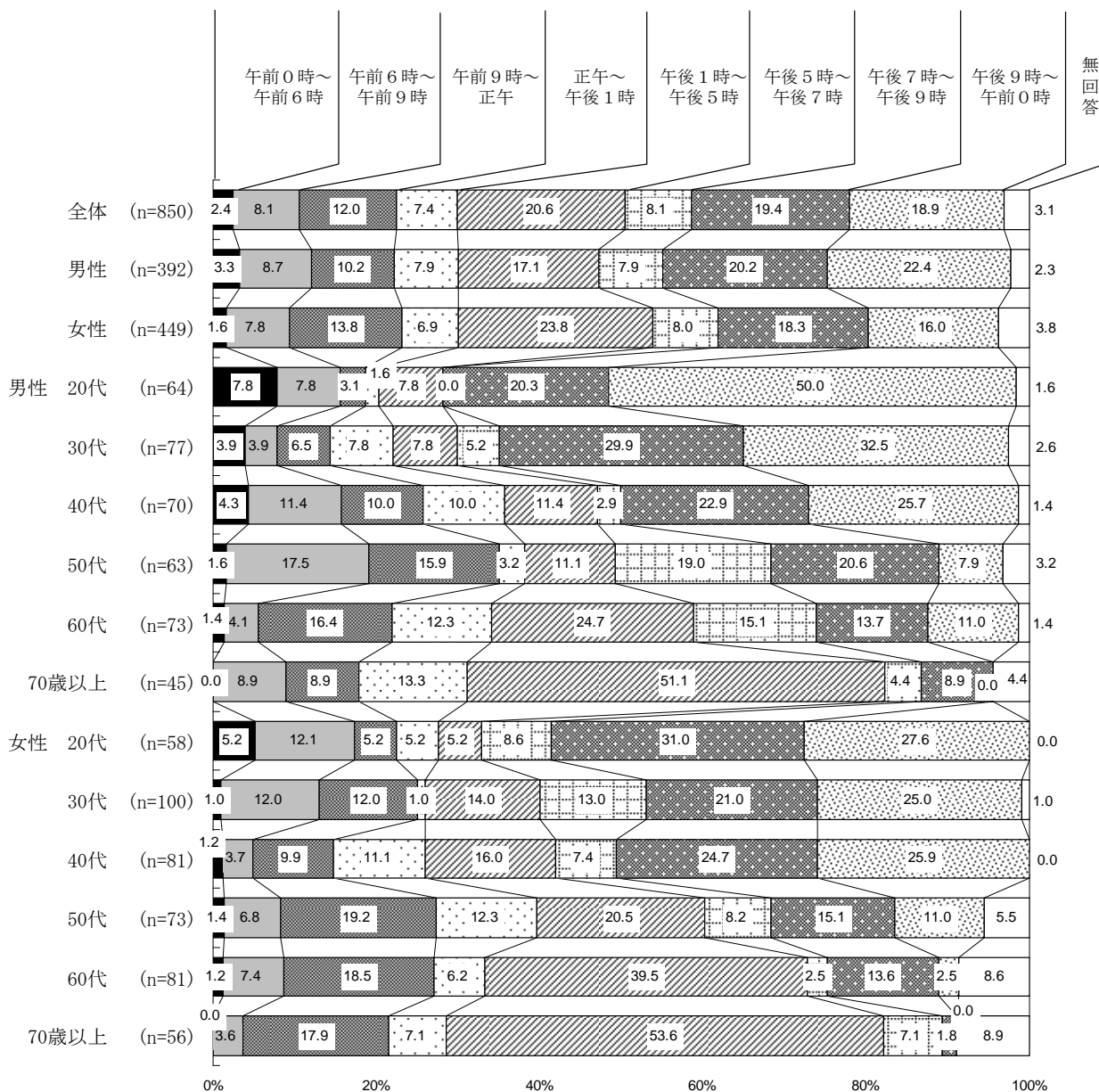


コンビニエンスストアを一番多く利用する時間を聞いたところ、「午後1時～午後5時」(20.6%)が最も高く、次いで「午後7時～午後9時」(19.4%)、「午後9時～午前0時」(18.9%)となっており、午後7時から午前0時までの夜間の利用が約4割となっている。(図13-1)

性別でみると、日中の「正午～午後1時」と夜遅くの「午後9時～午前0時」でかなりの差がみられ、男性は日中の利用が比較的低く夜遅い時間帯が高いが、女性は日中の利用が比較的高く夜遅い時間帯が低い。

性・年代別でみると、「午前0時～午前6時」は男性20代が7.8%、女性20代が5.2%、「午後9時～午前0時」は男性20代が50.0%、女性20代が27.6%となっており、夜遅い時間帯から朝早い時間帯にかけて男女とも20代が最も高くなっている。また、「午後1時～午後5時」は男女とも70歳以上が最も高く、男性が51.1%、女性が53.6%となっている。(図13-2)

図13-2 コンビニエンスストアの利用時間 性別、性・年代別



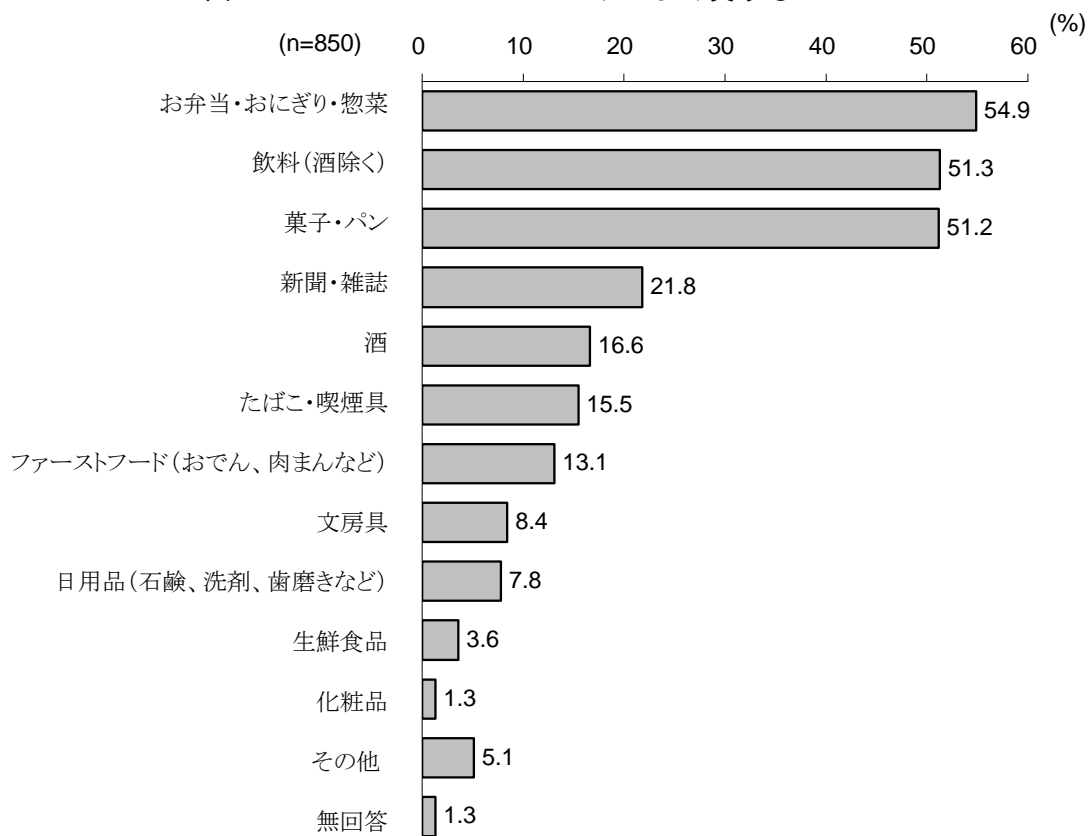
(1-2) コンビニエンスストアでよく買うもの

◇飲食料品が上位3項目を占める

【問10で「1」～「5」と答えた方に伺います】

問10-2 コンビニエンスストアでよく買うものは何ですか。(いくつでも○)

図14-1 コンビニエンスストアでよく買うもの



コンビニエンスストアでよく買うものを聞いたところ、「お弁当・おにぎり・惣菜」(54.9%)が最も高く、次いで「飲料(酒除く)」(51.3%)、「菓子・パン」(51.2%)となっており、コンビニエンスストアでの購入は飲食料品が中心である。(図14-1)

性別でみると、「酒」は男性22.7%、女性10.9%、「たばこ・喫煙具」は男性21.9%、女性9.8%と、嗜好品ではそれぞれ男性の方が女性より12ポイント高くなっており、「菓子・パン」は女性（57.0%）の方が男性（44.4%）より13ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「新聞・雑誌」と「お弁当・おにぎり・惣菜」では男女とも20代が最も高くなっている。また、「生鮮食品」は男女とも70歳以上で、「日用品（石鹸、洗剤、歯磨きなど）」、「文房具」は男性60代、70歳以上、女性70歳以上の高齢層で高くなっている。（表14-1）

表14-1 コンビニエンスストアでよく買うもの 性別、性・年代別

	新聞・雑誌	飲料（酒除く）	酒	お弁当・おにぎり・惣菜	菓子・パン	肉まんなど）	ファーストフード（おでん、	生鮮食品	日用品（石鹸、洗剤、歯磨きなど）	文房具	たばこ・喫煙具	化粧品	その他	無回答
全体 (n=850)	21.8	51.3	16.6	54.9	51.2	13.1	3.6	7.8	8.4	15.5	1.3	5.1	1.3	
男性 (n=392)	25.5	52.0	22.7	57.7	44.4	12.5	3.3	11.2	9.4	21.9	0.3	4.8	0.8	
女性 (n=449)	18.7	50.3	10.9	52.6	57.0	13.8	4.0	4.9	7.6	9.8	2.2	5.3	1.8	
男性20代 (n=64)	34.4	70.3	23.4	75.0	42.2	21.9	0.0	15.6	7.8	26.6	0.0	1.6	0.0	
30代 (n=77)	18.2	59.7	22.1	57.1	49.4	19.5	0.0	5.2	5.2	19.5	0.0	2.6	0.0	
40代 (n=70)	27.1	58.6	34.3	60.0	38.6	5.7	2.9	8.6	7.1	31.4	0.0	1.4	0.0	
50代 (n=63)	27.0	49.2	17.5	50.8	50.8	6.3	3.2	4.8	3.2	27.0	0.0	6.3	1.6	
60代 (n=73)	27.4	38.4	24.7	54.8	37.0	13.7	0.0	17.8	17.8	15.1	0.0	9.6	1.4	
70歳以上 (n=45)	17.8	28.9	8.9	44.4	51.1	4.4	20.0	17.8	17.8	8.9	2.2	8.9	2.2	
女性20代 (n=58)	27.6	58.6	22.4	63.8	65.5	12.1	0.0	3.4	1.7	17.2	3.4	0.0	0.0	
30代 (n=100)	26.0	61.0	13.0	53.0	70.0	15.0	1.0	3.0	3.0	10.0	2.0	4.0	0.0	
40代 (n=81)	19.8	56.8	9.9	58.0	70.4	18.5	2.5	3.7	6.2	9.9	1.2	3.7	0.0	
50代 (n=73)	16.4	45.2	8.2	49.3	50.7	6.8	2.7	4.1	5.5	11.0	0.0	6.8	1.4	
60代 (n=81)	12.3	42.0	6.2	45.7	43.2	18.5	3.7	3.7	12.3	7.4	4.9	8.6	6.2	
70歳以上 (n=56)	7.1	32.1	7.1	46.4	33.9	8.9	17.9	14.3	19.6	3.6	1.8	8.9	3.6	

注：網掛け・白抜きの数値は、各性・年代での最大値

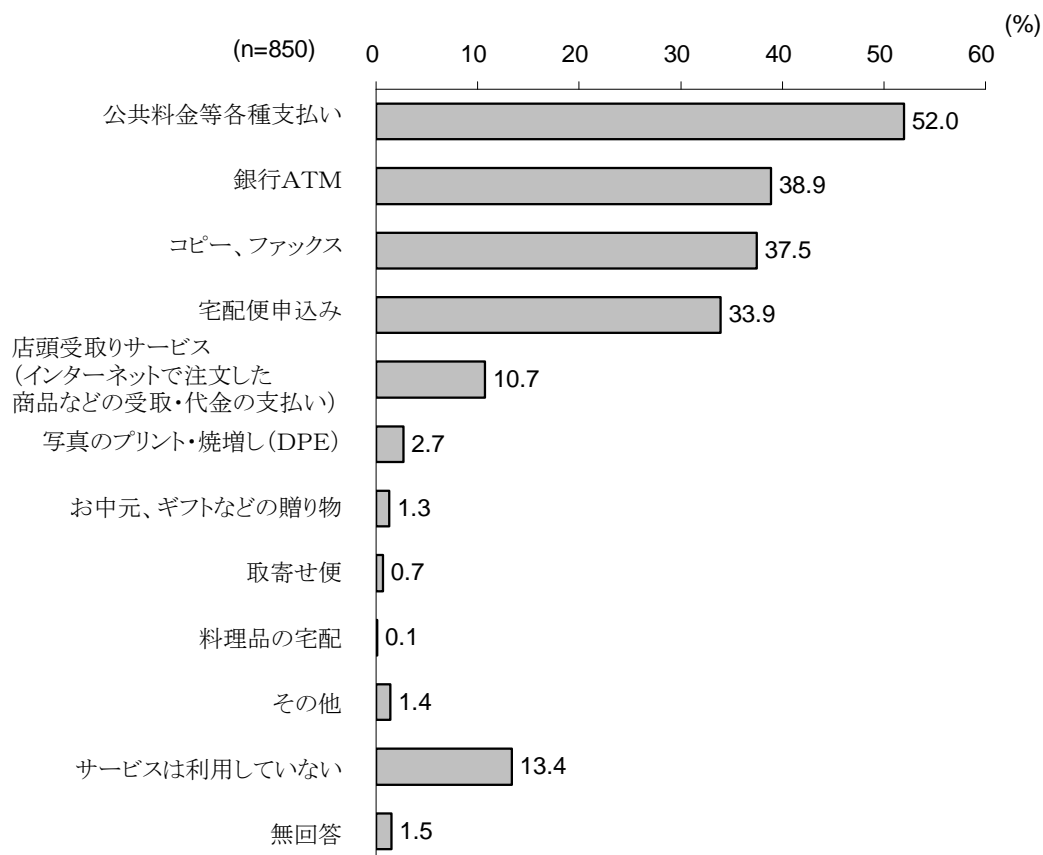
(1-3) コンビニエンスストアで利用するサービス

◇「公共料金等各種支払い」がトップ

【問10で「1」～「5」と答えた方に伺います】

問10-3 コンビニエンスストアで利用するサービスは何ですか。(いくつでも○)

図15-1 コンビニエンスストアで利用するサービス

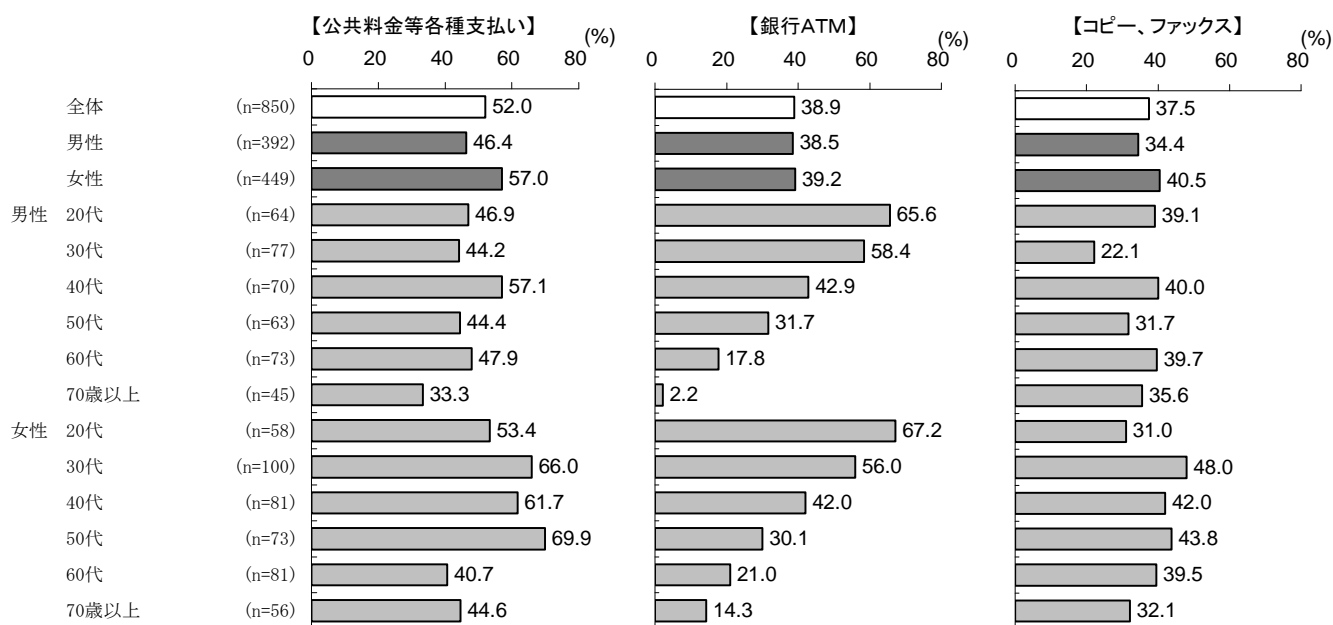


コンビニエンスストアで利用するサービスを聞いたところ、「公共料金等各種支払い」(52.0%)が最も高く、次いで「銀行ATM」(38.9%)、「コピー、ファックス」(37.5%)となっている。(図15-1)

上位3項目について性別でみると、「公共料金等各種支払い」は女性（57.0%）の方が男性（46.4%）より11ポイント高くなっている。「銀行ATM」は男性（38.5%）、女性（39.2%）で顕著な差はみられなかった。「コピー、ファックス」は女性（40.5%）の方が男性（34.4%）より6ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「公共料金等各種支払い」は女性30代（66.0%）、40代（61.7%）、50代（69.9%）がいずれも6割以上と高くなっている。「銀行ATM」は男女とも20代から70歳以上と年代が上がるにつれて低くなっている。「コピー、ファックス」は男性では40代（40.0%）、女性では30代（48.0%）が最も高くなっている。（図15-2）

図15-2 コンビニエンスストアで利用するサービス 性別、性・年代別（上位3項目）



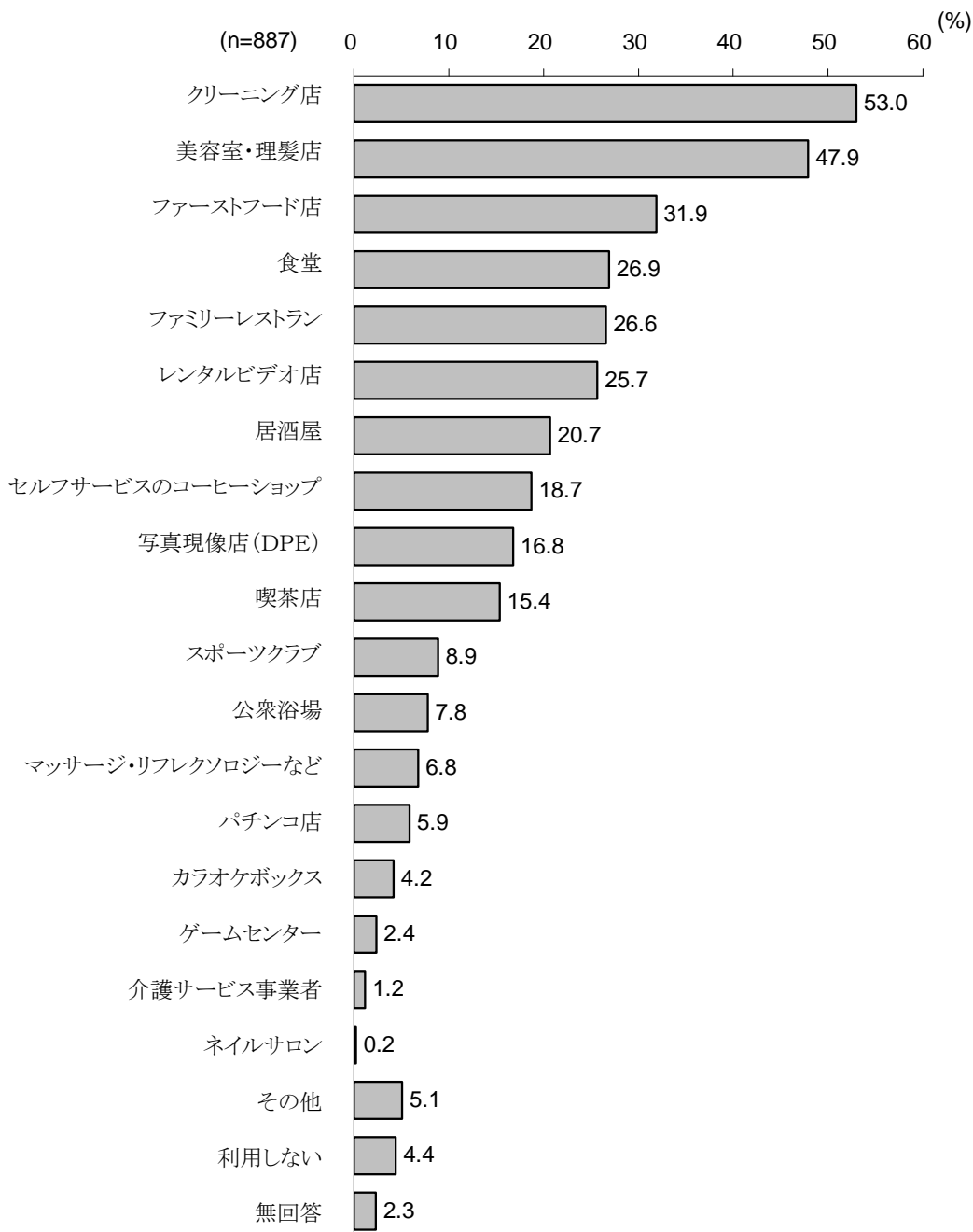
5 いろいろなサービスの利用

(1) 地元の店でふだん利用するもの

◇「クリーニング店」、「美容室・理髪店」が多く約5割

問11 次のような地元（住まいの近辺又は最寄り駅周辺）の店などの中で、あなたがふだん利用するものはどれですか。（いくつでも○）

図16-1 地元の店でふだん利用するもの

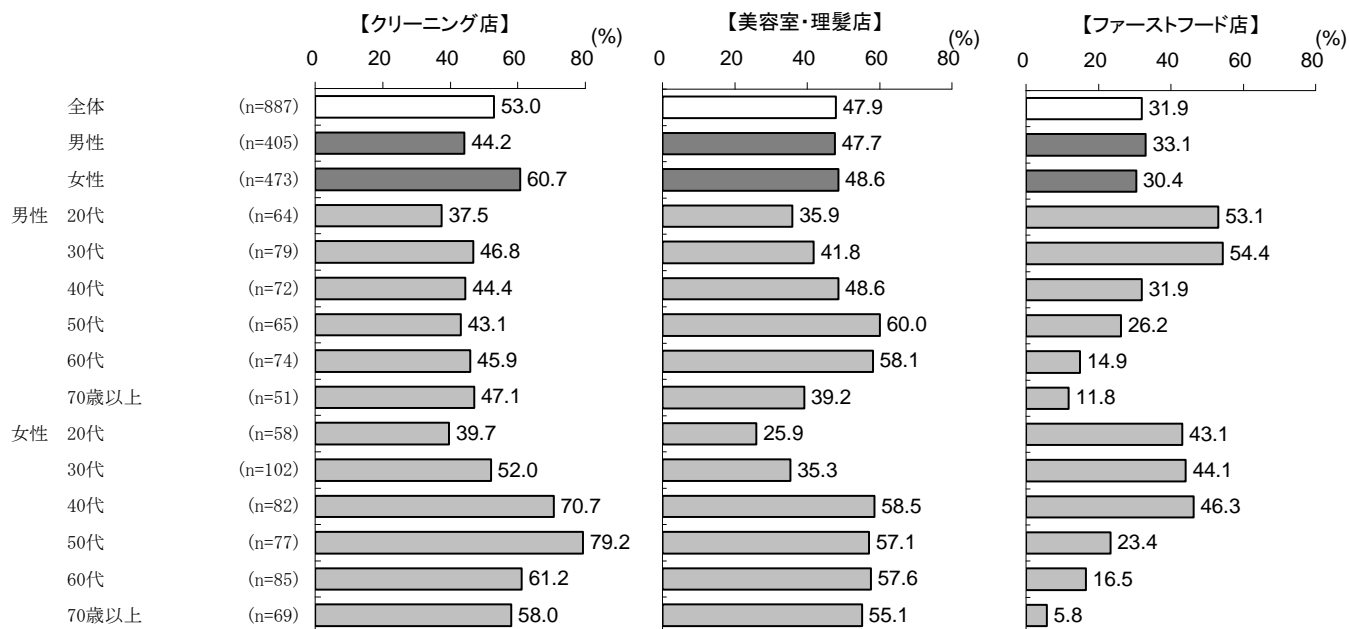


地元の店でふだん利用するものを聞いたところ、「クリーニング店」(53.0%)が最も高く、次いで「美容室・理髪店」(47.9%)、「ファーストフード店」(31.9%)、「食堂」(26.9%)、「ファミリーレストラン」(26.6%)が続いており、上位5項目中3項目に飲食店があげられている。(図16-1)

上位3項目について性別でみると、「クリーニング店」の利用は女性（60.7%）の方が男性（44.2%）より17ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、地元での「美容室・理髪店」の利用は男女とも20代、30代が低くなっている。一方、「ファーストフード店」は、男性20代、30代で5割以上、女性20代から40代で4割以上と利用率が高くなっている。（図16-2）

図16-2 地元の店でふだん利用するもの 性別、性・年代別（上位3項目）

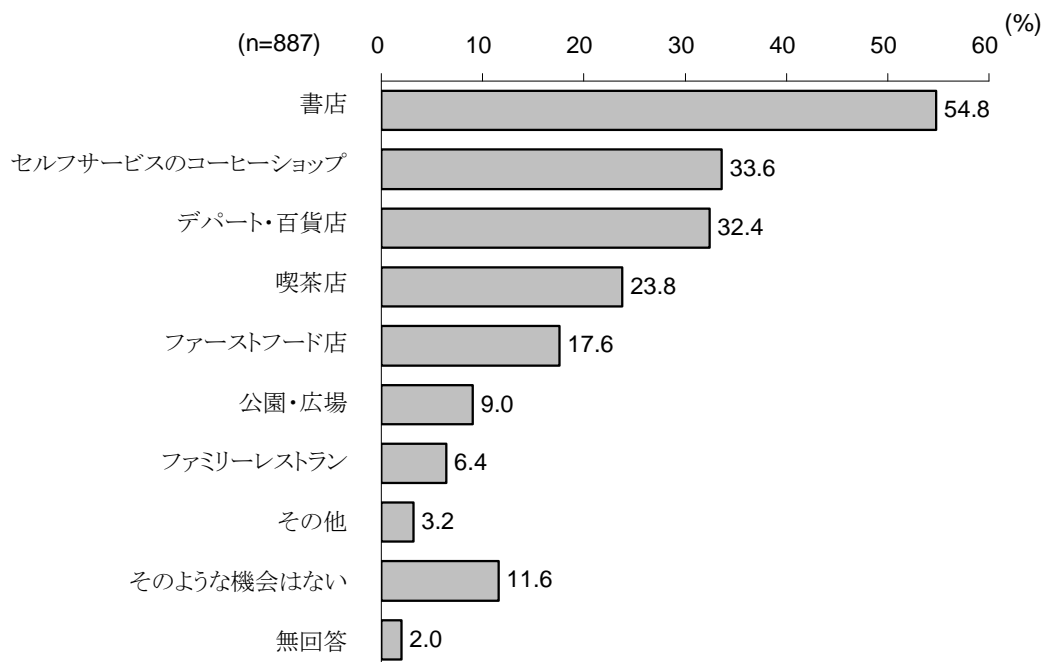


(2) 待ち合わせや時間調整に過ごす場所

◇「書店」が5割半ばでトップ

問12 待ち合わせの時間調整や、外出中に時間が空いたときなど、どのような場所ですごしますか。
(いくつでも○)

図17-1 待ち合わせや時間調整に過ごす場所

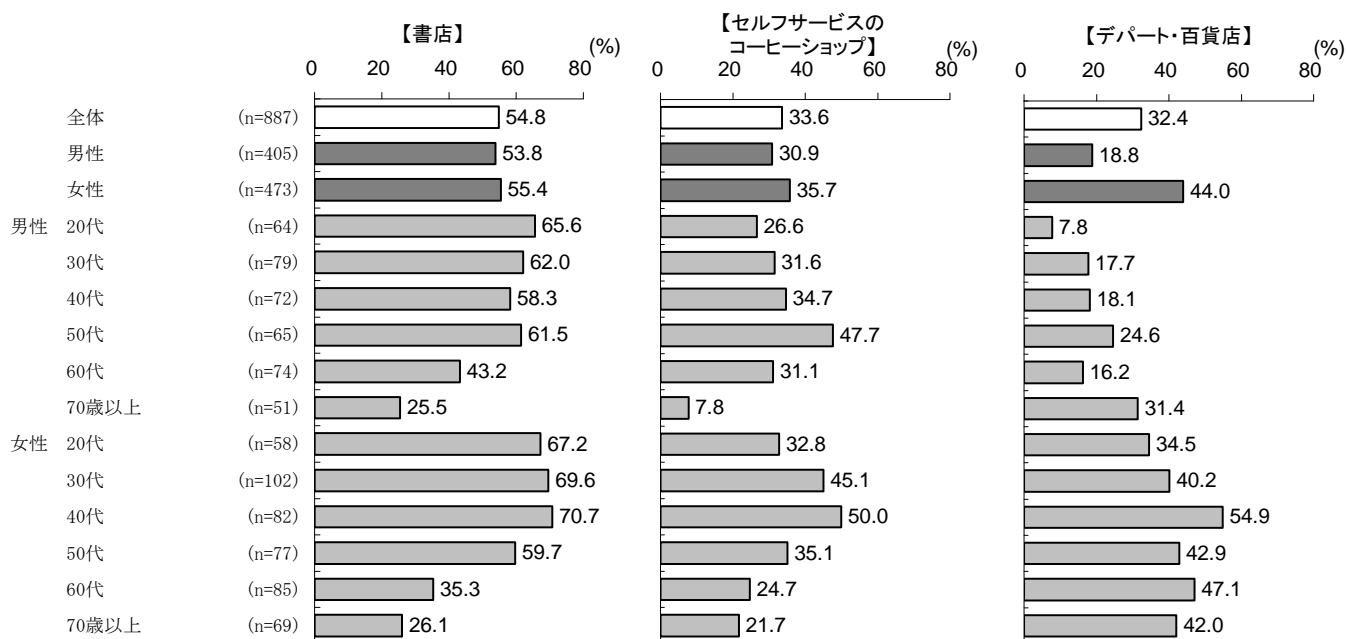


待ち合わせや時間調整に過ごす場所を聞いたところ、「書店」(54.8%)が最も高く、次いで「セルフサービスのコーヒーショップ」(33.6%)、「デパート」(32.4%)となっており、費用があまりかからず、気軽に立ち寄れる場所が上位にあげられている。(図17-1)

上位3項目について性別でみると、「書店」は男性（53.8%）、女性（55.4%）で顕著な差はみられなかった。「セルフサービスのコーヒーショップ」は男性（30.9%）より女性（35.7%）の方がやや高く、「デパート・百貨店」は男性（18.8%）より女性（44.0%）の方が25ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「書店」は男性20代から50代までの各年代で約6割、女性20代から40代までの各年代で約7割となっている。「セルフサービスのコーヒーショップ」は男性50代、女性30代、40代が約5割となっている。「デパート・百貨店」は女性40代（54.9%）が最も高いが、全ての年代で女性の方が男性より高い。（図17-2）

図17-2 待ち合わせや時間調整に過ごす場所 性別、性・年代別（上位3項目）



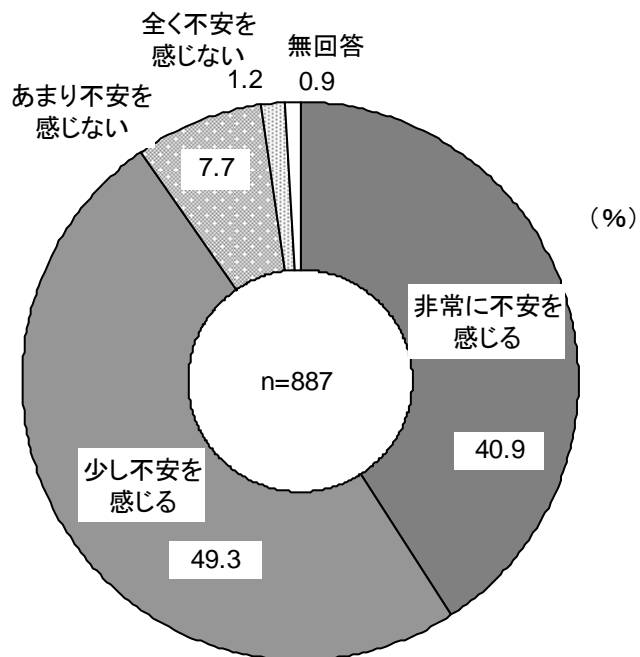
6 生活の安全（防災）

（1）大地震が起こる不安

◇約9割の人が何らかの不安を感じている

問13 近年、震度6強規模の地震が多く発生しており、大きな被害が生じています。あなたは、東京で大地震が起こるかもしれないという不安を感じることがありますか。（1つに○）

図18-1 大地震が起こる不安

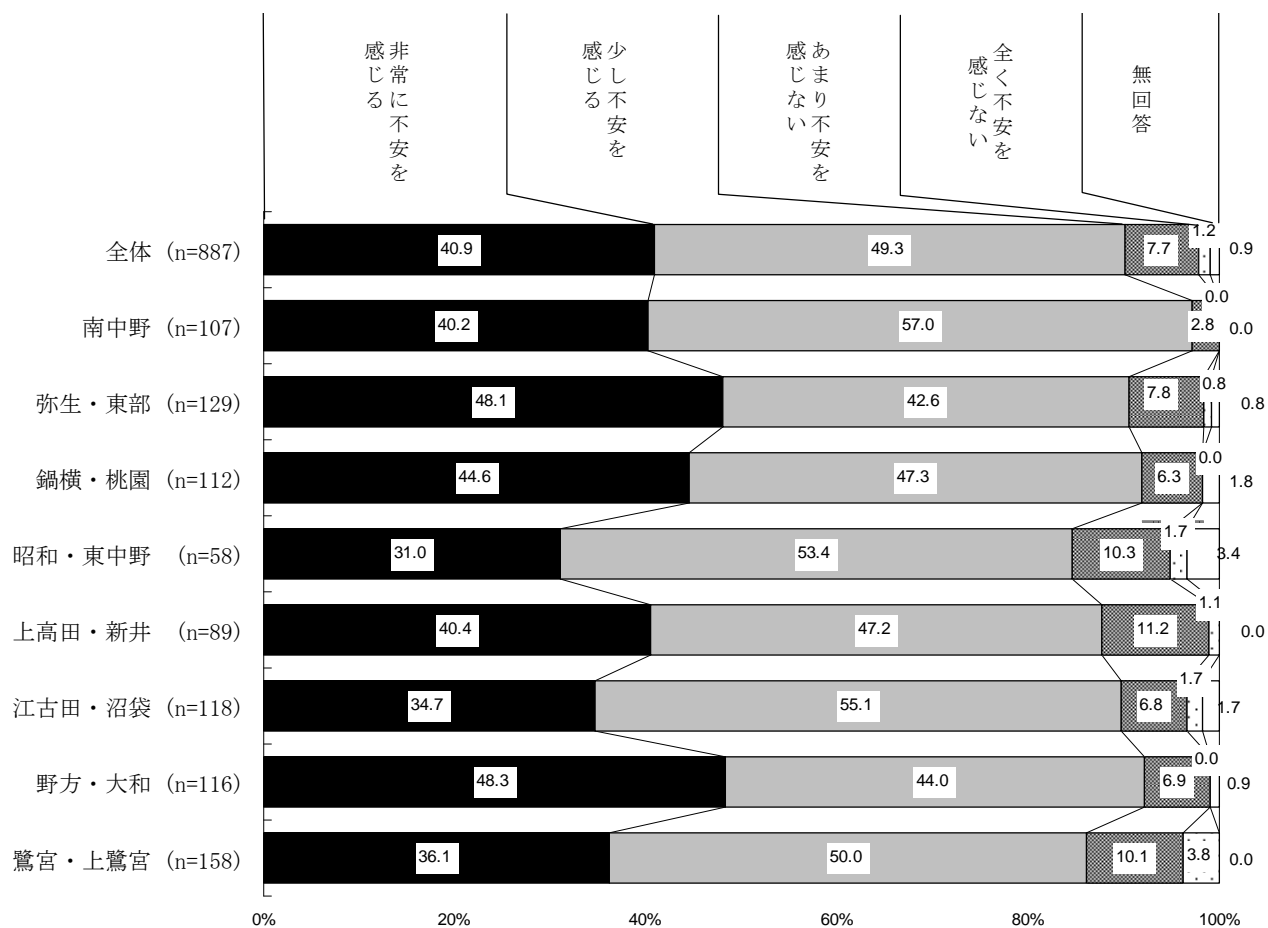


東京に大地震が起こるかもしれないという不安を感じるかを聞いたところ、「少し不安を感じる」(49.3%)と「非常に不安を感じる」(40.9%)の合計が約9割を占め、多くの人がなんらかの不安を感じていることがわかる。(図18-1)

地域別でみると、弥生・東部、野方・大和の地域では「非常に不安を感じる」人が約5割と高い。また、「非常に不安を感じる」「少し不安を感じる」の合計では、南中野（97.2%）が最も高く、次いで野方・大和（92.3%）、鍋横・桃園（91.9%）となっており、すべての地域で8割以上となっている。

（図18－2）

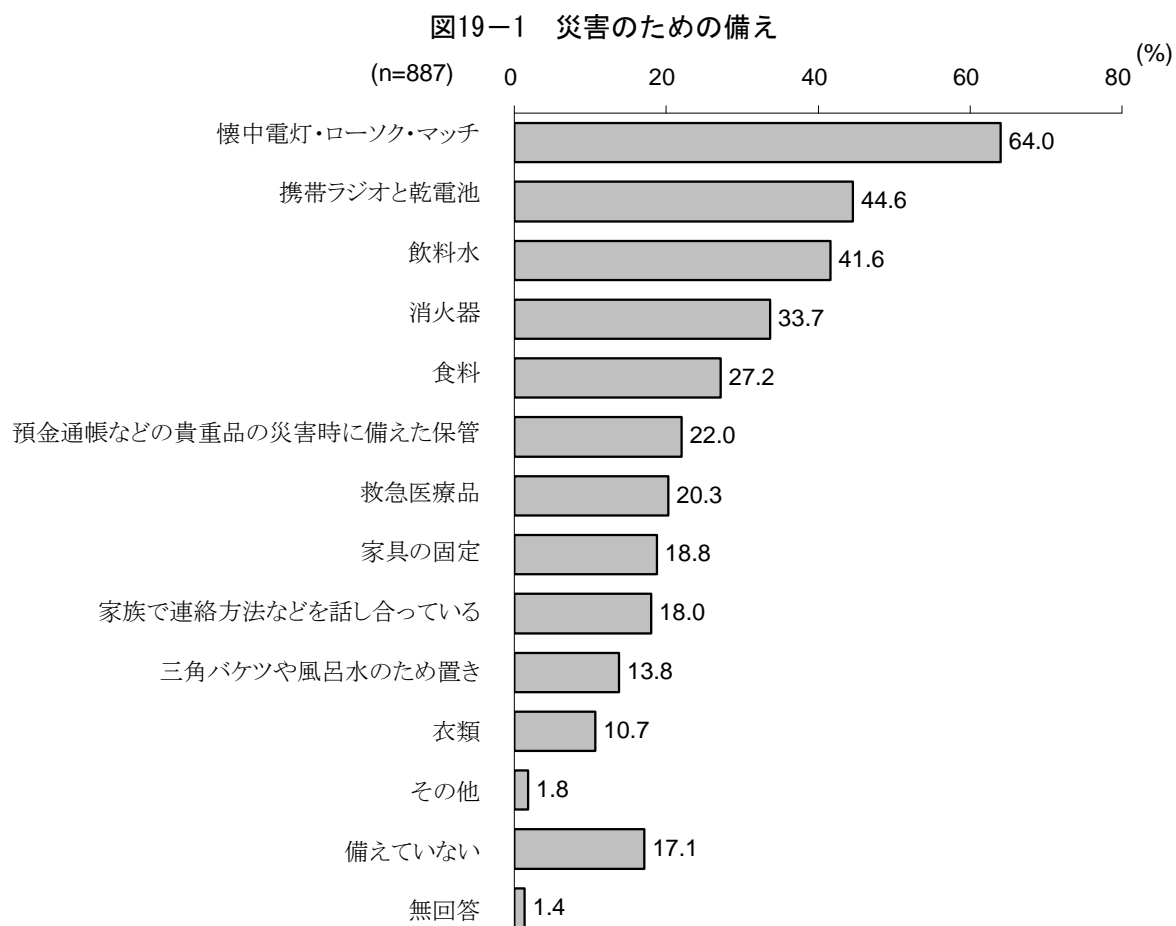
図18－2 大地震が起こる不安 地域別



(2) 災害のための備え

◇懐中電灯等、携帯ラジオ等、飲料水が上位

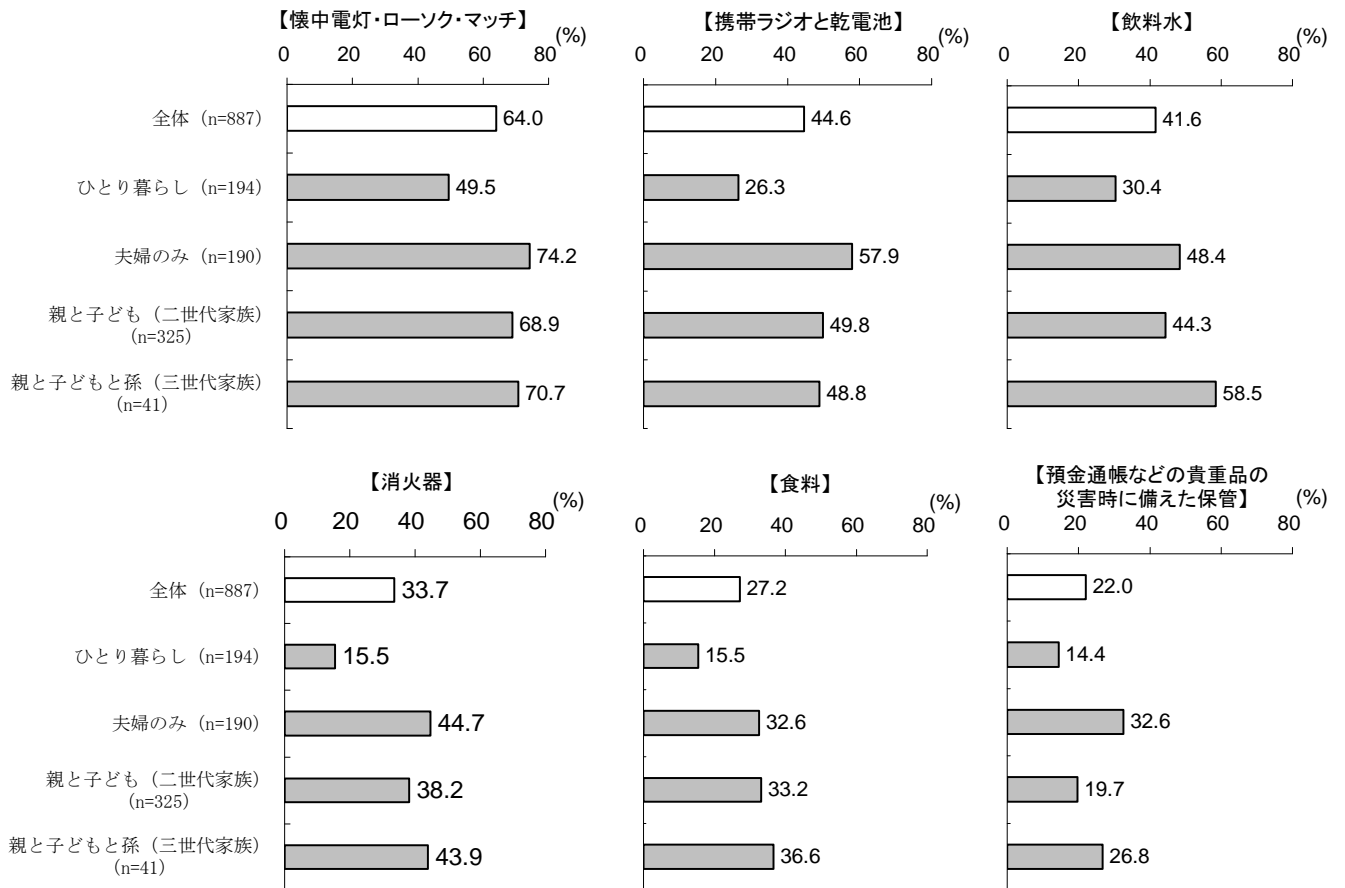
問14 あなたのお宅では、災害が起きたときのために、どのような備えをしていますか。
(いくつでも○)



災害のための備えを聞いたところ、「懐中電灯・ローソク・マッチ」(64.0%)が最も高く、次いで「携帯ラジオと乾電池」(44.6%)や「飲料水」(41.6%)が4割を超えている。(図19-1)

上位6項目について家族形態別でみると、「懐中電灯・ローソク・マッチ」、「携帯ラジオと乾電池」、「消火器」、「預金通帳などの貴重品の災害時に備えた保管」の4項目で、夫婦のみが最も高くなっている。「飲料水」、「食料」では親と子どもと孫（三世代家族）が最も高くなっている。ひとり暮らしは他の家族形態と比べて災害のための備えが低くなっている。（図19-2）

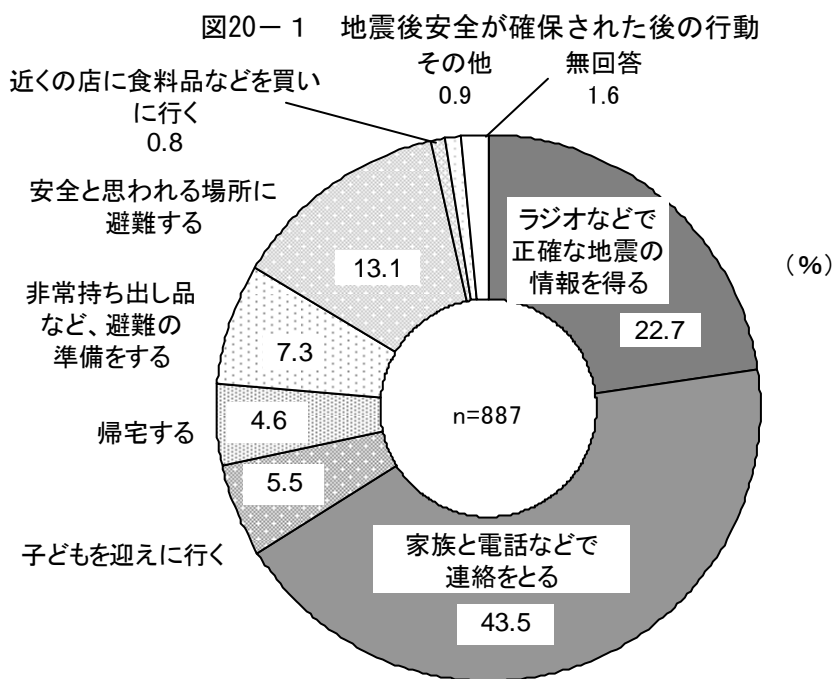
図19-2 災害のための備え 家族形態別（上位6項目）



(3) 地震後安全が確保された後の行動

◇家族の安否確認が4割強

問15 あなたは、大地震が起きた場合、ご自身の安全が確保された後、まず初めにどのような行動をとると考えますか。(1つに○)

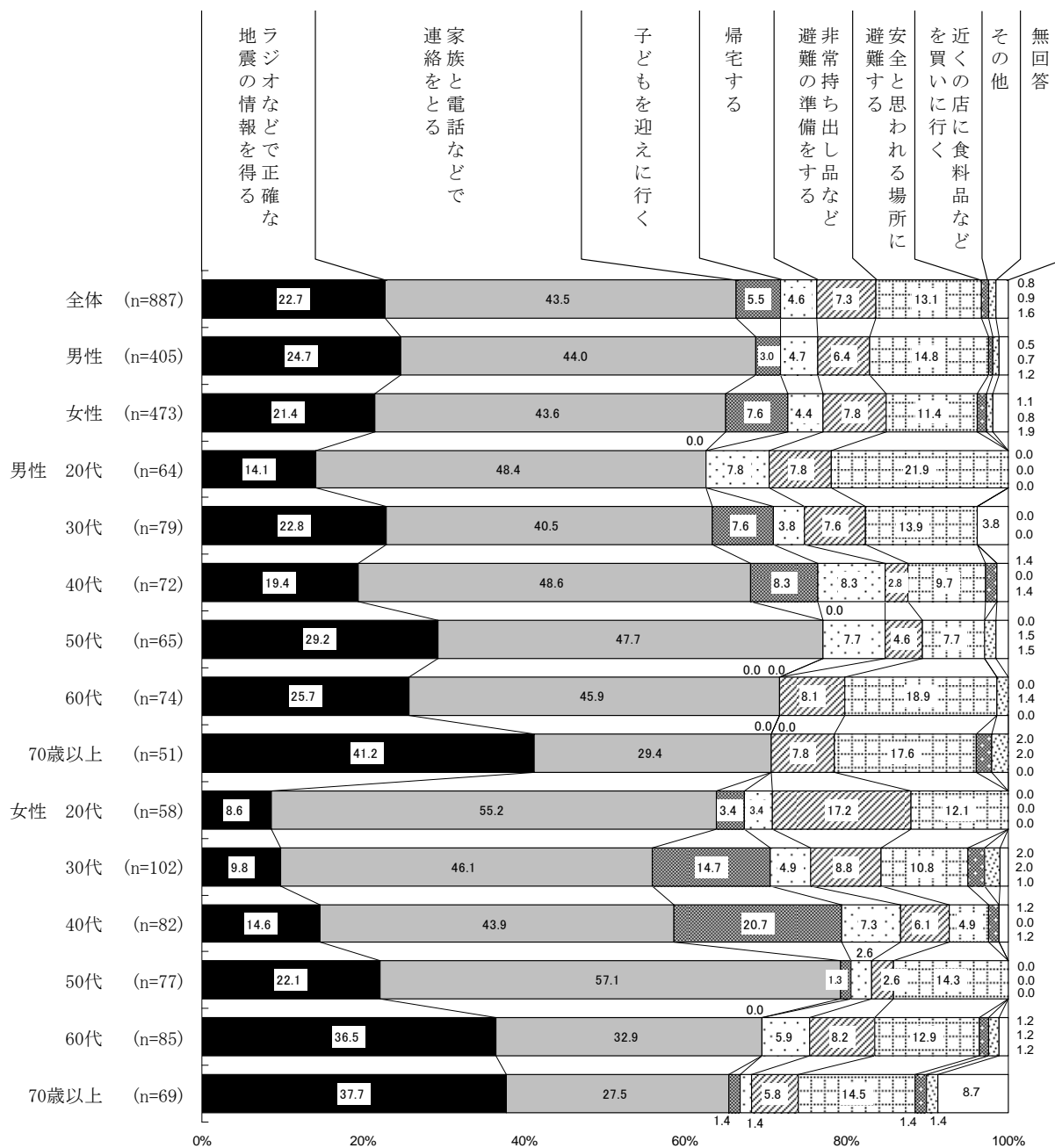


地震後安全が確保された後の行動を聞いたところ、「家族と電話などで連絡をとる」(43.5%)が最も高く、次いで「ラジオなどで正確な地震の情報を得る」(22.7%)、「安全と思われる場所に避難する」(13.1%)となっている。(図20-1)

性別でみると、ほとんどの項目で男女間に目立つ違いはみられなかったが、「子どもを迎えに行く」は女性（7.6%）の方が男性（3.0%）よりやや高い。

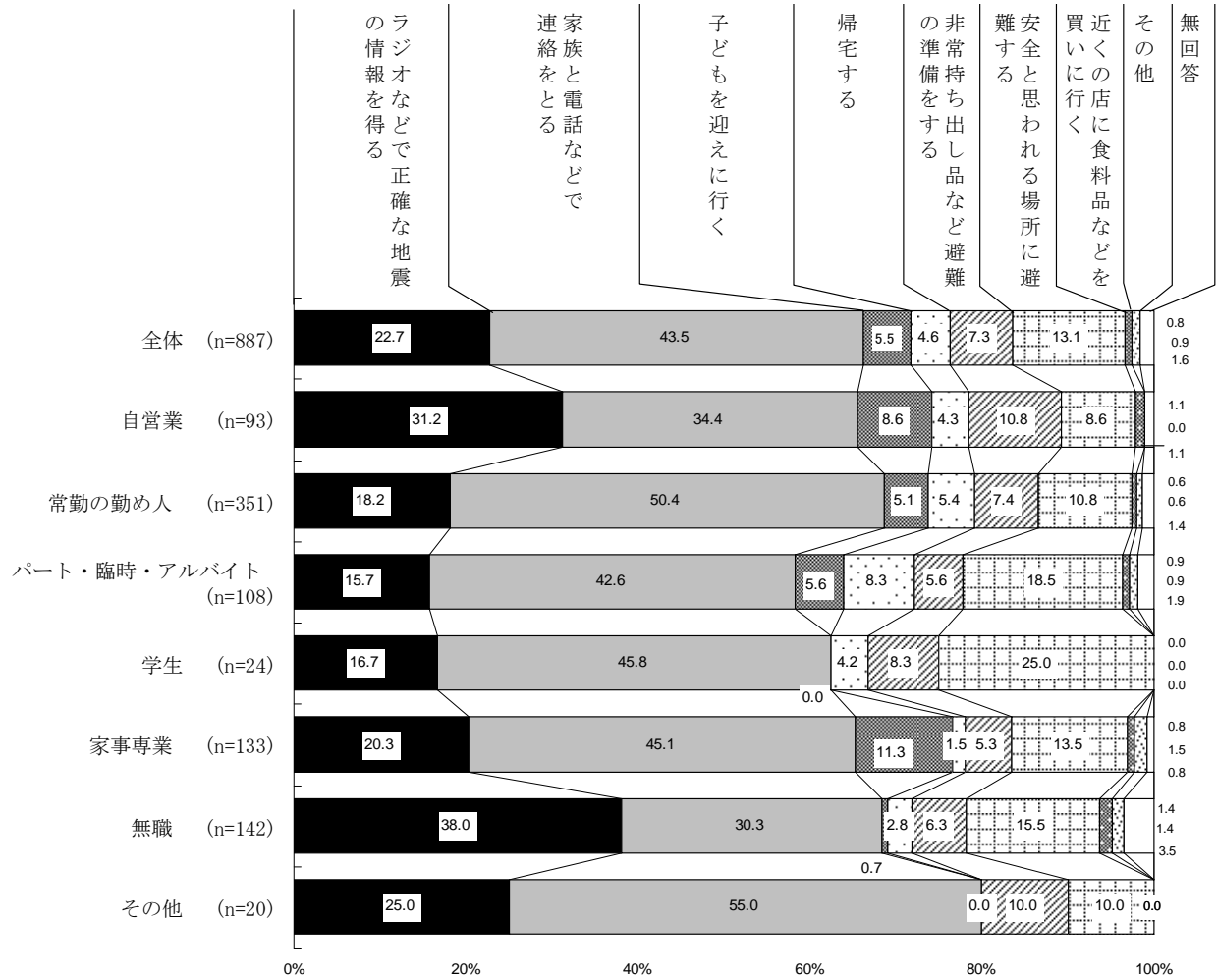
性・年代別でみると、「子どもを迎えに行く」が男女とも30代、40代で高くなっている。「ラジオなどで正確な地震の情報を得る」は女性では年代が上がるにつれて高くなっている。（図20-2）

図20-2 地震後安全が確保された後の行動 性別、性・年代別



職業別でみると、「ラジオなどで正確な地震の情報を得る」が自営業と無職で3割を超え、「家族と電話などで連絡をとる」は普段家にいないことの多い常勤の勤め人が約5割で最も高くなっている。また、「子どもを迎えに行く」は家事専業が1割強で他の職業より高くなっている。(図20-3)

図20-3 地震後安全が確保された後の行動 職業別

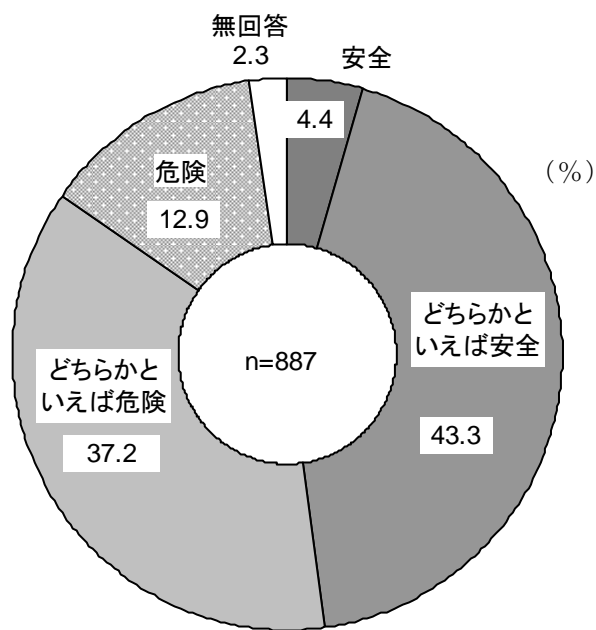


(4) 住んでいる地域の安全性

◇『安全と感じている』人が4割半ば

問16 あなたの住んでいる地域は、地震による災害に対し、安全だと感じていますか。それとも危険と感じていますか。(1つに○)

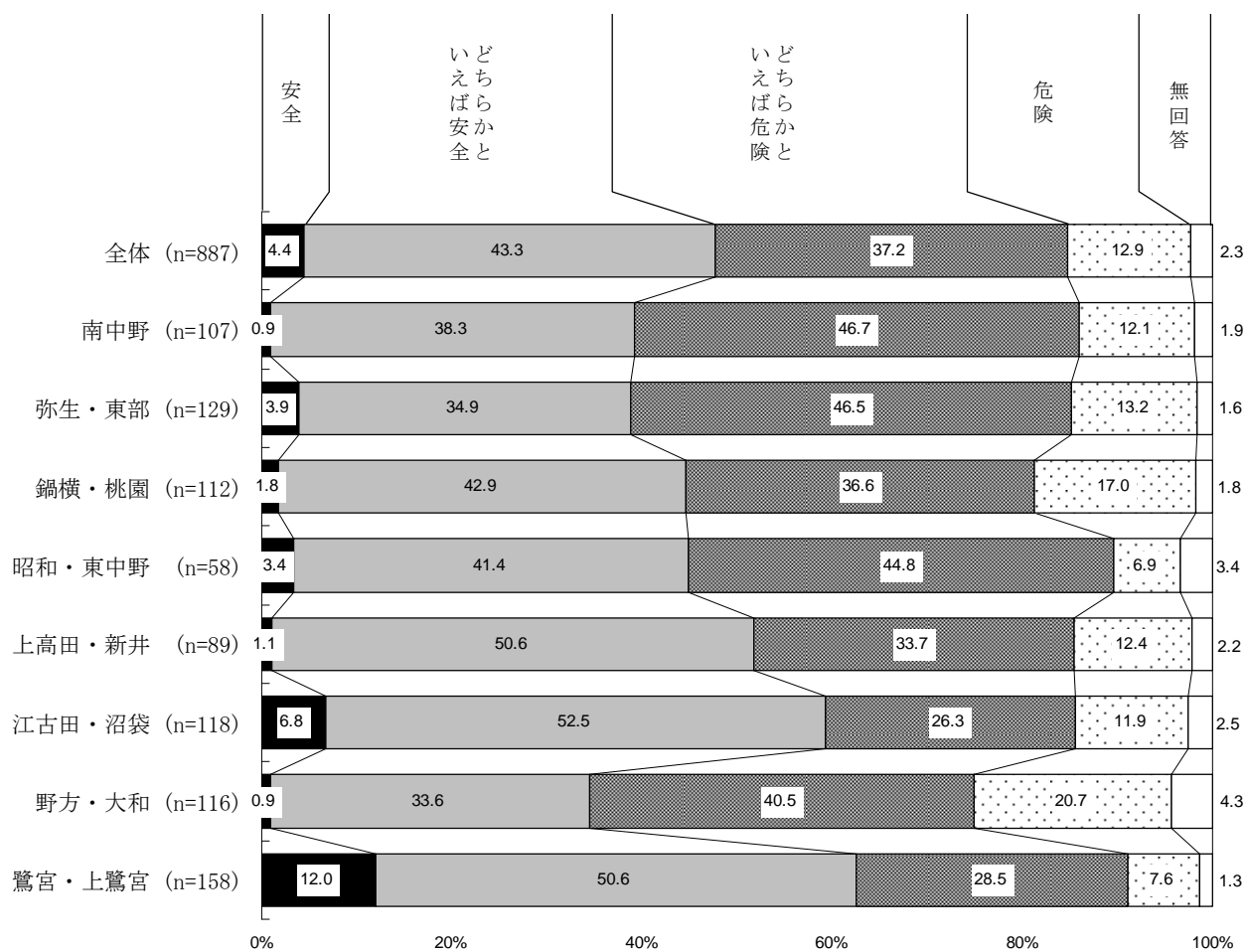
図21-1 住んでいる地域の安全性



住んでいる地域の安全性について聞いてみたところ、「どちらかといえば安全」(43.3%)が最も高く、次いで「どちらかといえば危険」(37.2%)、「危険」(12.9%)となっている。「危険」「どちらかといえば危険」を合計した『危険と感じている』人は50.1%で、「安全」「どちらかといえば安全」を合計した『安全と感じている』人(47.7%)をわずかに上回っている。(図21-1)

地域別でみると、『安全と感じている人』は鷺宮・上鷺宮（62.6%）が最も高く、次いで江古田・沼袋（59.3%）、上高田・新井（51.7%）となっており北部のエリアが上位を占めているが、一方で野方・大和は他のどの地域よりも低くなっている。（図21-2）

図21-2 住んでいる地域の安全性 地域別



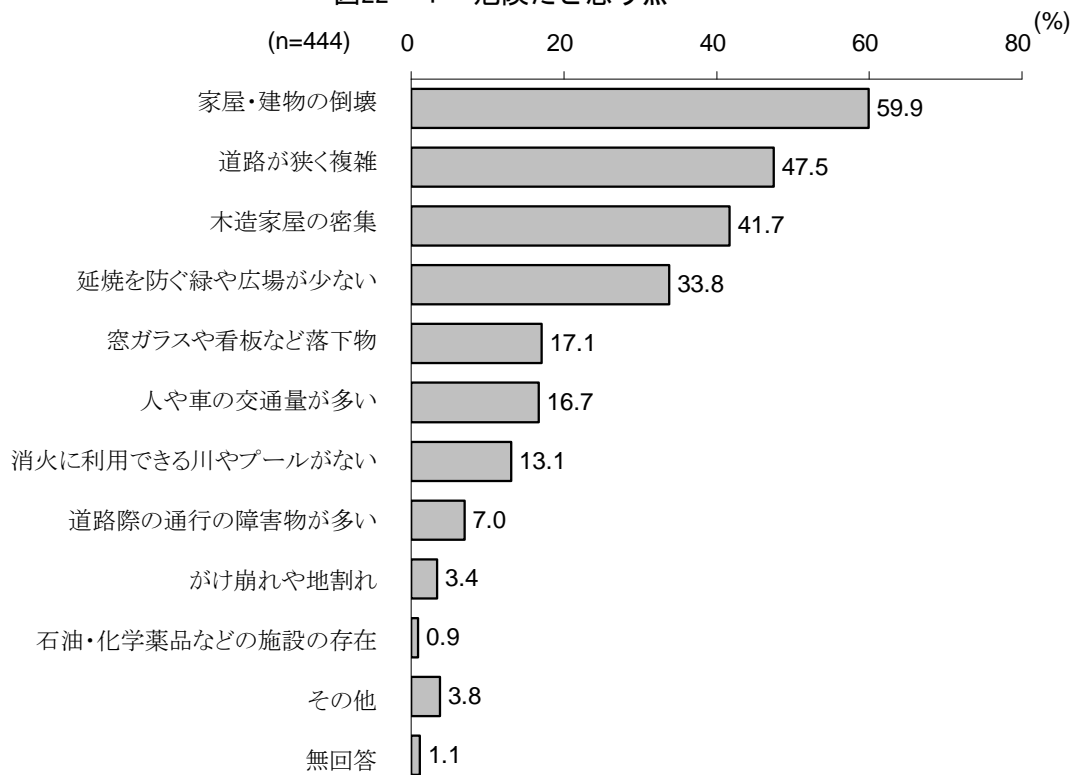
(4-1) 危険だと思う点

◇家屋・建物の倒壊、道路の狭さを危険視

【問16で「3 どちらかといえば危険」「4 危険」と答えた方に伺います。】

問16-1 あなたは、どのような点が特に危険だと思いますか。(3つまで○)

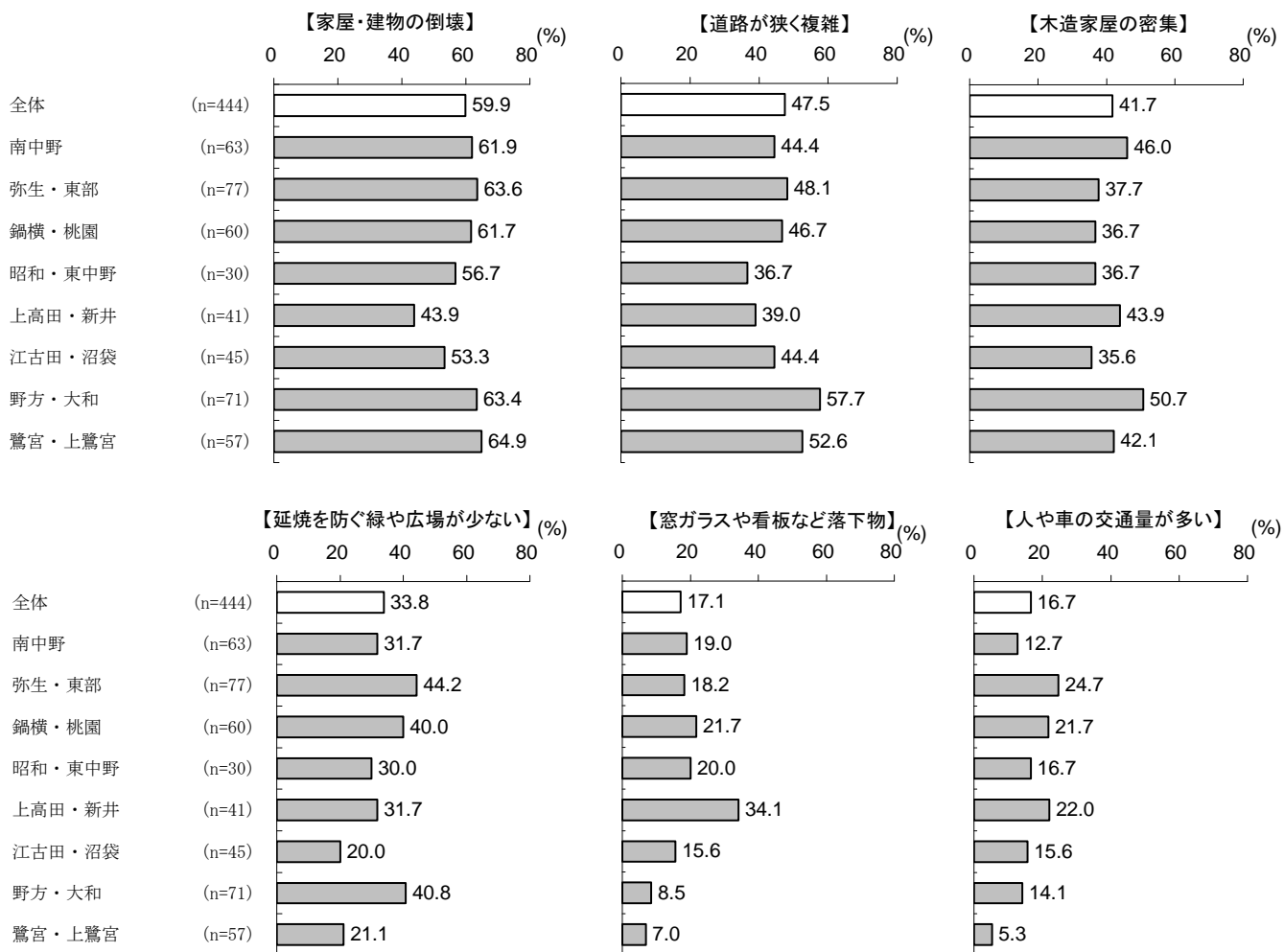
図22-1 危険だと思う点



危険だと思う点を聞いたところ、「家屋・建物の倒壊」(59.9%)が最も高く、次いで「道路が狭く複雑」(47.5%)、「木造家屋の密集」(41.7%)となっている。(図22-1)

上位6項目について地域別でみると、「家屋・建物の倒壊」は上高田・新井（43.9%）を除くすべての地域で5割を超えている。「道路が狭く複雑」は野方・大和、鷺宮・上鷺宮が5割台と高くなっている。「木造家屋の密集」は野方・大和（50.7%）が最も高くなっている。「窓ガラスや看板など落下物」は、上高田・新井（34.1%）が他の地域と比べて高くなっている。（図22-2）

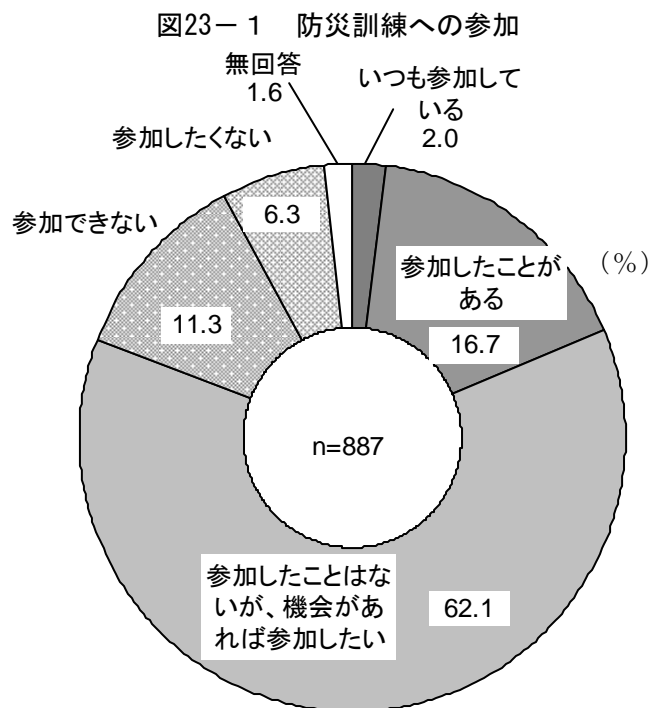
図22-2 危険だと思う点 地域別（上位6項目）



(5) 防災訓練への参加

◇ 6割強が「参加したことはないが、機会があれば参加したい」

問17 あなたは、地域で行われる防災訓練などに、参加したことがありますか。(1つに○)



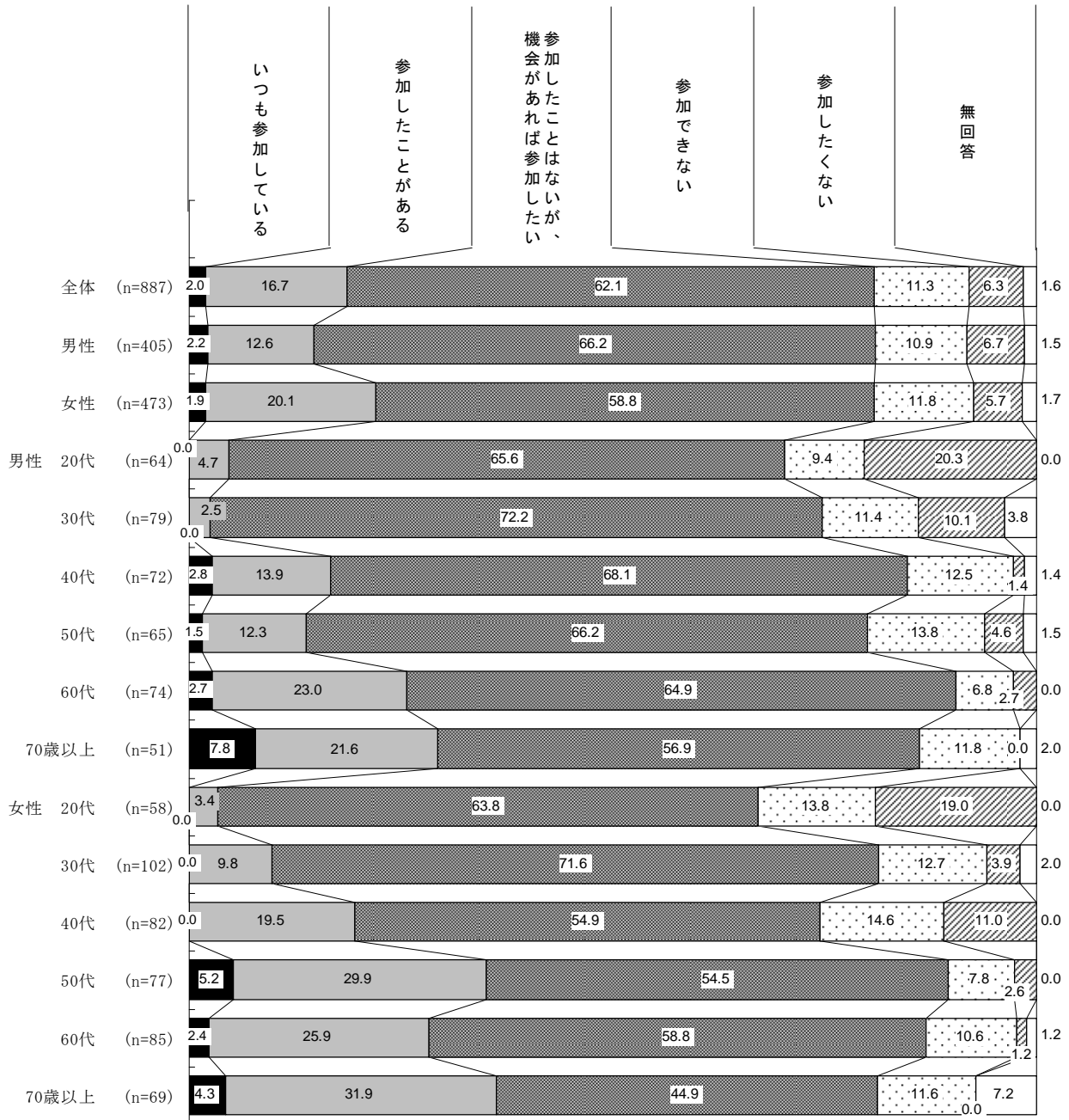
防災訓練への参加について聞いたところ、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」(62.1%)が最も高く、次いで「参加したことがある」(16.7%)となっており、高い関心があることがわかる。

(図23-1)

性別でみると、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」は男性（66.2%）が女性（58.8%）より7ポイント高くなっている。「参加したことがある」は女性（20.1%）が男性（12.6%）より8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「いつも参加している」は男性では70歳以上（7.8%）、女性では50代（5.2%）が最も高く、20代の男女では「参加したくない」が2割程度みられる。（図23-2）

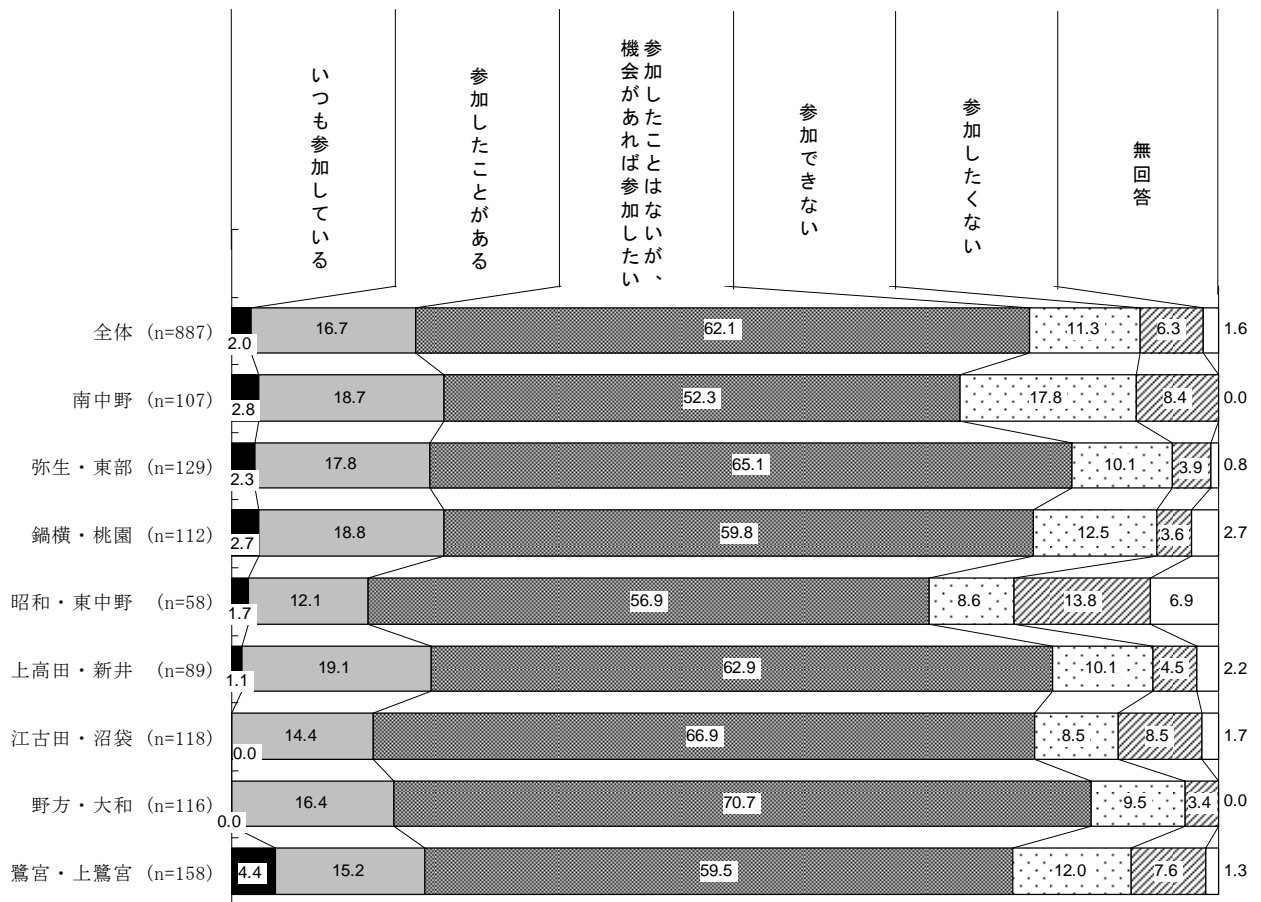
図23-2 防災訓練への参加 性別、性・年代別



地域別でみると、「いつも参加している」は鷲宮・上鷲宮（4.4%）が最も高く、「いつも参加している」「参加したことがある」「参加したことはないが機会があれば参加したい」を合計した『参加する意志がある』はすべての地域で7割を超えており、野方・大和（87.1%）が最も高くなっている。

（図23－3）

図23－3 防災訓練への参加 地域別

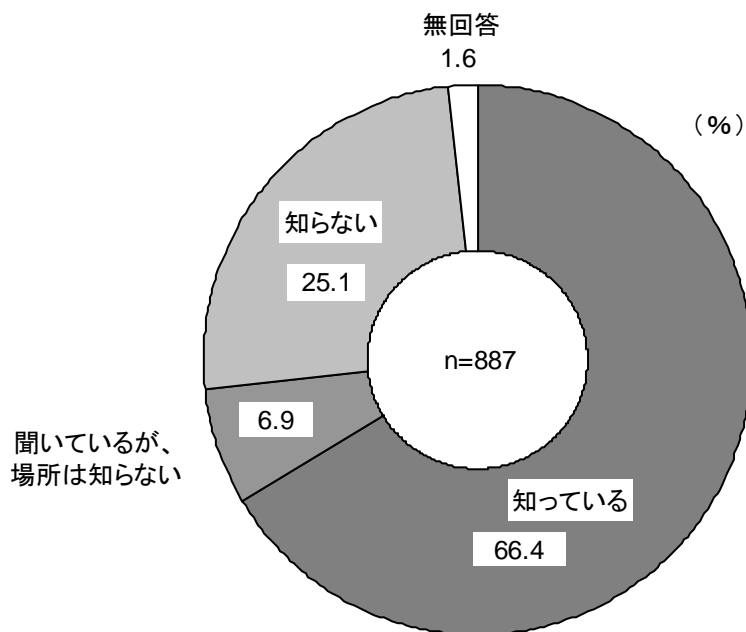


(6) 自分の避難所

◇「知っている」人は6割半ば

問18 中野区では、災害時の救援・救護活動の拠点として区内小・中学校など50か所を「避難所」に指定しています。あなたは、ご自分の「避難所」をご存じですか。(1つに○)

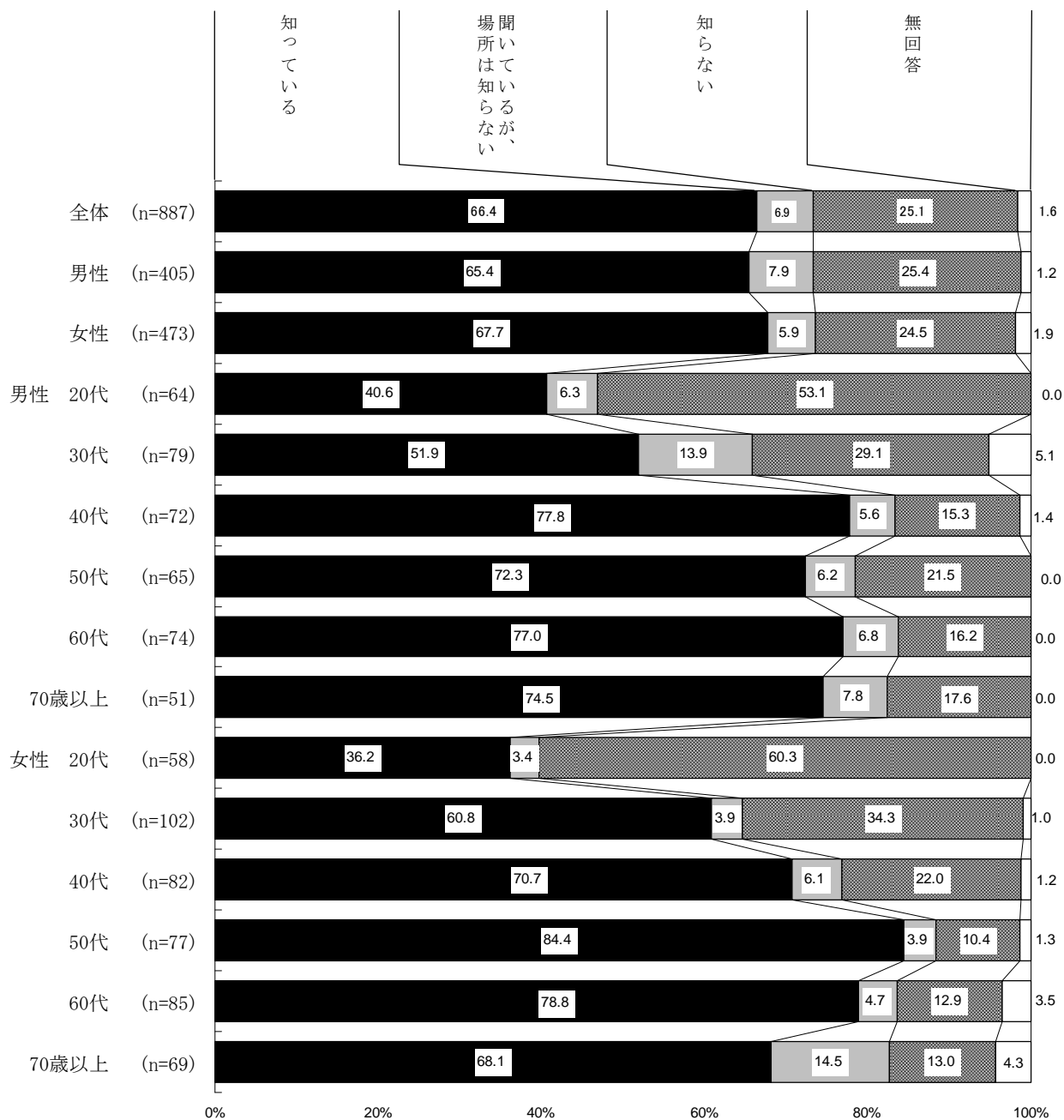
図24-1 自分の避難所



自分の避難所を知っているか聞いたところ、「知っている」(66.4%)が最も高く、次いで「知らない」(25.1%)、「聞いているが、場所は知らない」(6.9%)となっている。(図24-1)

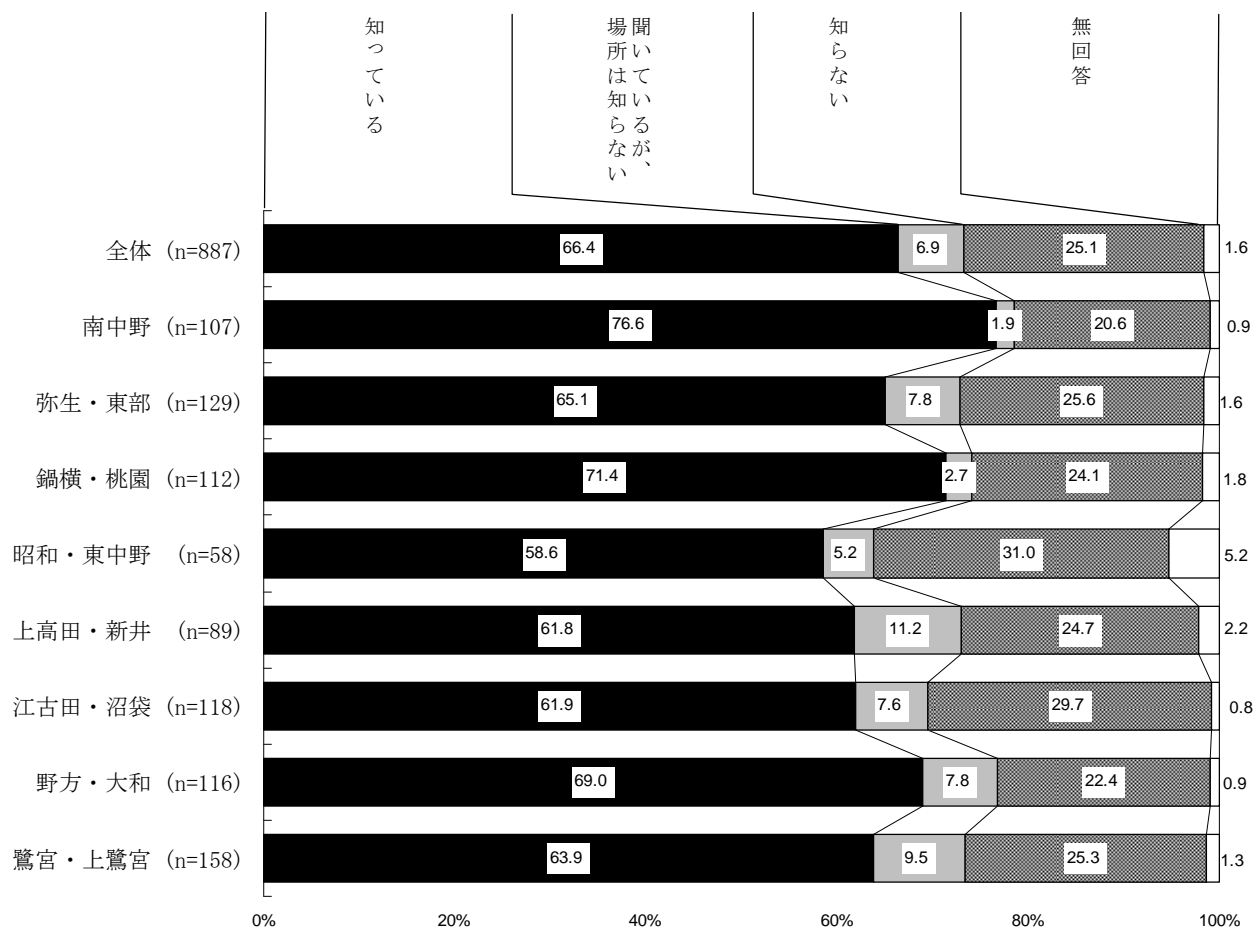
性・年代別でみると、男女ともに20代を除くすべての年代で「知っている」が過半数を超えている。一方、20代では男女ともに過半数が「知らない」と答えており、若い世代に避難所を知らない人が多いことがわかる。(図24-2)

図24-2 自分の避難所 性別、性・年代別



地域別でみると、「知っている」は南中野（76.6%）、鍋横・桃園（71.4%）が7割を超えて高くなっている。一方、「知らない」は昭和・東中野（31.0%）、江古田・沼袋（29.7%）が約3割で高くなっており、地域によって避難場所の認知に差がみられる。（図24-3）

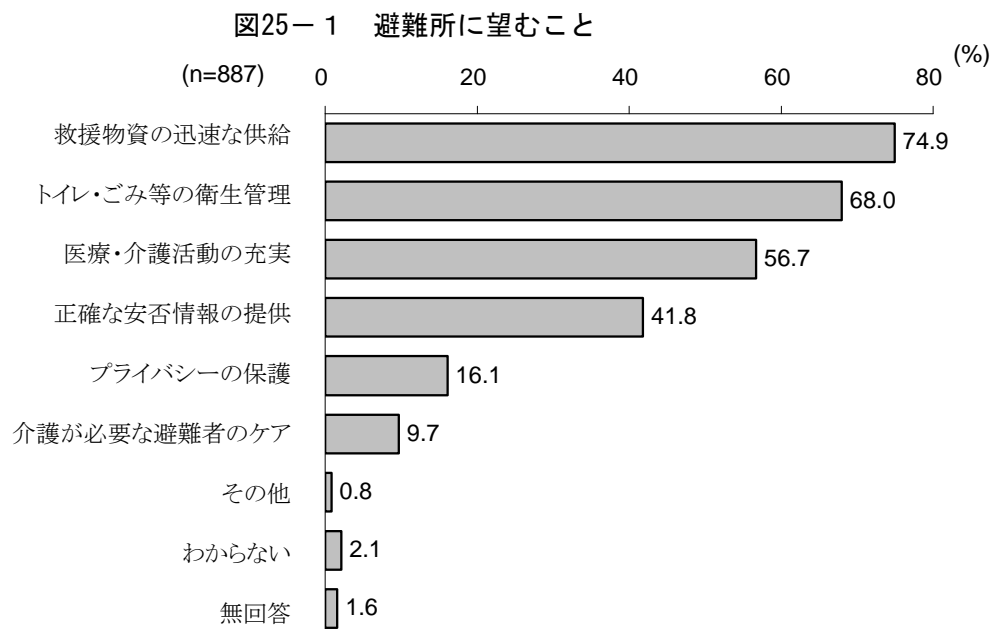
図24-3 自分の避難場所 地域別



(7) 避難所に望むこと

◇「救援物資の迅速な供給」、「トイレ・ごみ等の衛生管理」が上位

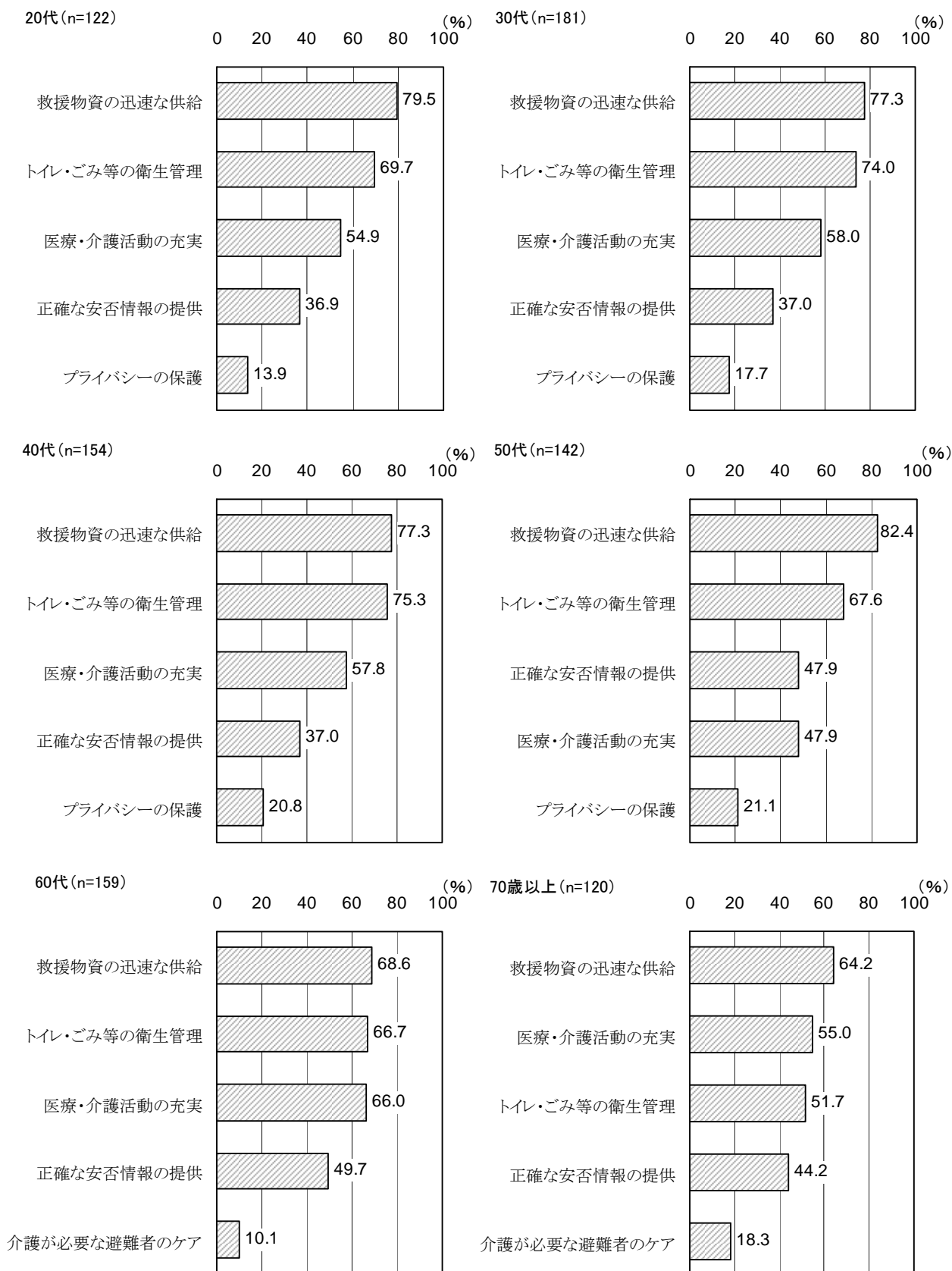
問19 あなたが避難所に望むことは何ですか。(3つまで○)



避難所に望むことを聞いたところ、「救援物資の迅速な供給」(74.9%)が最も高く、次いで「トイレ・ごみ等の衛生管理」(68.0%)、「医療・介護活動の充実」(56.7%)と続いている。(図25-1)

年代別でみると、すべての年代で「救援物資の迅速な供給」が第1位にあげられており、2位から4位には、年代により順位に変動はあるが「トイレ・ごみ等の衛生管理」、「医療・介護活動の充実」、「正確な安否情報の提供」の3項目があげられている。5位にあげられた項目は20代から50代までは「プライバシーの保護」であるが60代、70歳以上では「介護が必要な避難者のケア」となっており年代による差がみられる。(図25-2)

図25-2 避難所に望むこと 年代別(上位5項目)

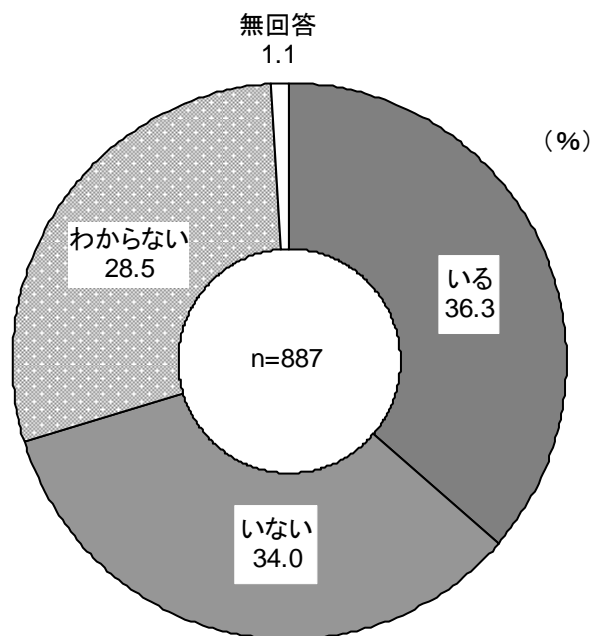


(8) 身近に避難が困難な人の有無

◇避難が困難な人が身近に「いる」が3割半ば

問20 大地震などの災害が起こったとき、あなたの家やご近所に、ひとりで避難することが困難な人、例えば、高齢者や障害者、乳幼児、病人、妊産婦などの人はいますか。(1つに○)

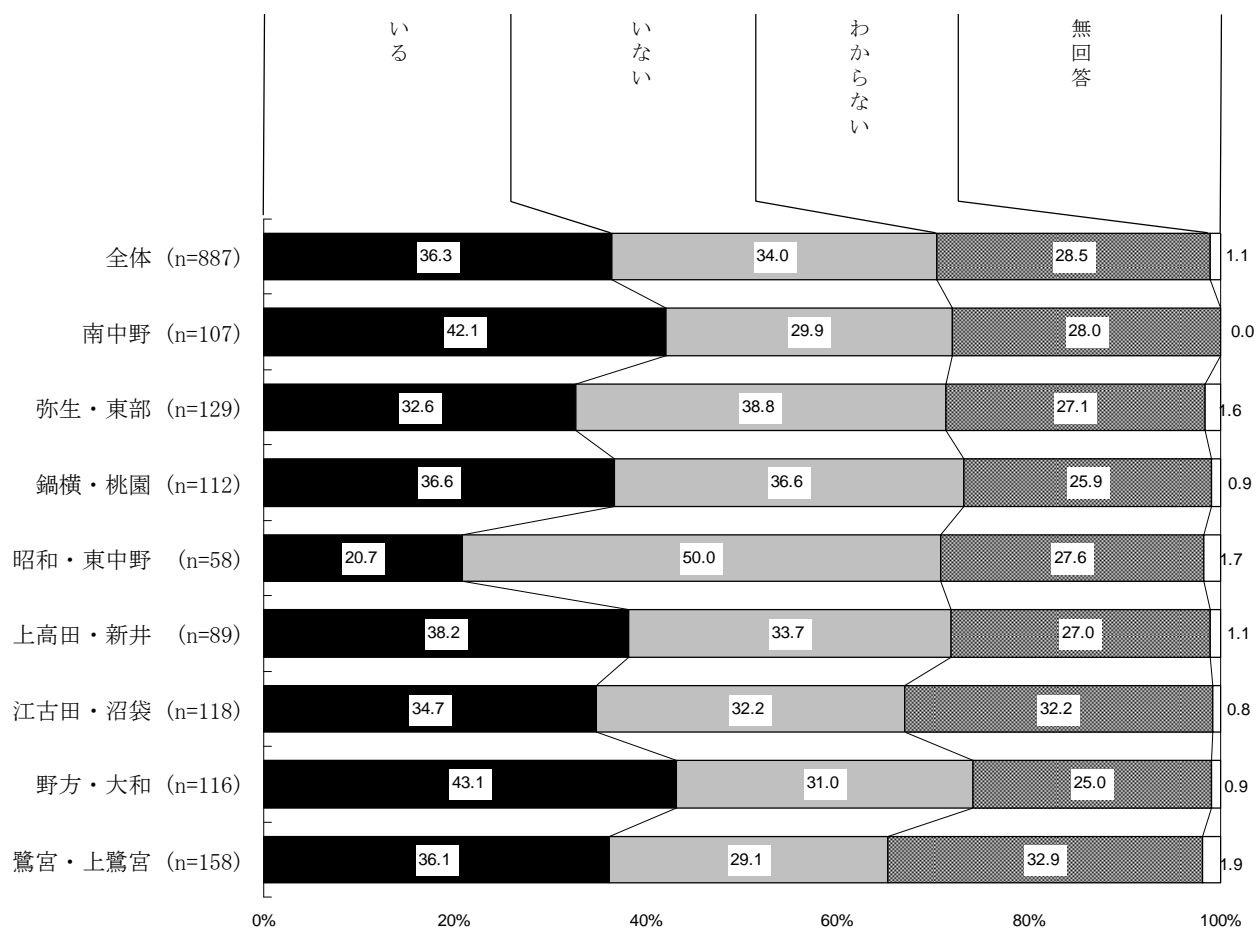
図26-1 身近に避難が困難な人の有無



身近に避難が困難な人がいるかどうかを聞いたところ、「いる」(36.3%)が最も高く、次いで「いない」(34.0%)、「わからない」(28.5%)となっている。(図26-1)

地域別でみると、「いる」は野方・大和（43.1%）、南中野（42.1%）が比較的高くなっている。「いない」は昭和・東中野（50.0%）が最も高くなっている。（図26-2）

図26-2 身近に避難が困難な人の有無 地域別

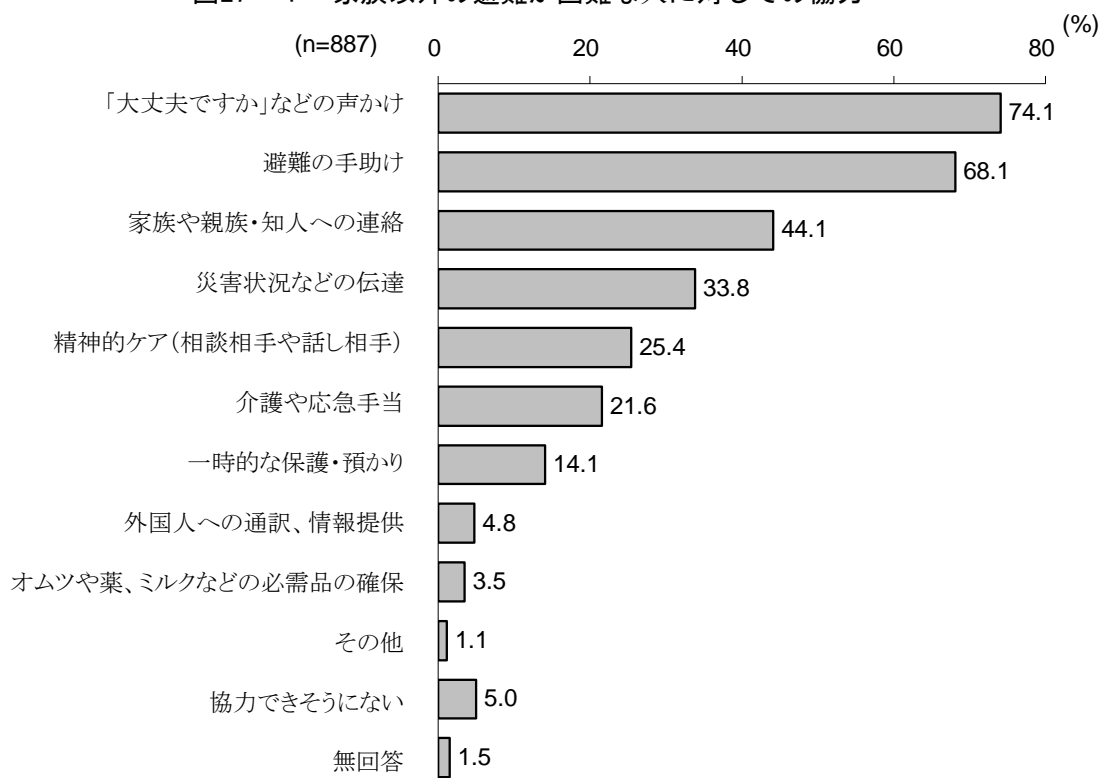


(9) 家族以外の避難が困難な人に対する協力

◇ 「大丈夫ですか」などの声かけ」と「避難の手助け」が高い

問21 大地震が起きた場合、あなたは、あなたの家族以外の、自力で避難することが困難で、援護を必要とする人に対して、どのような協力ができそうだと思いますか。あなたご自身や家族の安全はおおむね確保されていると仮定してお答えください。(いくつでも○)

図27-1 家族以外の避難が困難な人に対する協力

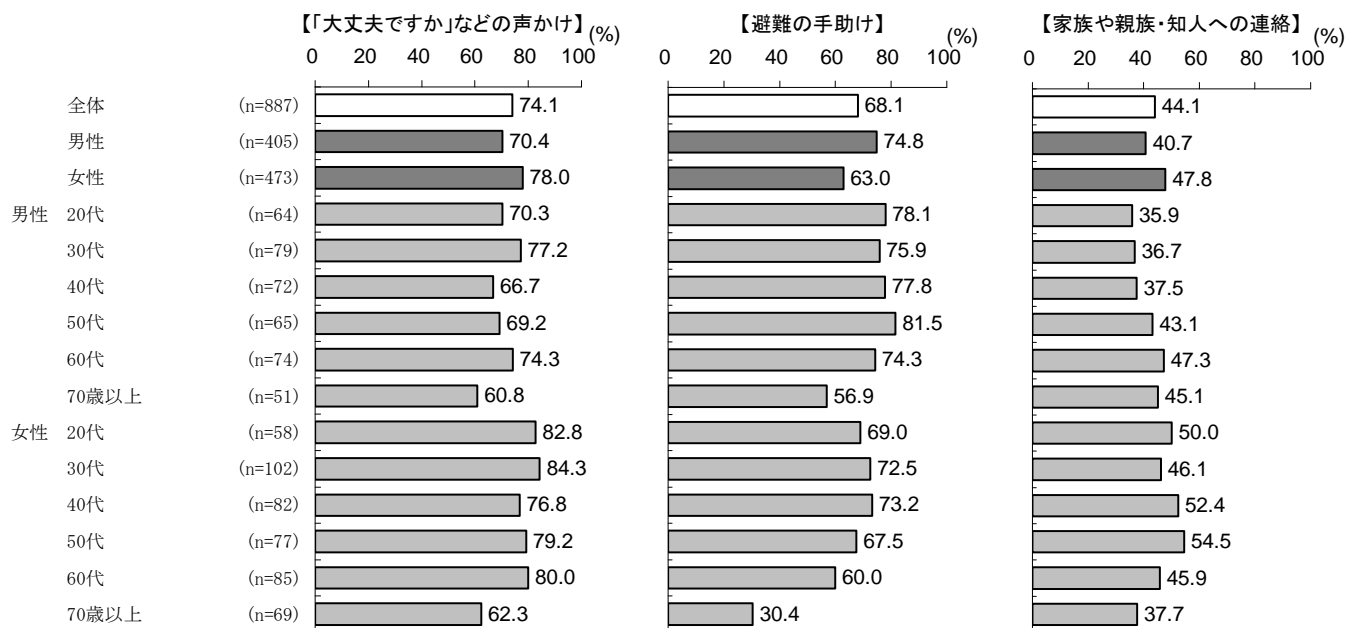


家族以外の避難が困難な人に対する協力についてを聞いたところ、「大丈夫ですか」などの声かけ(74.1%)が最も高く、次いで「避難の手助け」(68.1%)、「家族や親族・知人への連絡」(44.1%)となっている。(図27-1)

性別でみると、「大丈夫ですか」などの声かけは女性（78.0%）が男性（70.4%）より8ポイント高く、「避難の手助け」は男性（74.8%）が女性（63.0%）より12ポイント高くなっている。「家族や親族・知人への連絡」は女性（47.8%）が男性（40.7%）を7ポイント上回っている。

性・年代別でみると、「大丈夫ですか」などの声かけは女性20代、30代、60代で8割以上と高くなっている。「避難の手助け」は男性では20代から60代、女性では30代、40代が7割以上となっており、特に男性50代では8割台と高くなっている。「家族や親族・知人への連絡」は女性20代、40代、50代が5割台で比較的高い。（図27-2）

図27-2 家族以外の避難が困難な人に対する協力の協力 性別、性・年代別（上位3項目）



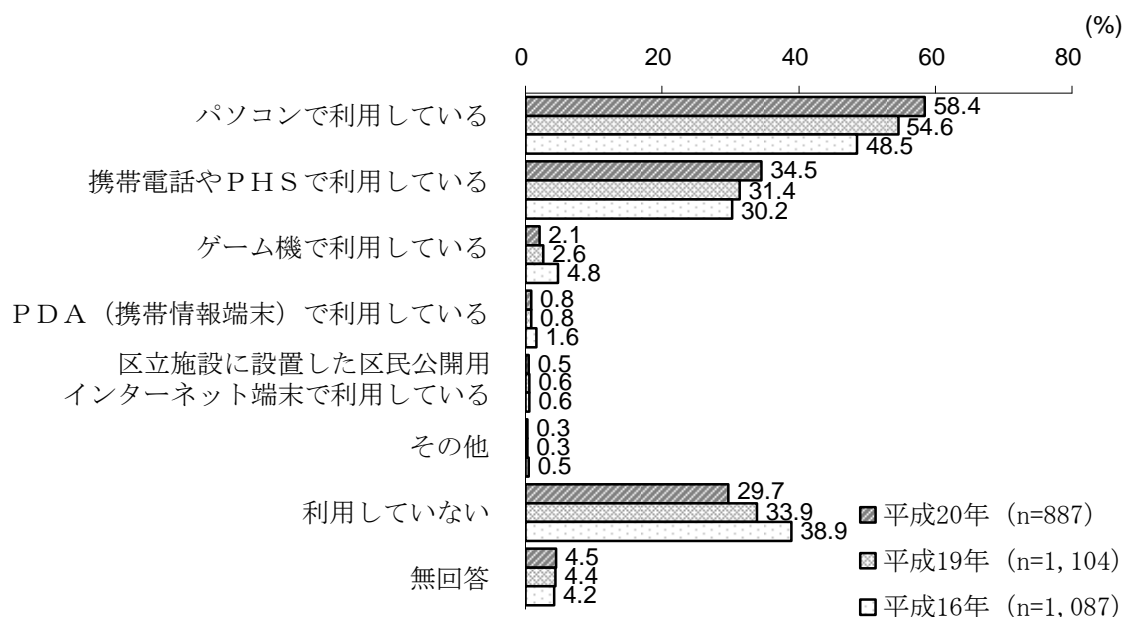
7 インターネットの利用状況

(1) インターネットの利用状況

◇「パソコンで利用している」が最も高く6割弱

問22 現在、あなたは、仕事以外でインターネットを利用していますか。(いくつでも○)

図28-1 インターネットの利用状況



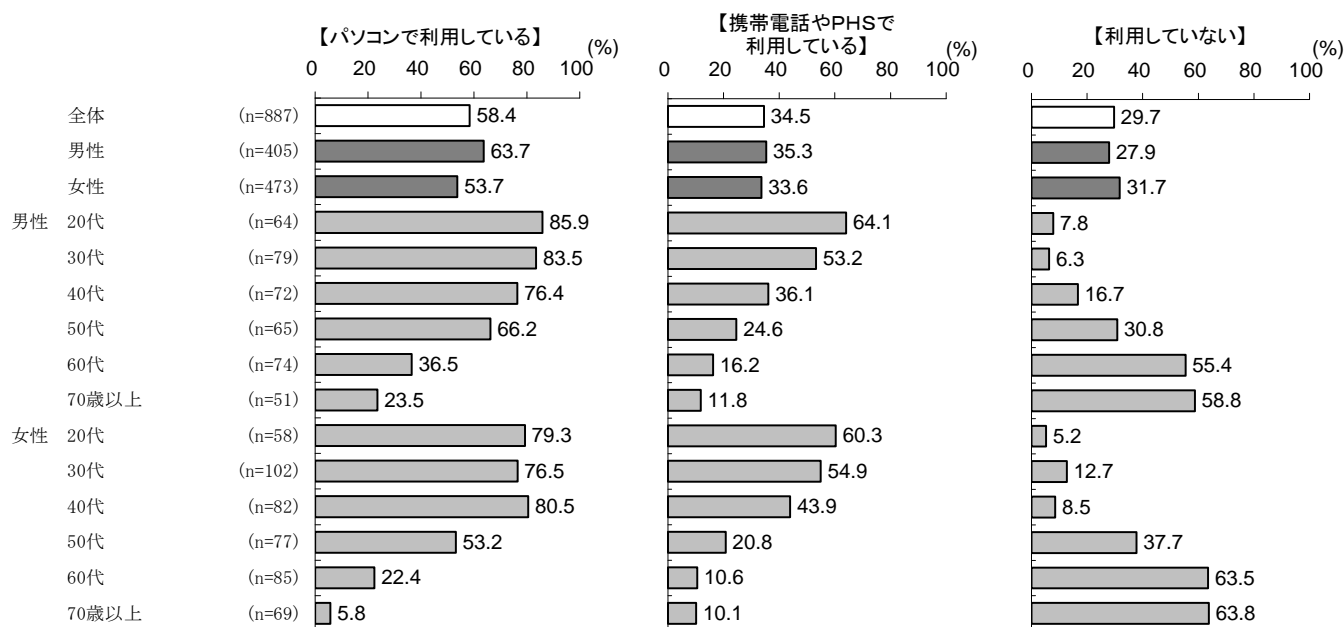
インターネットの利用状況を聞いたところ、「パソコンで利用している」(58.4%)が最も高く、次いで「携帯電話やPHSで利用している」(34.5%)となっており、その他の利用方法は1割以下となっている。一方、「利用していない」は全体の約3割みられる。

過去の結果(平成19年、平成16年)と比較すると、「パソコンで利用している」、「携帯電話やPHSで利用している」が増加傾向にあり、「利用していない」は減少傾向がみられる。(図28-1)

性別で見ると、「パソコンで利用している」は男性（63.7%）が女性（53.7%）より10ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「利用していない」は男女とも概ね、年代が上がるにつれて高くなっており、60代、70歳以上では男性の5割以上、女性の6割以上が仕事以外でインターネットを利用していないことがわかる。（図28-2）

図28-2 インターネットの利用状況 性別、性・年代別（上位3項目）



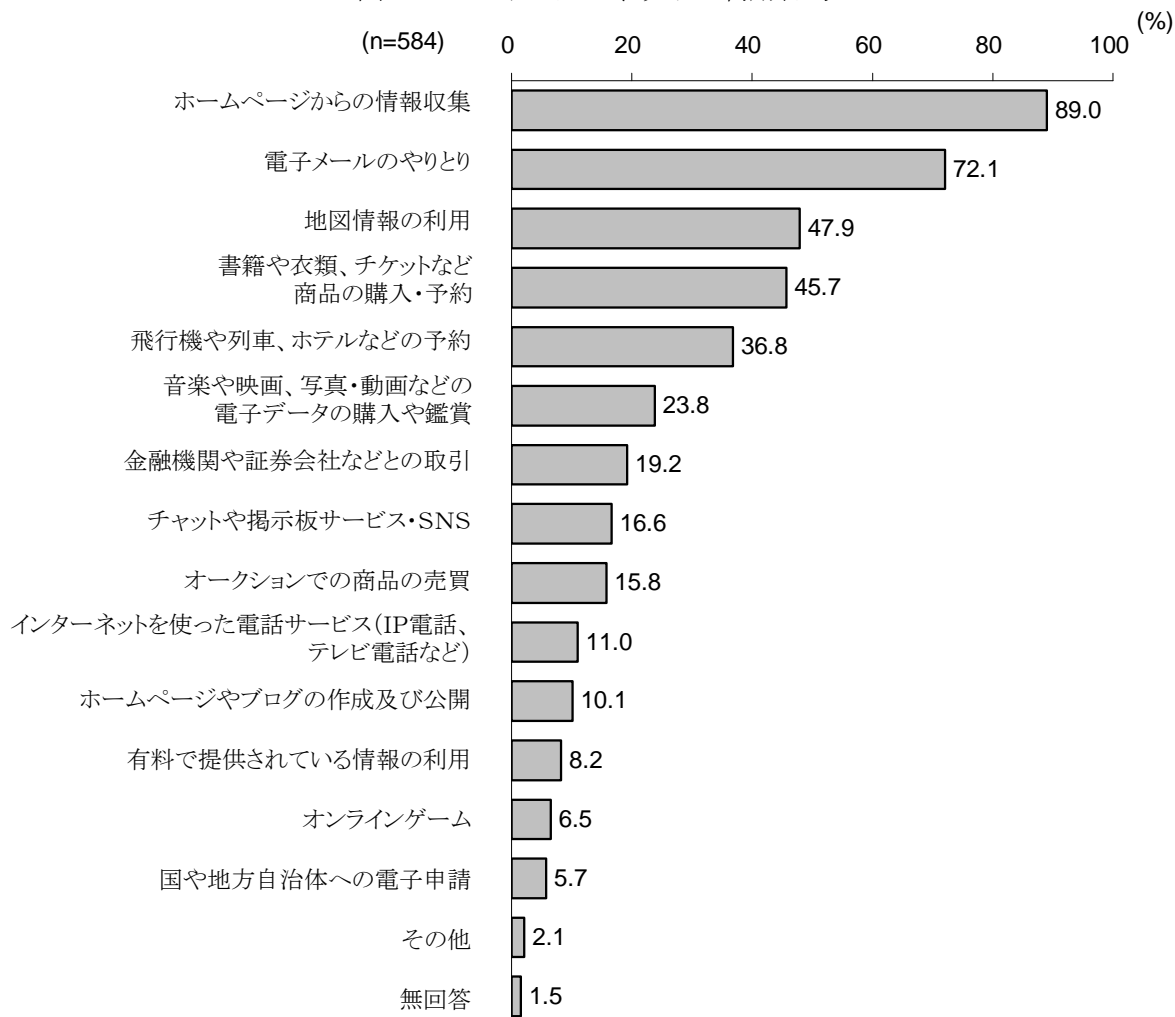
(1-1) インターネットの利用目的

◇「ホームページからの情報収集」に続き「電子メールのやりとり」が高い

【問22で「1」～「6」に○をした方に伺います】

問22-1 インターネットを利用する目的は何ですか。(いくつでも○)

図29-1 インターネットの利用目的



インターネットの利用目的を聞いたところ、「ホームページからの情報収集」(89.0%)が最も高く、次いで「電子メールのやりとり」(72.1%)、「地図情報の利用」(47.9%)と情報検索、通信での利用が上位3項目を占めている。

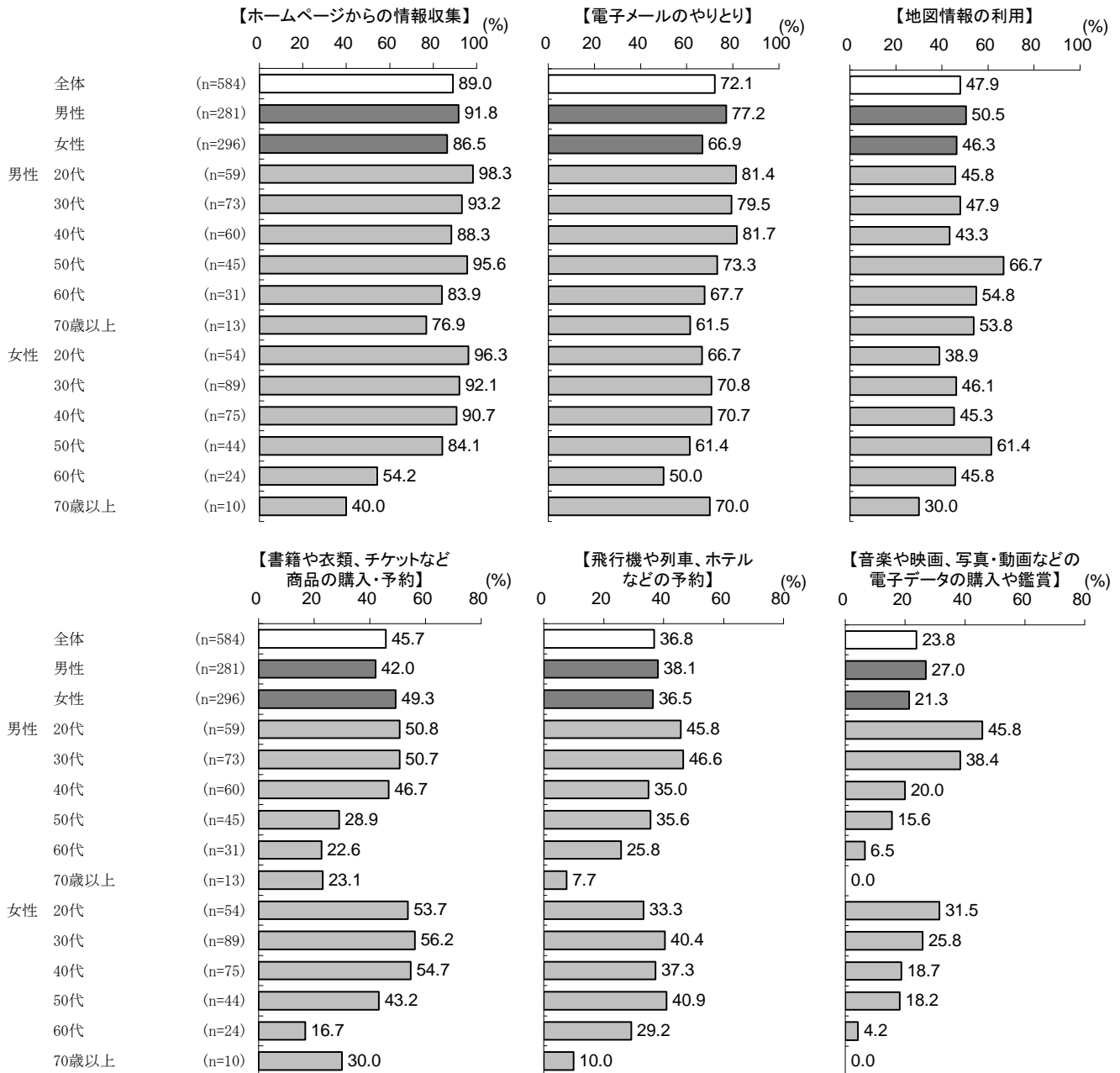
また、それらに続いて「書籍や衣類、チケットなど商品の購入・予約」(45.7%)、「飛行機や列車、ホテルなどの予約」(36.8%)とインターネット上の買い物が上位にあげられている。(図29-1)

性別でみると、「電子メールのやりとり」は男性（77.2%）が女性（66.9%）より10ポイント高くなっている。「書籍や衣類、チケットなど商品の購入・予約」は女性（49.3%）が男性（42.0%）より7ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「ホームページからの情報収集」は男性の20代から60代、女性の20代から50代で8割以上と高くなっている。「電子メールのやりとり」は男女とも年代が上がるにつれて低くなる傾向の中で、女性70歳以上がやや高くなっている。「地図情報の利用」は男女とも50代が最も高い。

（図29-2）

図29-2 インターネットの利用目的 性別、性・年代別（上位6項目）

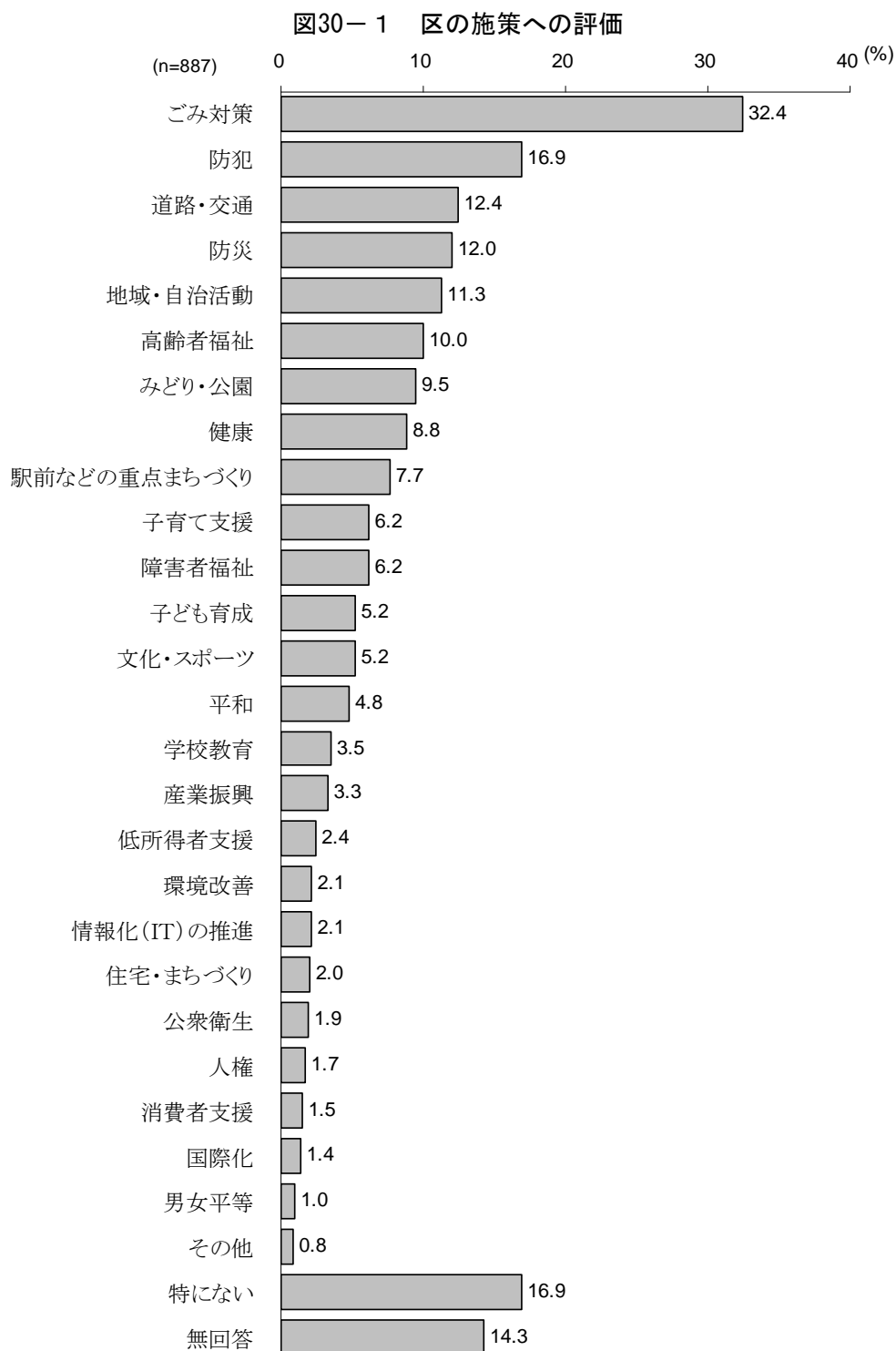


8 施策への要望

(1) 区の施策への評価

◇最も評価されている項目は「ごみ対策」

問23 つぎにあげる施策の中で、中野区が力を入れていると評価できるものを3つ以内で選び、番号を□内に記入してください。



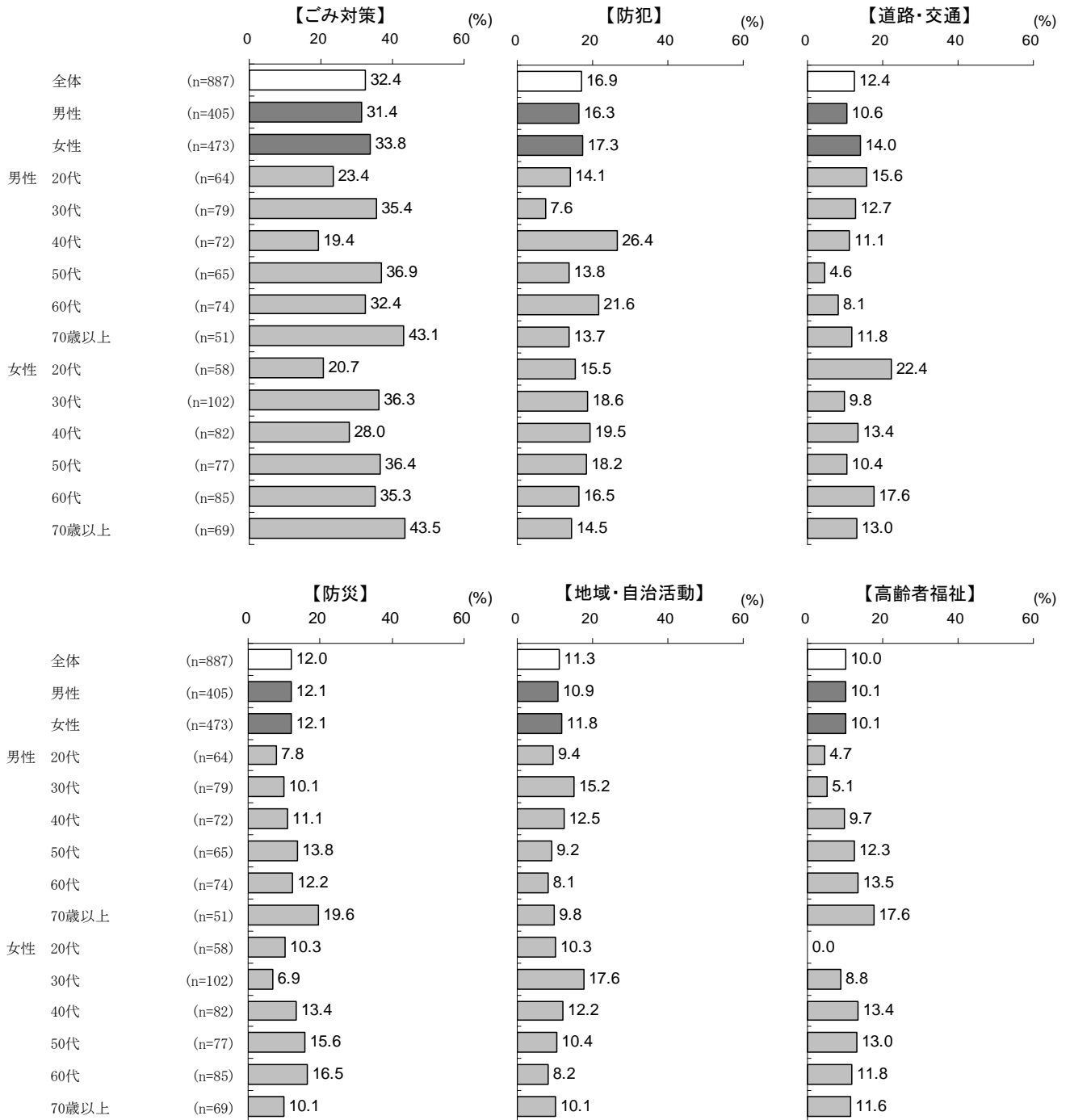
区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、「ごみ対策」(32.4%)が3割強と高く、次いで「防犯」(16.9%)、「道路・交通」(12.4%)となっている。(図30-1)

性別でみると、男女間で目立った違いはみられない。

性・年代別でみると、「ごみ対策」は男女とも70歳以上が4割強で高くなっている。「防犯」は男性40代（26.4%）、60代（21.6%）が2割台で他の性・年代に比べ高くなっている。「道路・交通」は女性20代（22.4%）が2割強、「防災」では、男性70歳以上（19.6%）が約2割とそれぞれ高くなっている。

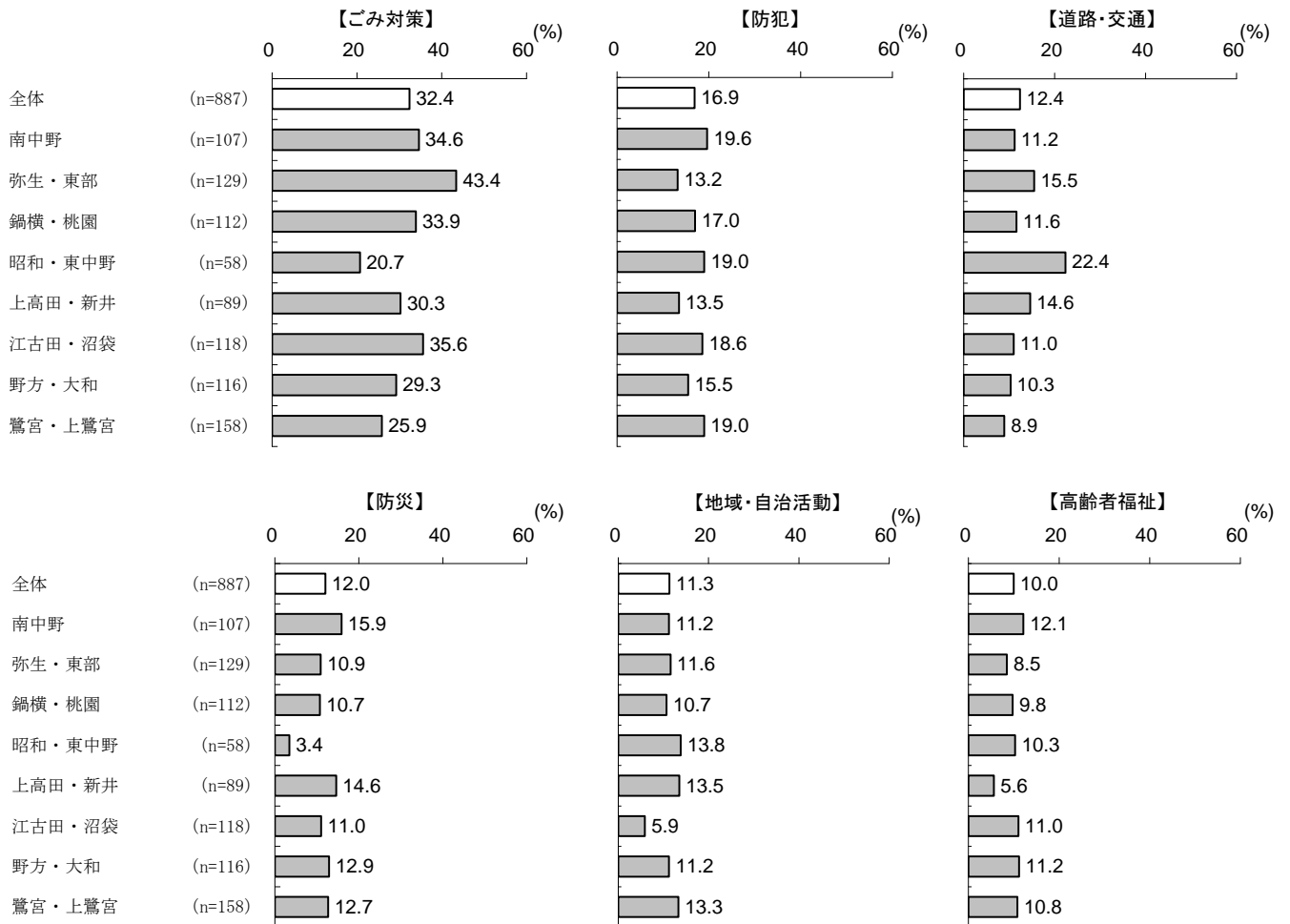
（図30－2）

図30－2 区の施策への評価 性別、性・年代別（上位6項目）



地域別でみると、「ごみ対策」は弥生・東部（43.4%）が最も高くなっている。「防犯」は地域間で大きな差はみられなかった。「道路・交通」は昭和・東中野（22.4%）が最も高くなっている。上位6項目の施策のうち、他の地域に比べて目立って割合が低いのは、「ごみ対策」の昭和・東中野（20.7%）、「防災」の昭和・東中野（3.4%）、「地域・自治活動」の江古田・沼袋（5.9%）、「高齢者福祉」の上高田・新井（5.6%）である。（図30-3）

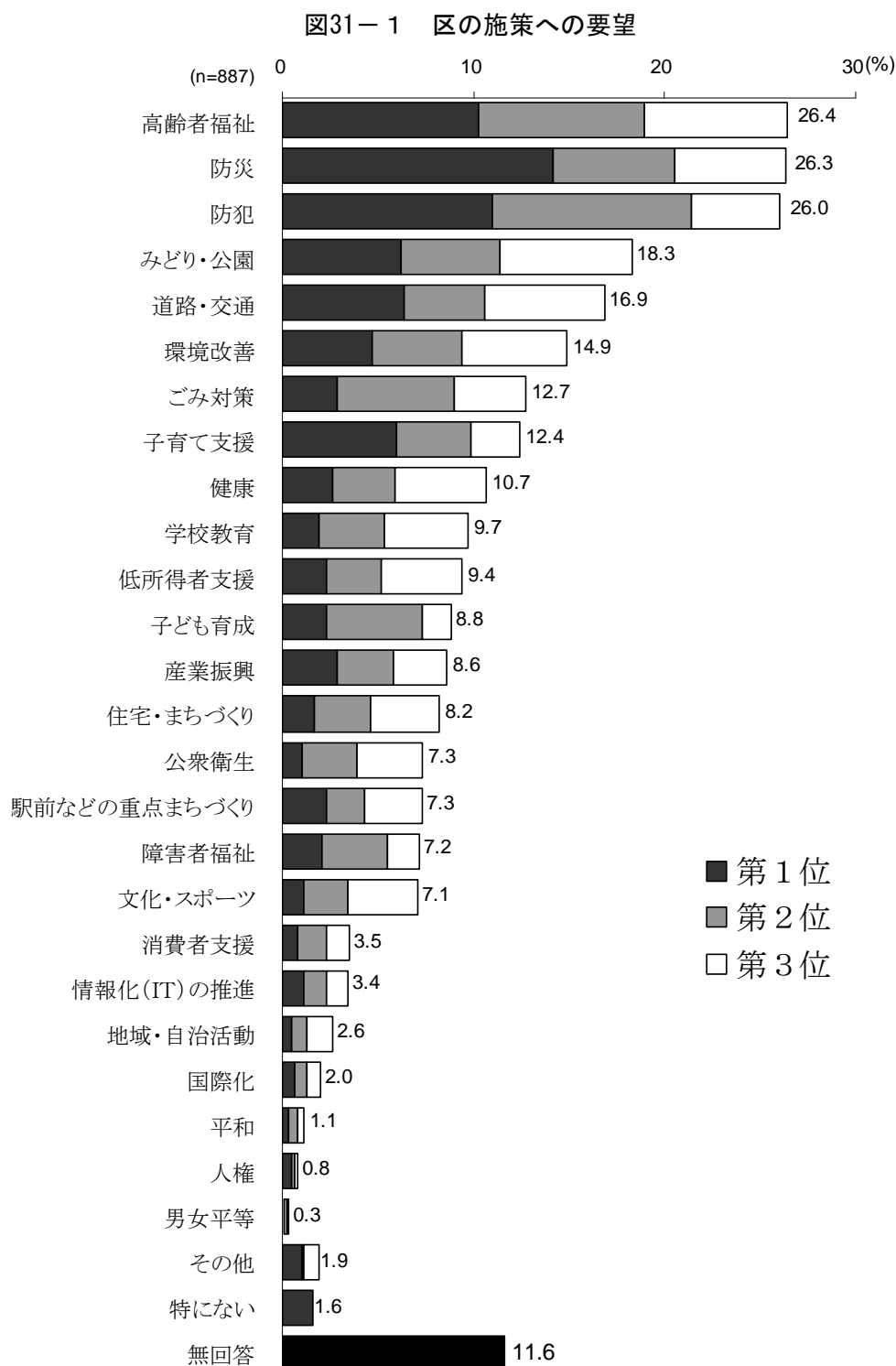
図30-3 区の施策への評価 地域別（上位6項目）



(2) 区の施策への要望

◇今後力をいれてほしい施策は、「高齢者福祉」、「防災」、「防犯」

問23-1 また、今後特に力をいれてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を□内に1つずつ記入してください。



今後特に力をいれてほしい施策を、1位から3位の順位をつけてあげてもらったところ、その合計では「高齢者福祉」(26.4%)、「防災」(26.3%)、「防犯」(26.0%)が2割後半で高くなっている。この3項目は1位の部分のみだけで1割以上を占めている。(図31-1)

過去10年間の区の施策要望上位6位の推移をみると、1999年から2003年までトップであった「高齢者福祉」が5年ぶりに1位となり、昨年は3位であった「防災」が今回は2位となった。一方、昨年トップの「防犯」が今回は3位となった。(表31-1)

表31-1 2008(平成20年度)までの区の施策への要望の時系列推移
第1位～第3位の合計値による上位6項目

(%)

実施年度 ()は回答者数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
1999年 (1,057)	高齢者福祉 (44.9)	防災対策 (32.3)	環境・公害対策 (30.8)	住宅施策 (20.0)	省資源施策 (リサイクル等) (19.3)	公園・緑化推進 (19.0)
2000年 (1,067)	高齢者福祉 (47.1)	環境・公害対策 (36.3)	防災対策 (23.5)	省資源施策 (リサイクル等) (20.5)	学校教育 (17.3)	住宅施策 (16.1)
2001年 (1,122)	高齢者福祉 (45.3)	環境・公害対策 (32.0)	防災対策 (25.3)	省資源施策 (リサイクル等) (20.2)	学校教育 (15.3)	住宅施策 (15.3)
2002年 (1,070)	高齢者福祉 (49.2)	環境・公害対策 (31.6)	防災対策 (19.4)	学校教育 (17.5)	住宅施設 (15.4)	省資源施策 (リサイクル等) (12.7)
2003年 (1,084)	高齢者福祉 (38.4)	環境・公害対策 (29.6)	防災対策 (27.7)	住宅施策 (14.8)	公園・緑化施策 (14.7)	文化・スポーツ 施策 (13.7)
2004年 (1,087)	防犯 (43.6)	高齢者福祉 (25.5)	健康 (24.9)	防災 (20.2)	みどり・環境 向上 (17.6)	平和 (16.8)
2005年 (1,064)	防災 (34.5)	防犯 (34.1)	健康 (31.7)	高齢者福祉 (28.8)	子育て支援 (16.8)	ごみ対策 (15.6)
2006年 (1,012)	防犯 (39.5)	防災 (33.4)	健康 (28.0)	高齢者福祉 (27.1)	平和 (19.0)	子育て支援 (16.9)
2007年 (1,104)	防犯 (28.4)	高齢者福祉 (27.4)	防災 (25.5)	みどり・環境 向上 (18.8)	健康 (15.4)	子育て支援 (13.2)
2008年 (887)	高齢者福祉 (26.4)	防災 (26.3)	防犯 (26.0)	みどり・公園 (18.3)	道路・交通 (16.9)	環境改善 (14.9)

※なお、今回の調査にあたり項目名の見直しを行った。詳細は以下のとおり。

(2007年)	(2008年)
みどり・環境向上	みどり・公園
公園整備	環境改善
道路整備	道路・交通
青少年育成	子ども育成
住宅対策	住宅・まちづくり

図31-2 区の施策への要望 順位の変化（上位12項目）

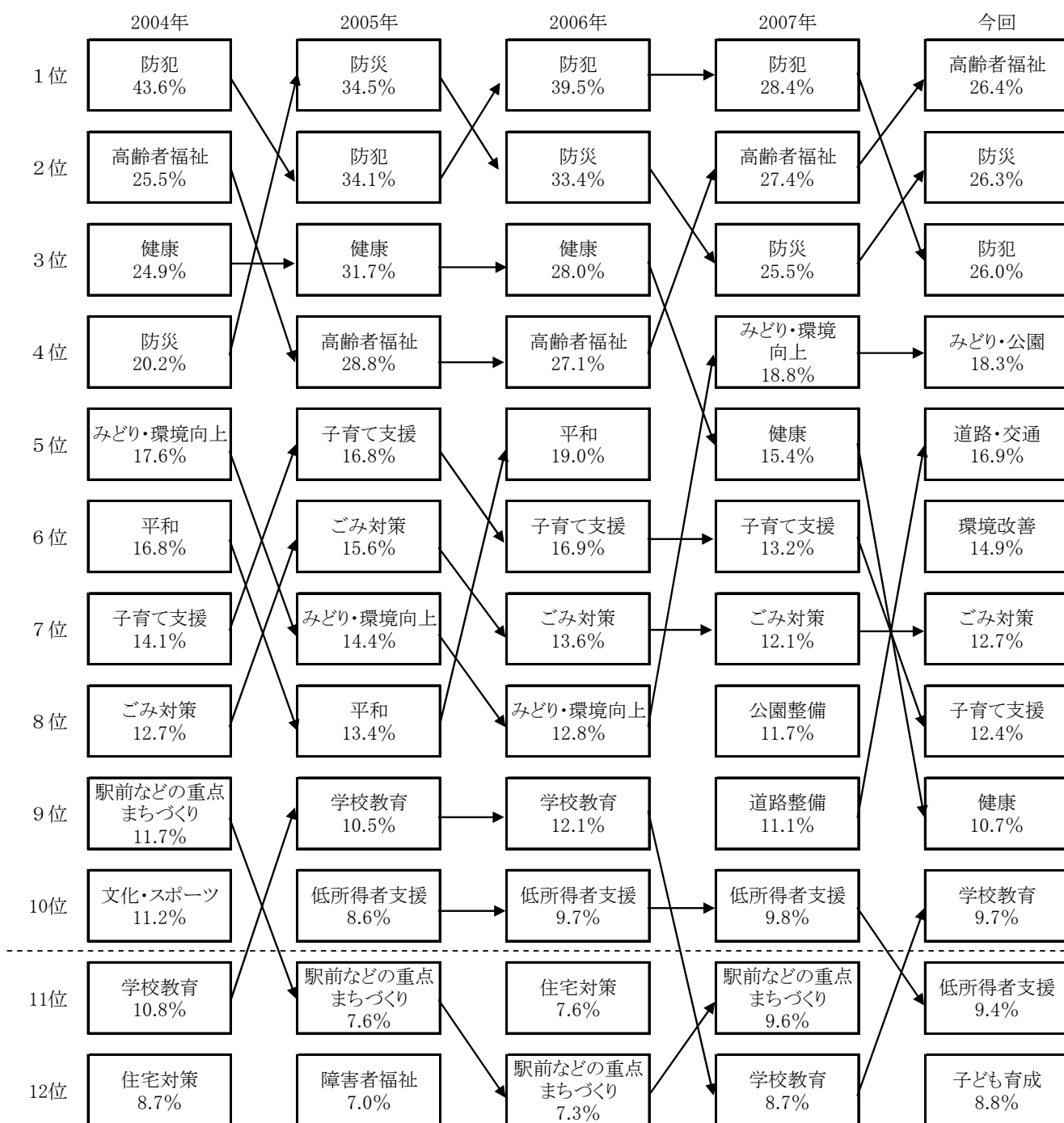


図31-3-① 区の施策への要望 割合の変化

<注> 〈 〉は2007年度までの旧名称
 ()は2003年度までの旧名称

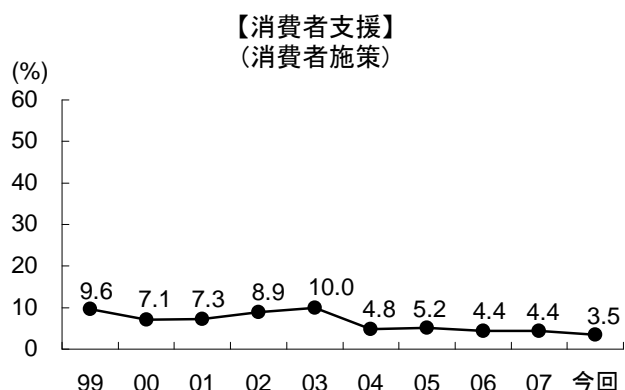
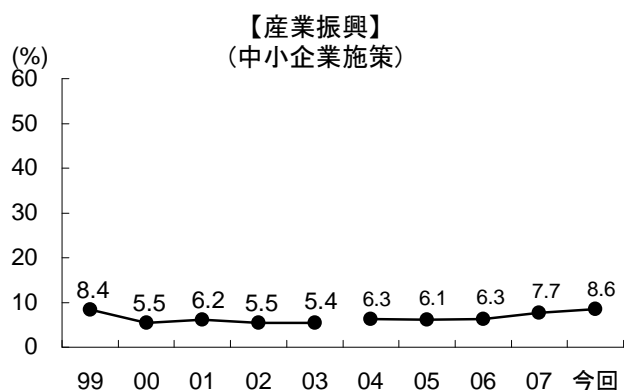
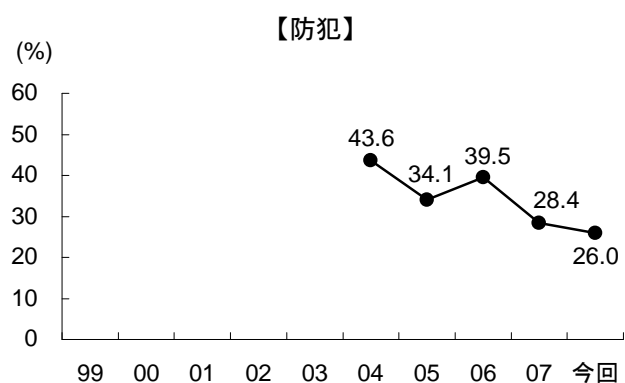
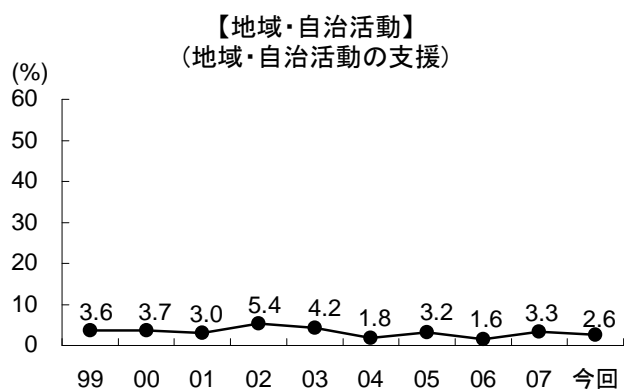
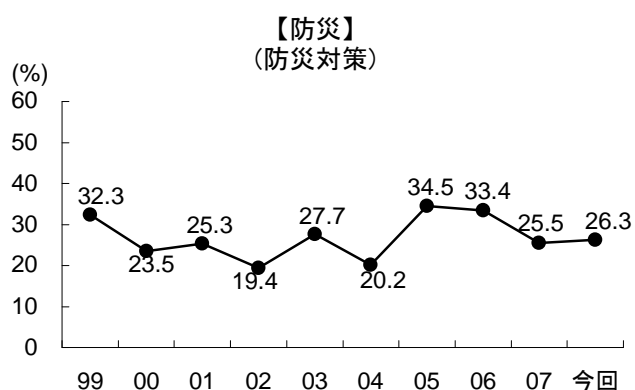
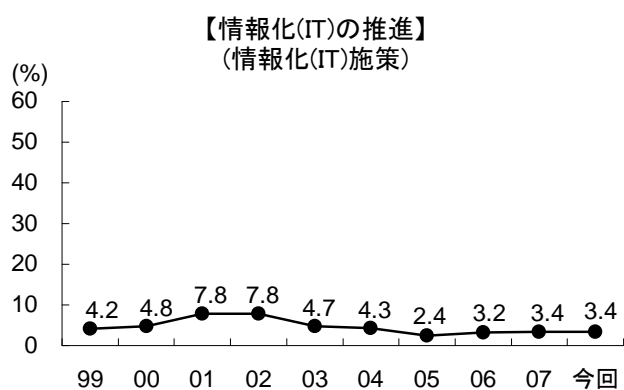
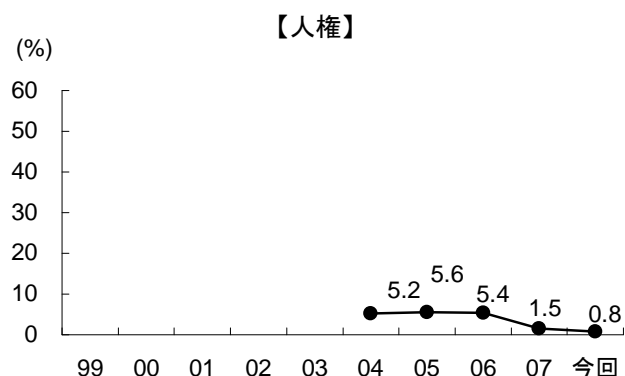
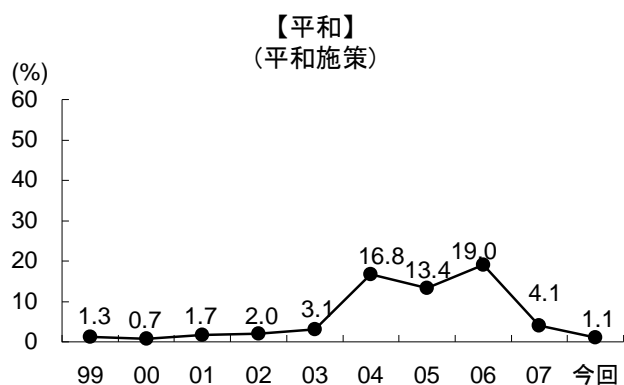


図31-3-② 区の施策への要望 割合の変化

<注> 〈 〉は2007年度までの旧名称
 ()は2003年度までの旧名称

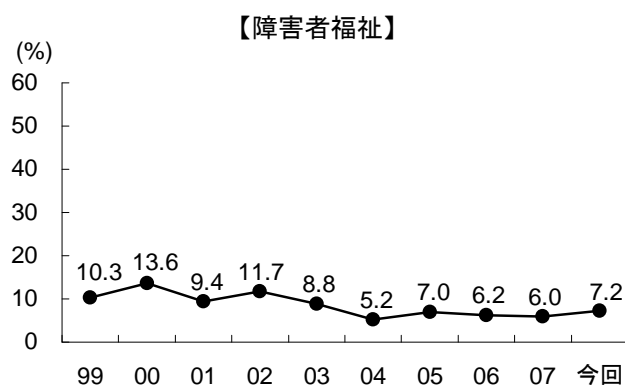
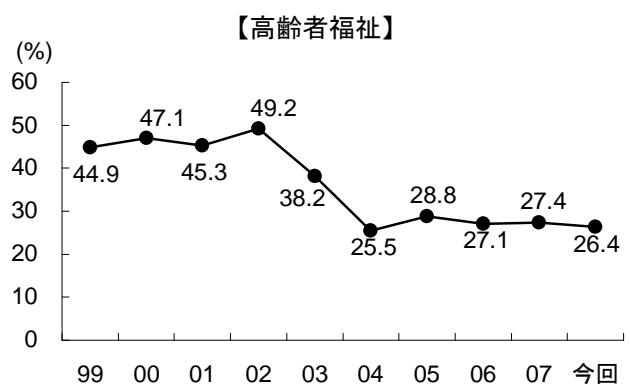
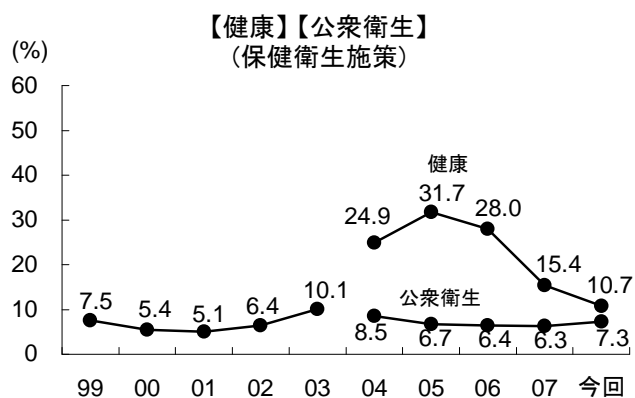
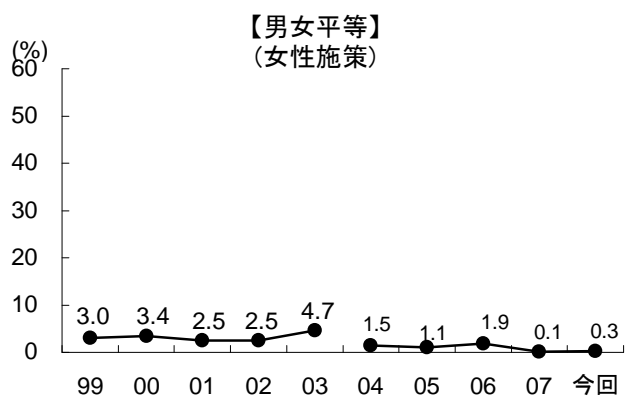
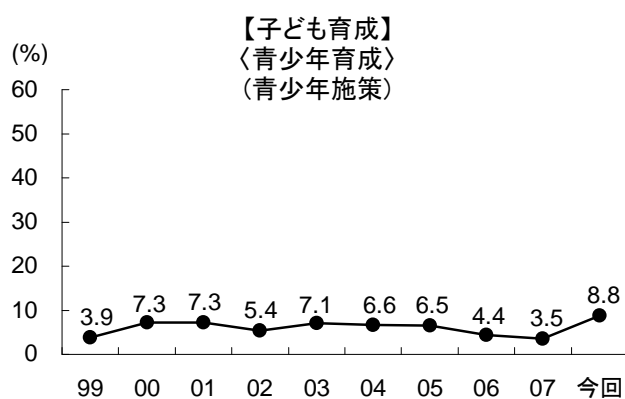
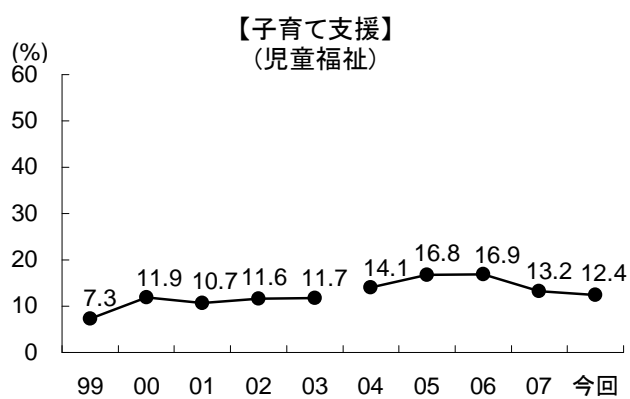
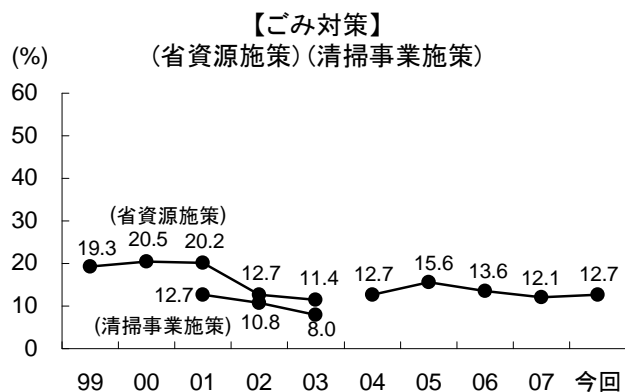
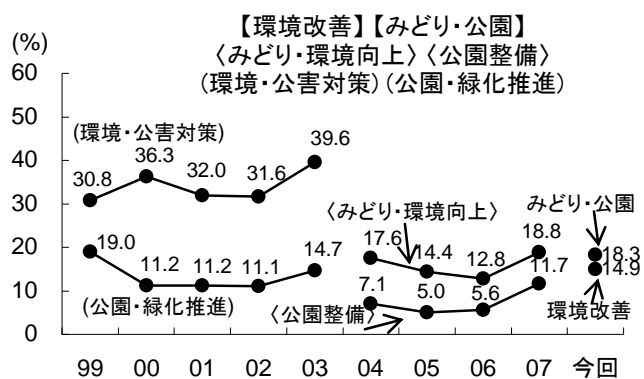
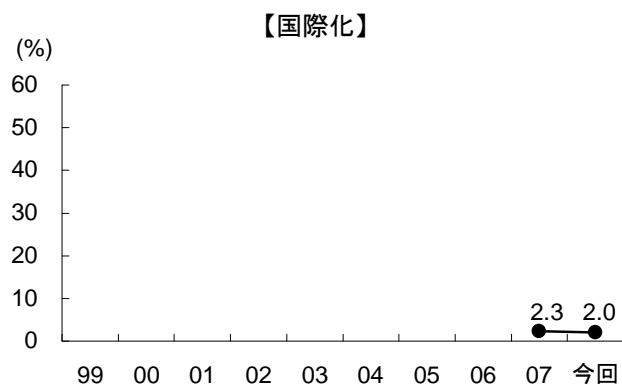
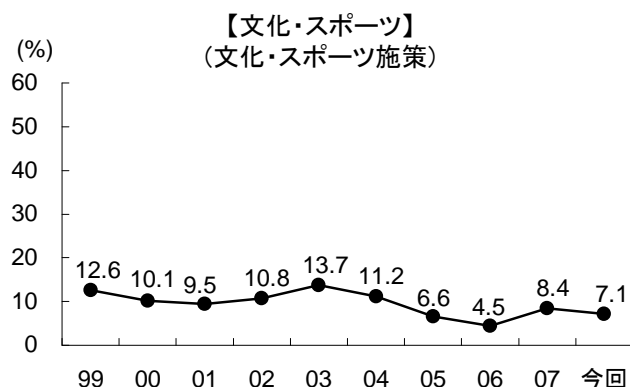
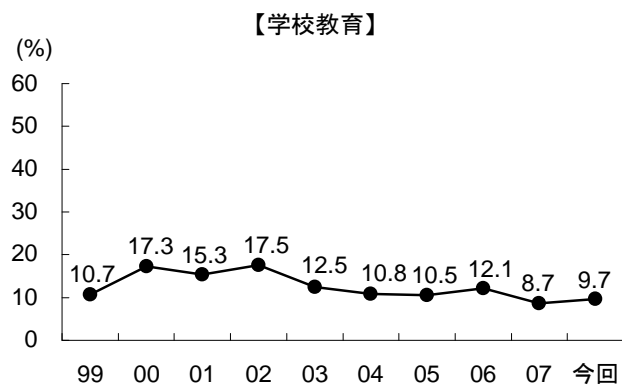
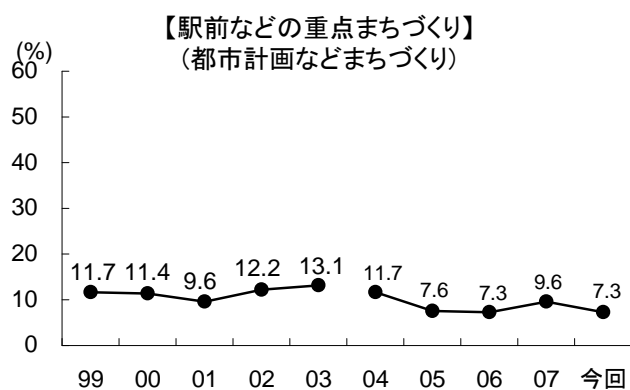
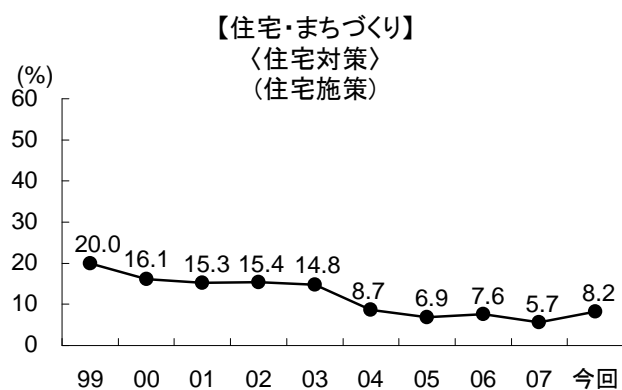
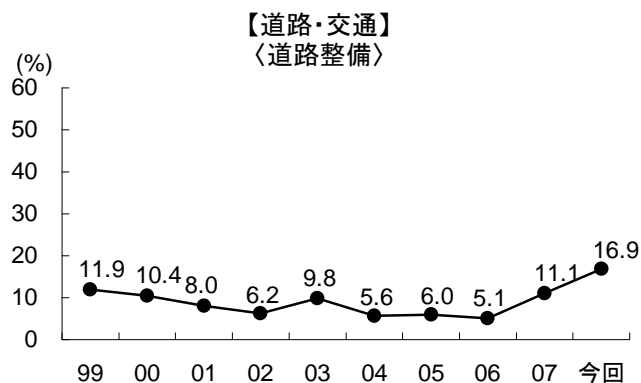
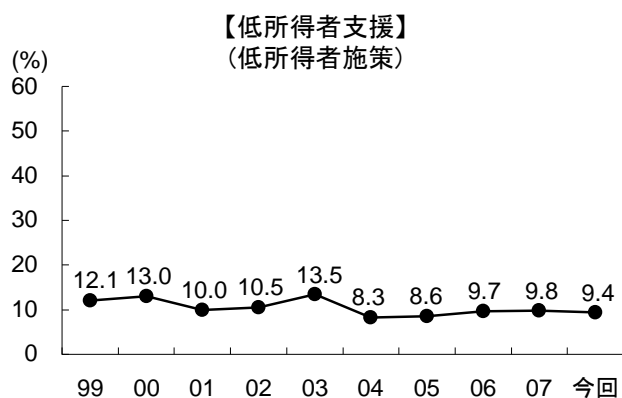


図31-3-③ 区の施策への要望 割合の変化

<注> 〈 〉は2007年度までの旧名称

()は2003年度までの旧名称



性別でみると、男女とも順位に違いはあるが上位6項目は同じ項目があげられている。

性・年代別でみると、各層で「防災」、「防犯」が上位にあげられている。男女とも各年代で共通する項目として、20代では1位に「防災」、2位に「防犯」があげられており、60代以上では1位に「高齢者福祉」、2位に「防犯」があげられている。(表31-2)

表31-2 区の施策への要望 性別、性・年代別(上位6項目)

()は回答者数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
総数 (887)	高齢者福祉 26.4%	防災 26.3%	防犯 26.0%	みどり・公園 18.3%	道路・交通 16.9%	環境改善 14.9%
男性 (405)	防犯 27.7%	防災 24.9%	高齢者福祉 21.7%	道路・交通 20.2%	みどり・公園 18.3%	環境改善 15.3%
女性 (473)	高齢者福祉 30.9%	防災 27.3%	防犯 24.7%	みどり・公園 18.6%	環境改善 14.6%	道路・交通 14.4%
男性20代 (64)	防災 26.6%	防犯 21.9%	道路・交通 20.3%	ごみ対策 17.2%	みどり・公園／学校教育 14.1%	
30代 (79)	みどり・公園 25.3%	子育て支援 22.8%	防犯 21.5%	防災／子ども育成／住宅・まちづくり 19.0%		
40代 (72)	防犯 40.3%	防災 25.0%	道路・交通 22.2%	高齢者福祉 20.8%	環境改善／子ども育成／ みどり・公園／学校教育 15.3%	
50代 (65)	道路・交通 33.8%	防災 32.3%	防犯 26.2%	みどり・公園 24.6%	高齢者福祉 23.1%	駅前などの重点 まちづくり 18.5%
60代 (74)	高齢者福祉 36.5%	防犯 32.4%	防災 29.7%	環境改善 20.3%	みどり・公園 16.2%	健康 13.5%
70歳以上 (51)	高齢者福祉 29.4%	防犯／道路・交通 21.6%		防災／ごみ対策 15.7%		環境改善 13.7%
女性20代 (58)	防災 34.5%	防犯 27.6%	子育て支援／みどり・公園 20.7%		高齢者福祉 17.2%	道路・交通 15.5%
30代 (102)	防犯 31.4%	防災 30.4%	子育て支援 24.5%	子ども育成 21.6%	みどり・公園 20.6%	環境改善 18.6%
40代 (82)	防災 39.0%	防犯 28.0%	みどり・公園 26.8%	高齢者福祉 22.0%	学校教育 18.3%	ごみ対策／道 路・交通 17.1%
50代 (77)	高齢者福祉 40.3%	防災 23.4%	みどり・公園 22.1%	防犯 19.5%	道路・交通 16.9%	環境改善／ ごみ対策／健康 15.6%
60代 (85)	高齢者福祉 49.4%	防災／防犯 21.2%		道路・交通 16.5%	環境改善 15.3%	ごみ対策／健康 ／低所得者支援 14.1%
70歳以上 (69)	高齢者福祉 47.8%	防犯／低所得者支援 18.8%		防災 14.5%	環境改善／健康 11.6%	

職業別でみると、順位に違いはあるがすべての職業で「高齢者福祉」、「防災」、「防犯」が6位までに入っている。その他、自営業では「産業振興」が、パート・臨時・アルバイト、無職層では「低所得者支援」が、学生では「駅前などの重点まちづくり」が上位に入り、職業別で要望に違いがみられる。

(表31-3)

表31-3 区の施策への要望 職業別(上位6項目)

()は回答者数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
総数 (887)	高齢者福祉 26.4%	防災 26.3%	防犯 26.0%	みどり・公園 18.3%	道路・交通 16.9%	環境改善 14.9%
自営業 (93)	防犯 29.0%	高齢者福祉 22.6%	防災 20.4%	産業振興／子育て支援 17.2%		学校教育 16.1%
常勤の勤め人 (351)	防災 29.3%	防犯 28.2%	みどり・公園 23.4%	高齢者福祉 20.8%	環境改善 18.5%	道路・交通 18.2%
パート・臨時・ アルバイト (108)	高齢者福祉 24.1%	防災 23.1%	防犯／みどり・公園 19.4%		ごみ対策 16.7%	低所得者支援／ 道路・交通 14.8%
学生 (24)	防災／防犯 25.0%		駅前などの重点 まちづくり 20.8%	国際化／みどり・公園 16.7%		環境改善／ごみ 対策／他3件※ 12.5%
家事専業 (133)	高齢者福祉 34.6%	防犯 29.3%	防災 25.6%	道路・交通 22.6%	みどり・公園 18.8%	環境改善 16.5%
無職 (142)	高齢者福祉 43.0%	防災 24.6%	防犯 21.1%	低所得者支援 17.6%	道路・交通 14.1%	健康 13.4%
その他 (20)	防災 35.0%	低所得者支援 30.0%	防犯 25.0%	ごみ対策／道路・交通 20.0%		子育て支援／高 齢者福祉／みど り・公園 15.0%

※他3件の内訳：「公衆衛生」、「高齢者福祉」、「道路・交通」

地域別でみると、すべての地域で「高齢者福祉」、「防災」、「防犯」が4位までにあげられている。また、南中野、鍋横・桃園、昭和・東中野では「みどり・公園」が、上高田・新井、野方・大和では「道路・交通」が3位までの上位の要望となっており、地域ごとの違いもみられる。(表31-4)

表31-4 区の施策への要望 地域別(上位6項目)

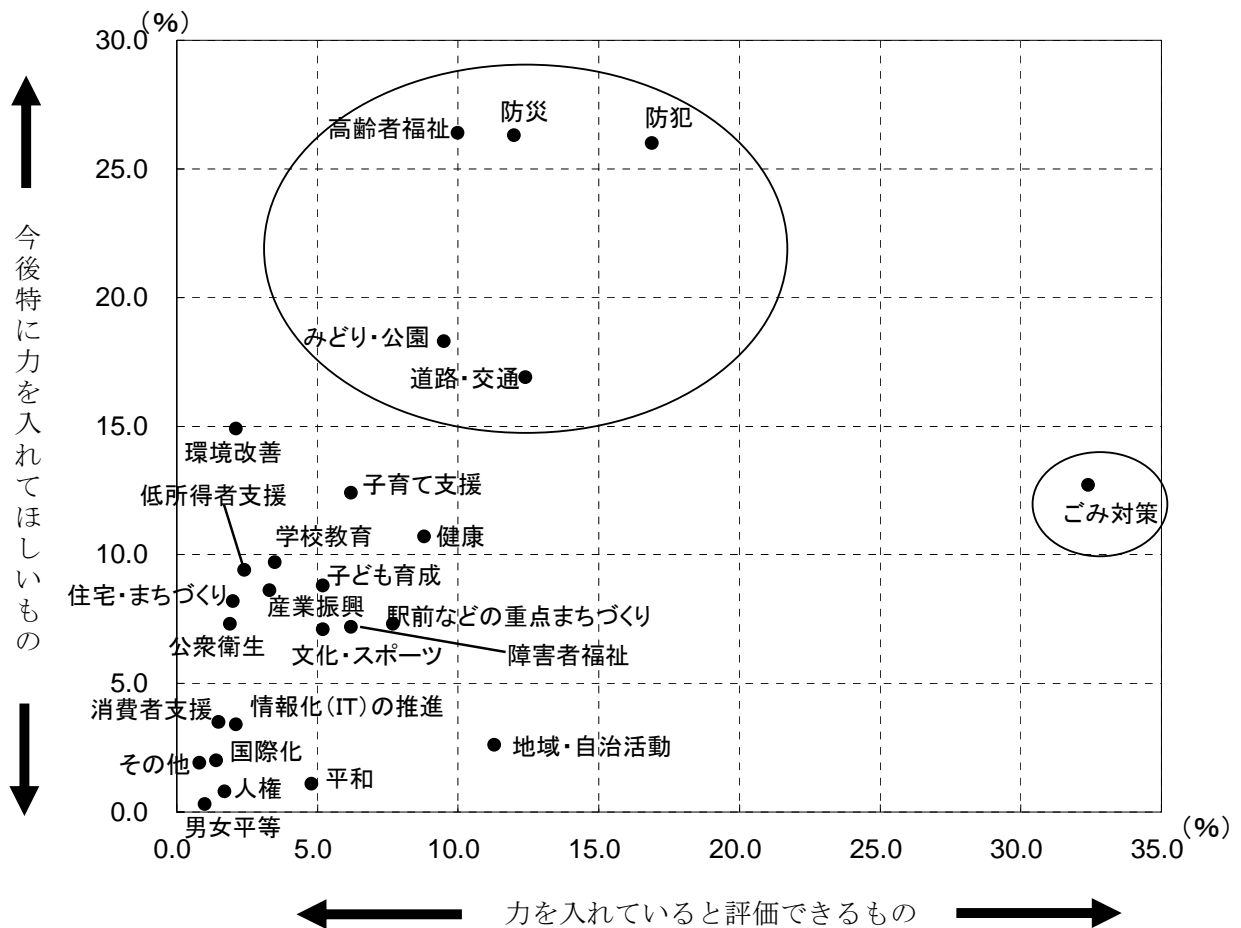
()は回答者数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
総数 (887)	高齢者福祉 26.4%	防災 26.3%	防犯 26.0%	みどり・公園 18.3%	道路・交通 16.9%	環境改善 14.9%
南中野 (107)	防犯 32.7%	防災／みどり・公園 27.1%		高齢者福祉 26.2%	子育て支援 15.9%	ごみ対策 14.0%
弥生・東部 (129)	防犯 31.8%	高齢者福祉 30.2%	防災 28.7%	環境改善 24.0%	みどり・公園 21.7%	健康 12.4%
鍋横・桃園 (112)	防災 29.5%	高齢者福祉 27.7%	防犯／みどり・公園 17.9%		子育て支援 15.2%	ごみ対策 14.3%
昭和・東中野 (58)	防犯 29.3%	高齢者福祉 25.9%	みどり・公園 24.1%	防災 22.4%	環境改善 17.2%	ごみ対策／子育て支援 15.5%
上高田・新井 (89)	防災／高齢者福祉 28.1%		道路・交通 25.8%	防犯 24.7%	子育て支援 14.6%	ごみ対策／みどり・公園 13.5%
江古田・沼袋 (118)	防犯 28.0%	防災／高齢者福祉 24.6%		道路・交通 22.9%	環境改善 16.1%	低所得者支援 14.4%
野方・大和 (116)	防災 28.4%	道路・交通 25.9%	防犯 25.0%	高齢者福祉 19.8%	みどり・公園 18.1%	環境改善 17.2%
鷺宮・上鷺宮 (158)	高齢者福祉 27.8%	防災／防犯 21.5%		みどり・公園 19.0%	道路・交通 16.5%	ごみ対策 13.9%

区の施策への“評価”と“要望”との関係を見るために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、25項目とその他の位置をあらわしたのが以下の図である。

この図では、左下に位置するほど「評価」が低く、「要望」も低い項目であることを、逆に図の右上に位置するものほど「評価」が高く、「要望」も高い項目を意味している。さらに、左上に位置するほど「評価」が低く、「要望」が高い項目であることを、逆に右下に位置するほど「評価」が高く、「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリー別でみると、左上には「高齢者福祉」や「防災」、「防犯」、「みどり・公園」、「道路・交通」が位置づけられている。また、右下には、唯一「ごみ対策」が位置づけられている。(図31-4)

図31-4 区の施策への評価と要望 散布図

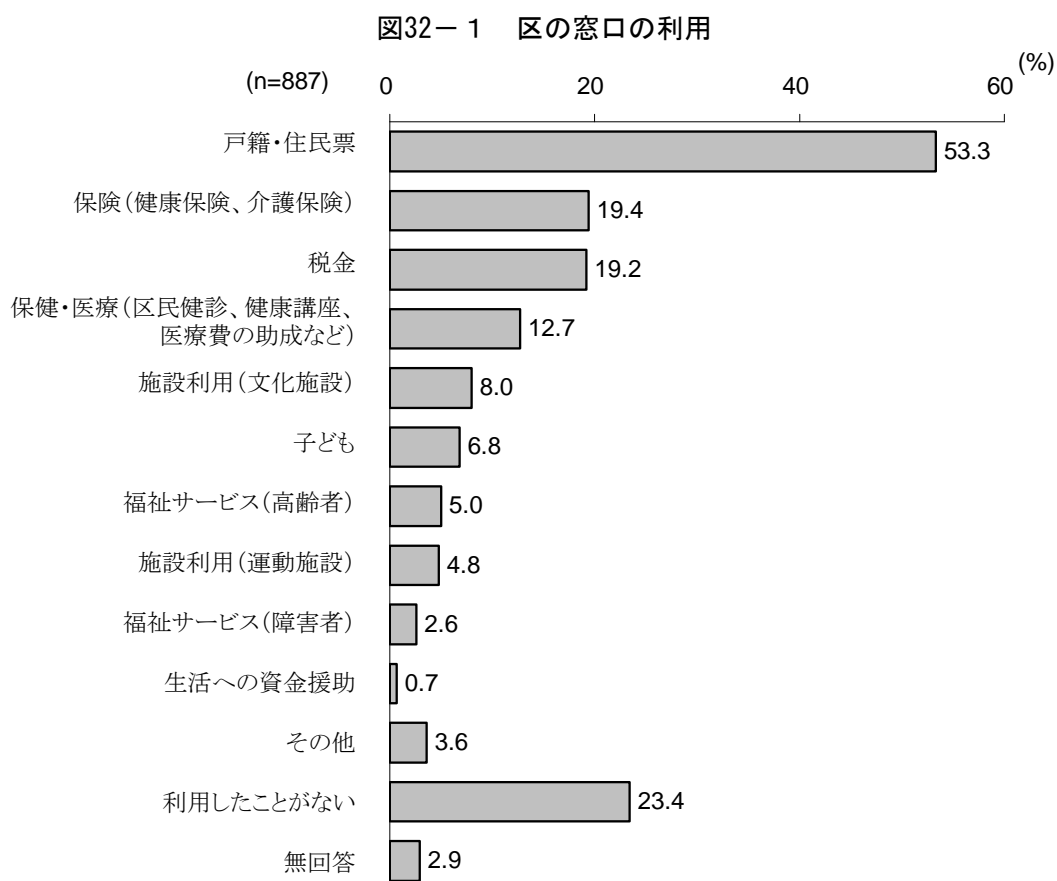


9 区の窓口対応等

(1) 区の窓口等の利用

◇「戸籍・住民票」の利用が最も高い

問24 あなたはこの1年間で、どのような用件で区の窓口を利用または電話しましたか。
(いくつでも○)

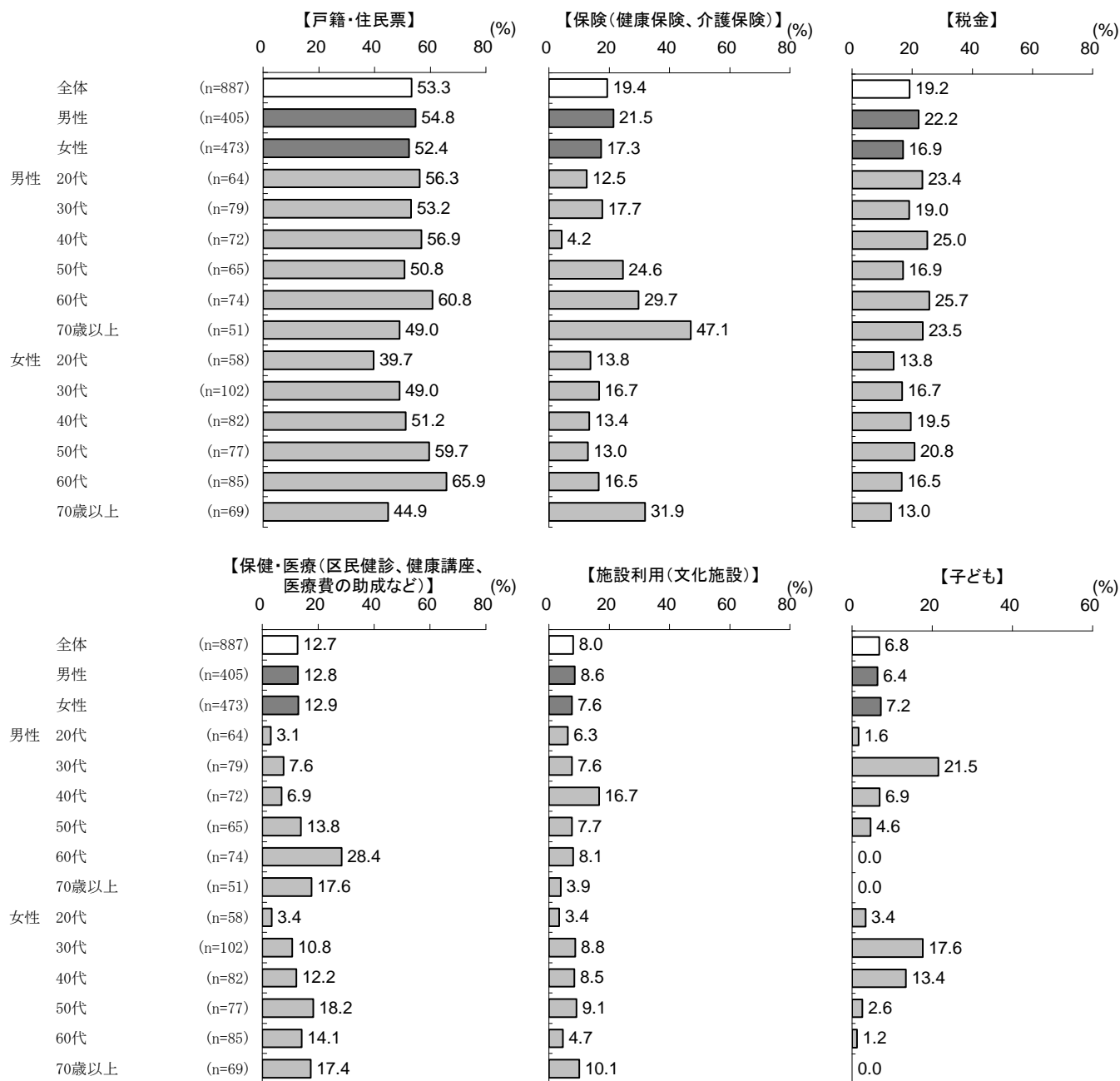


どのような用件で区の窓口を利用または電話したかを聞いたところ、「戸籍・住民票」(53.3%)が最も高く、次いで「保険 (健康保険、介護保険)」(19.4%)、「税金」(19.2%)となっている。また、「利用したことがない」は2割半ばであった。(図32-1)

性別でみると、「戸籍・住民票」、「保険（健康保険、介護保険）」、「税金」の上位3項目で、すべて男性が女性を上回っている。

性・年代別でみると、男女とも「戸籍・住民票」では60代が、「保険（健康保険、介護保険）」では70歳以上が最も高い。「保健・医療」は男性60代が約3割で他の性・年代より高めである。「子ども」は男女とも30代が最も高くなっている。（図32-2）

図32-2 区の窓口等の利用 性別、性・年代別（上位6項目）



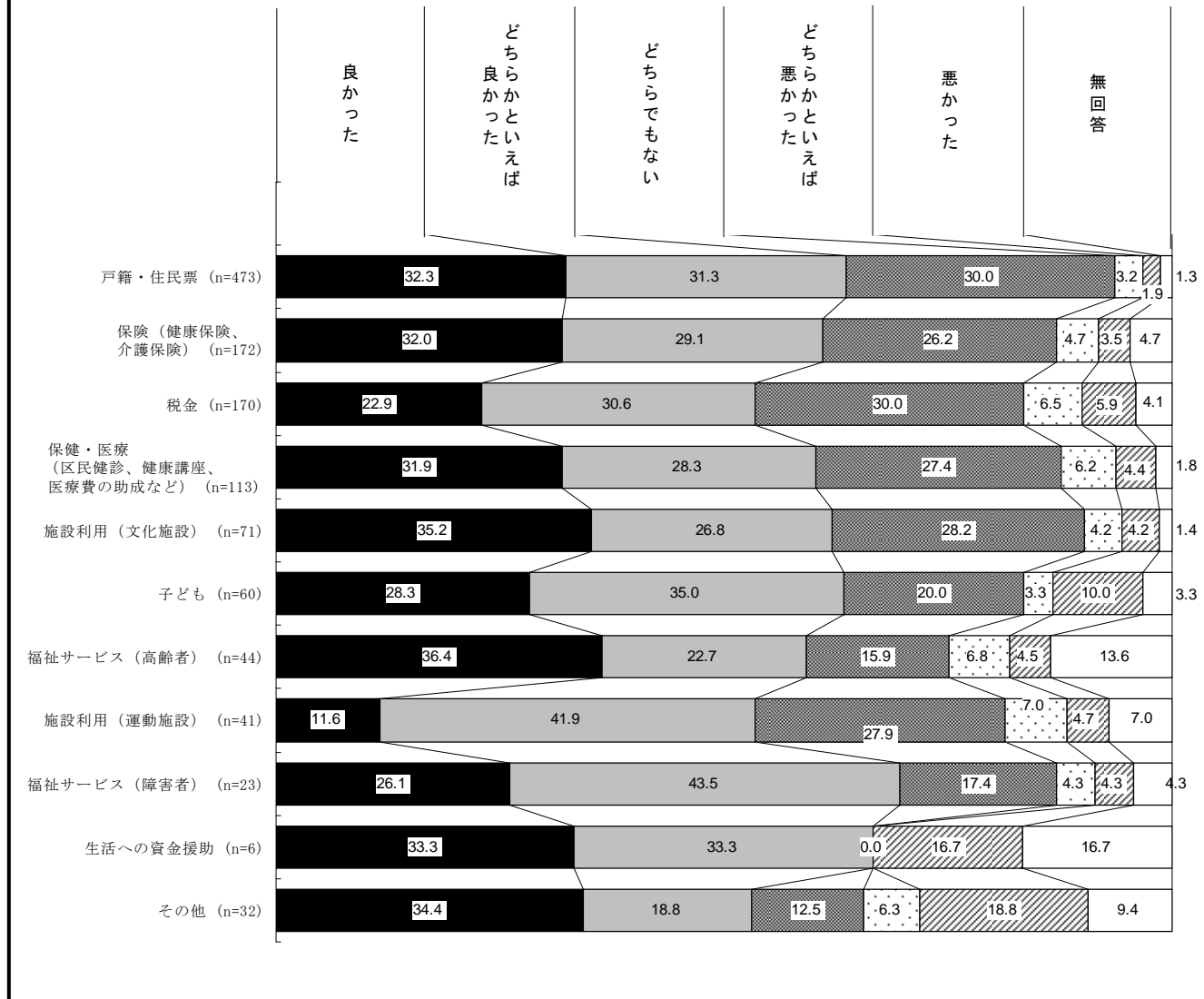
(1-1) 職員の印象

◇職員に『良い印象を持った層』が、全般的に5割を超える

【問24で「ア」～「サ」に○をした方に伺います】

問24-1 利用した職員の印象はどうか。(それぞれ1つずつ○)

図33-1 職員の印象

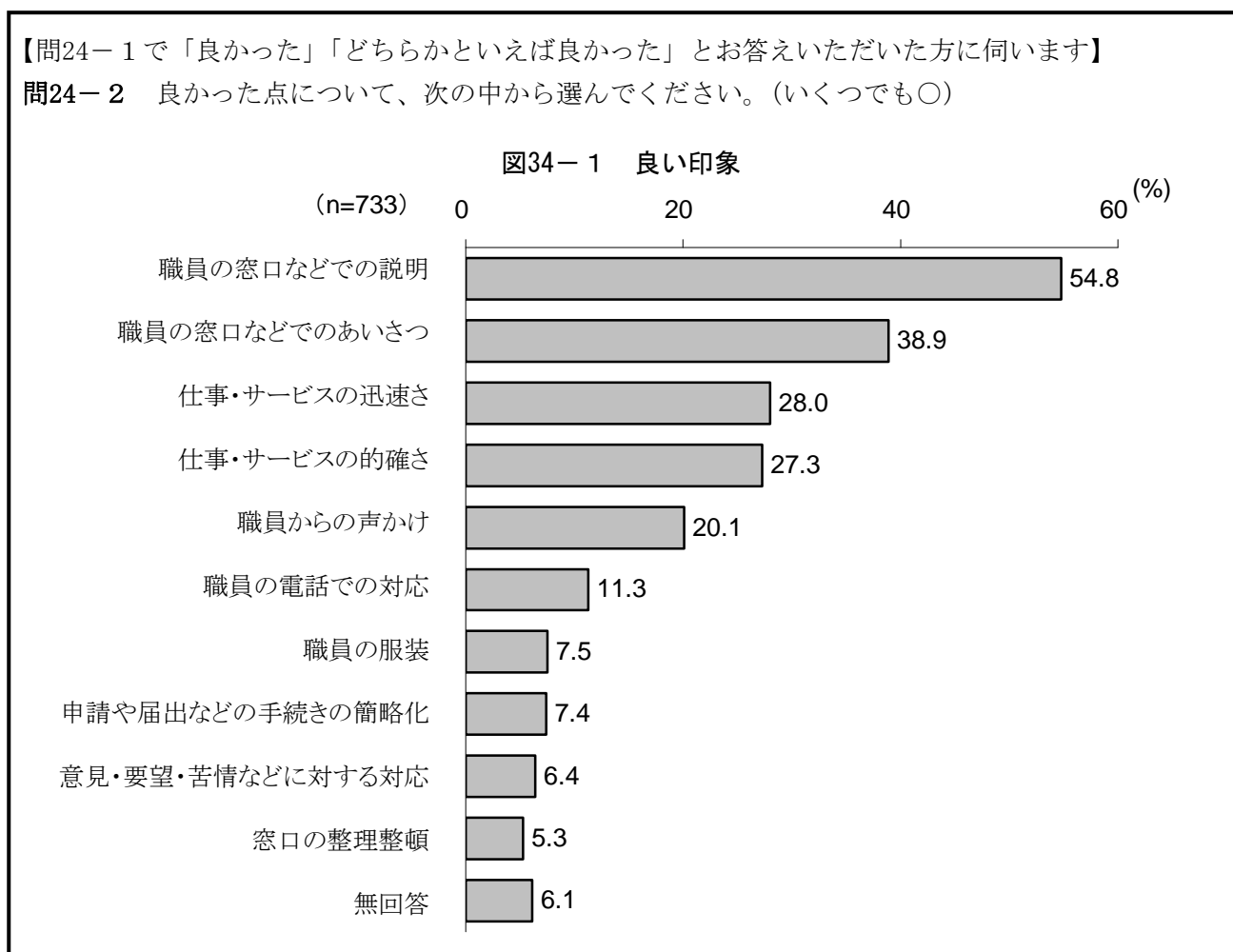


区の窓口を利用または電話した時の職員の印象について聞いたところ、「良かった」「どちらかといえば良かった」を合計した『良い印象を持った層』が、全般的に5割を超えている。

利用者の多かった上位6位をくらべてみると、『良い印象を持った層』は、「戸籍・住民票」が63.6%で最も高く、次いで「子ども」(63.3%)、「施設利用 (文化施設)」(62.0%)と続く。一方、「どちらかといえば悪かった」「悪かった」を合計した『悪い印象を持った層』は、最も利用の多い「戸籍・住民票」が5.1%に止まり、他の5つは1割前後となっている。(図33-1)

(1-2) 良い印象

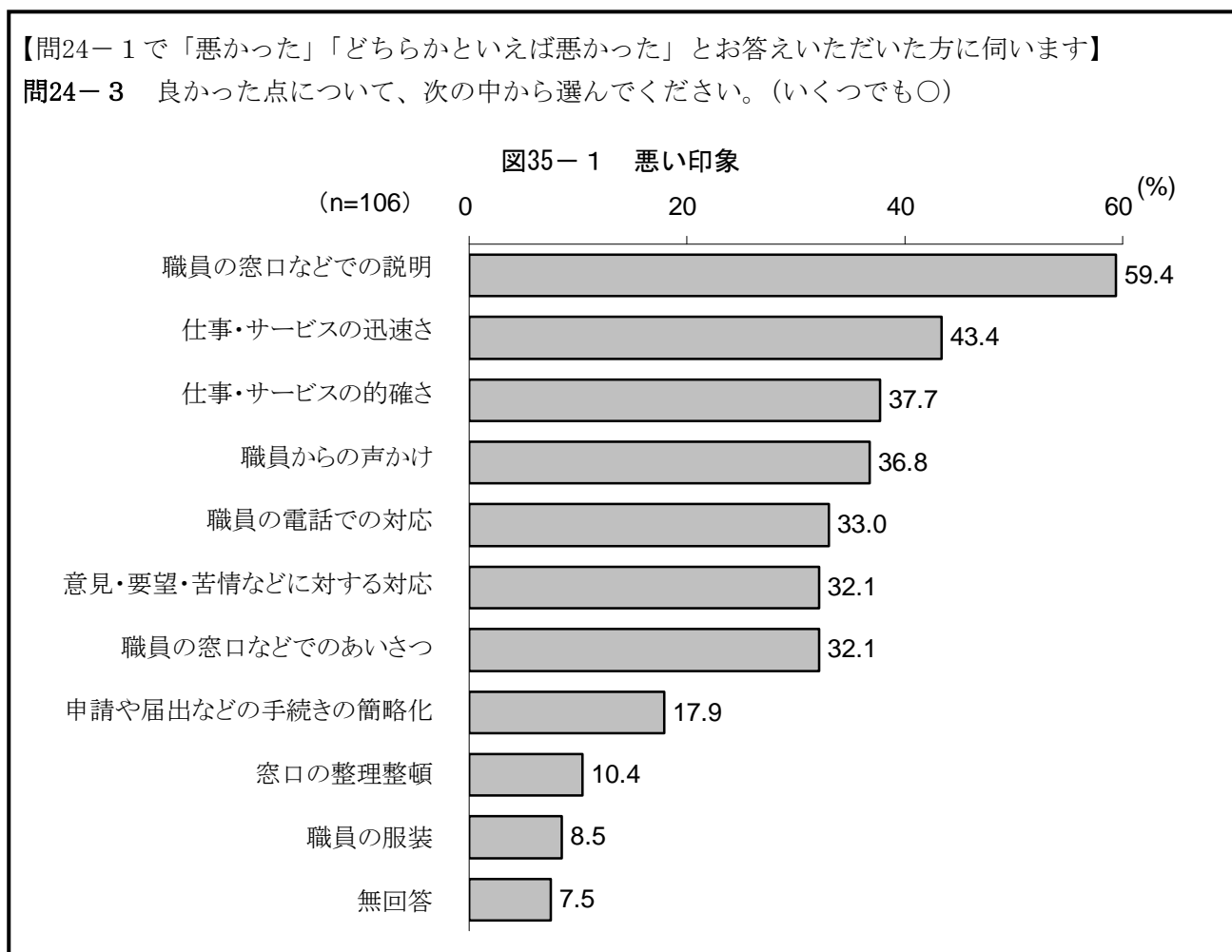
◇良かった点は「職員の窓口などでの説明」が約6割



区の窓口を利用または電話した時に良い印象を持った点について聞いたところ、「職員の窓口での説明」(54.8%)が最も高く、次いで「職員の窓口などでのあいさつ」(38.9%)となっている。(図34-1)

(1-3) 悪い印象

◇悪かった点は「職員の窓口などでの説明」が5割半ば



区の窓口を利用または電話した時に悪い印象を持った点について聞いたところ、良かった点と同じく「職員の窓口などでの説明」(59.4%)が最も高く、次いで「仕事・サービスの迅速さ」(43.4%)となっている。(図35-1)

2008中野区区民意識調査

2009年3月発行 文書番号20中政調第508号

発行 中野区政策室調査研究分野統計調査担当
東京都中野区中野4-8-1
電話 03-3228-8892 (直通)

委託先 株式会社 タイム・エージェント
東京都渋谷区円山町6-8松木屋ビル3F
電話 03-3770-6840